

# 講義内容2009

医療健康科学部

# 講 義 内 容

## 医療健康科学部

『講 義 内 容 の 見 方』	.....	(2)
参 考	.....	(4)

## 目次案内

### I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目	.....	(7)
2. 教 養 教 育 科 目		
(1) 人 文 分 野	.....	(8)
(2) 社 会 分 野	.....	(9)
(3) 自 然 分 野	.....	(10)
(4) 総 合 分 野	.....	(11)
3. 外 国 語 科 目	.....	(12)
4. 保 健 体 育 科 目	.....	(14)

### II 専 門 教 育 科 目 .....(15)

### III 随 意 科 目 .....(20)

全 学 共 通 科 目	宗教教育
	人文分野 社会分野 自然分野 総合分野
	外国語 保健体育
	専門教育 随意科目

## 『講義内容』の見方

- 1、『講義内容』は、『履修要項』（別冊）、『授業時間表』（別冊）と合わせて利用してください。
- 2、『講義内容』は、医療健康科学部で開講されている全ての科目が掲載されています。その中で、履修できる科目は、所属する学科で開講されている科目のみです。  
(この冊子に掲載されている科目全てが履修できる科目ではありませんので、注意してください。)
- 3、履修できる科目は、所属学科の『授業時間表』（別冊）に掲載されている科目です。  
『授業時間表』で履修コード（※）を確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 4、外国語科目の再履修クラスを履修する場合は、教務部①番窓口で『外国語再履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 5、資格講座に登録している場合は、教務部で『講義内容（教職課程・資格講座）』と『課程各講座授業時間表』を受け取ってください。

### ※ 履修コードとは

履修コードとは、各授業に割り振られている6桁の番号です。4月の履修科目登録時にも使用します。同名科目・同担当者の科目が2つ以上ある場合、履修コードで判別することになります。履修コードの見間違いがないよう、十分注意してください。

～『講義内容』の利用手順～

①『履修要項』（別冊）を参照し、「授業科目の区分」や「履修できる科目」を調べる。

②『授業時間表』（別冊）を参照し、履修したい科目の履修コードを確認する。

（『授業時間表』の記載例）

曜日時限	科目名	担当者名	コード	備考	区分	教場名
月 1	仏教と人間	駒澤 太郎	111111	放1必		玉-111

↑  
※履修コード

③『講義内容』の目次ページから、同じ履修コードを探し、ページを開く。

（『講義内容』目次ページの記載例）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	駒澤 太郎	111111	1

↑  
※

④目次ページの履修コードと科目枠の履修コードが同じであることを確認した上で、授業内容を閲覧する。

（『講義内容』科目枠の記載例）

履修コード	111111 ←※
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>こまざわ たろう</small> 駒澤 太郎

# 参 考

## 外国語科目

### 英 語 I A

#### 〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

### 英 語 I B

#### 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

### 英 語 II A

#### 〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

### 英 会 話 I

#### 〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

## 英 会 話 Ⅱ

### 〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

## 英 語 L L I

### 〈英語LLIの授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

## 英 語 L L II

### 〈英語LLIIの授業内容と履修上の留意点〉

中級：LLI程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

# 保健体育科目

## 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		1時限(医療)	
金曜日	※下谷内	室内球技	
	森本	ソフトボール	

※は、科目の主担当者

## 「健康・スポーツ実習(集中授業)」開講科目一覧

集中開講科目は、前期・後期の両方を受講する必要があります。

また、前期と後期で受講する科目が変わります。種目の選択を第1回目の授業で行いますので、必ず参加してください。

《日程》前期：7月18日(土)～22日(水) 後期：1月4日(月)～8日(金)

《時間》10:00～12:00・13:00～15:30

(於：玉川校舎)

前期		後期	
※山口	室内球技	鈴木	卓球
末次	ダブルダッチ	高橋	ソフトボール
大石	太極拳	岩本	屋外球技
牧野	バドミントン	村松	室内球技

※は、科目の主担当者

# I 全学共通科目

## 1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	奥野 光賢	205201	5
仏教と人間〔再クラス〕	吉津 宜英	205701	6
仏教と人間〔再クラス〕	角田 泰隆	205801	6
仏教と人間〔再クラス〕	大谷 哲夫	205901	6
仏教と人間〔再クラス〕	晴山 俊英	206001	7
自然と宗教	小川 順敬	206101	7
社会と宗教	矢野 秀武	206201	8
文化と宗教	長谷部 八朗	206301	8
坐禅	佐藤 秀孝 ・池上 光洋	206401	8
坐禅	佐藤 秀孝 ・池上 光洋	206501	8



## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
文学〔日本文学「古典」〕	塩崎 真理子	206601	11
文学〔日本文学「古典」〕	坂口 博規	206901	11
文学〔日本文学「日本のことば」〕	相澤 貴之	206701	12
文学〔日本文学「近代」〕	石割 透	207001	12
文学〔日本のことば〕	萩原 義雄	207201	13
文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	田中 保	207301	14
文学〔外国文学「ロシア文学」〕	杉山 秀子	207401	14
文学〔日本文学「古典」〕 - フレックスB開講 -	池田 大輔	342501	14
文学〔日本文学「古典」〕 - フレックスB開講 -	伊藤 達氏	342701	15
文学〔日本文学「近代」〕 - フレックスB開講 -	中西 亮太	342601	15
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209601	16
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	山口 祐弘	209701	16
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209801	16
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	滝口 清栄	209901	17
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	210101	16
論理学〔知の技法〕	伊古田 理	210001	17
論理学〔知の技法〕	小島 優子	210201	18
論理学〔科学方法論と現代論理学〕 - フレックスB開講 -	伊古田 理	343401	18
論理学〔科学方法論と現代論理学〕 - フレックスB開講 -	麻生 享志	343501	19
倫理学〔人間観〕	古田 知章	210601	20
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	210701	20
倫理学〔応用倫理学〕	滝沢 正之	210901	21
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	211111	20
倫理学〔価値観〕	久保 陽一	210801	21
倫理学〔制度とモラル〕	滝口 清栄	211001	22
倫理学〔東洋倫理〕	末木 恭彦	211101	22
宗教学〔比較宗教文化〕	池上 良正	211201	23
宗教学〔聖と俗〕	田中 かの子	211301	23
宗教学〔世界観と儀礼〕	小川 順敬	211401	24
宗教学〔日本人の宗教〕	矢野 秀武	211501	24
宗教学〔生活と宗教〕	菅原 壽清	211511	25
宗教学〔民俗宗教の諸相〕	星野 靖二	211521	25
宗教学〔比較宗教文化〕 - フレックスB開講 -	田中 かの子	342401	26
日本文化基礎	佐原 作美	357901	26
日本文化基礎	鈴木 裕子	358001	26
日本文化基礎	湯浅 陽子	358101	27
日本文化基礎	菌部 幹生	358201	27
日本文化基礎	石割 透	358301	28
日本文化基礎	小林 治	358401	28
日本文化基礎	松田 直行	358501	29
日本言語文化基礎	休講	358801	
日本言語文化基礎	萩原 義雄	358901	30
日本言語文化基礎	湯浅 陽子	358911	31
実務表現	萩原 義雄	360901	32
実務表現	湯浅 陽子	361001	33

## (2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	南後 由和	215801	34
社会学〔現代社会を考える〕	呉 炳三	215901	34
社会学〔現代文化を考える〕	呉 炳三	216001	35
社会学〔現代文化を考える〕	牛島 千尋	216101	36
社会学〔社会生活を考える〕	小畑 和	216201	37
社会学〔社会生活を考える〕	呉 炳三	216301	37
社会学〔現代社会を考える〕 - フレックスB開講 -	南後 由和	344201	38
社会学〔現代文化を考える〕 - フレックスB開講 -	橋爪 敏	344301	38
文化人類学〔文化と人間〕	森 雅文	216701	39
文化人類学〔文化と人間〕	加藤 之晴	216801	39
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	216901	40
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	森 雅文	217001	41
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	鈴木 一馨	217101	41
文化人類学〔社会変化と価値観〕	小川 順敬	217201	42
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山 明子	217301	42
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山 明子	217401	42
文化人類学〔文化と人間〕 - フレックスB開講 -	川上 新二	344401	42
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 - フレックスB開講 -	杉井 純一	344501	43
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	217501	43
法学・憲法〔法と社会生活〕	和知 恵一	217601	44
法学・憲法〔法と社会生活〕	沼田 雅之	217701	45
法学・憲法〔法と社会生活〕	鷄徳 啓登	217801	46
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218101	46
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218201	46
法学・憲法〔法と国家〕	織田 晃子	218401	47
法学・憲法〔法と権利〕	沼田 雅之	217901	47
法学・憲法〔法と権利〕	茂野 隆晴	218501	48
法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)	池田 実	218601	48
法学・憲法〔法と権利〕 - フレックスB開講 -	鷄徳 啓登	344601	49
法学・憲法〔法と社会生活〕 - フレックスB開講 -	長谷川 日出世	344701	49
経済学〔現代社会と市場経済〕	島中 貴	219001	49
経済学〔現代経済と人間〕	森田 成也	219101	50
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	松前 龍宜	219201	50
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	矢野 浩一	219301	51
経済学〔現代経済と人間〕 - フレックスB開講 -	沼田 郷	345001	51

### (3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
科学基礎論	熊坂 さつき	219701	52
科学基礎論	佐藤 昌憲	219801	52
科学基礎論	近藤 啓介	219901	52
科学基礎論	原田 和正	220001	52
科学基礎論	名古 安伸	220101	53
科学基礎論	奥山 康男	220111	53
基礎物理学	佐藤 昌憲 ・小川 雅生	227401	53
基礎化学	原田 和正	227501	54
情報処理技術	近藤 啓介	227601	54
基礎数学	野口 勝	227701	55
物理学序論	佐藤 昌憲 ・鳥山 保	227801	55
数学序論	近藤 啓介	227851	55
生命科学	清水 善和	227901	56
化学序論	山本 裕右	228001	56

#### (4) 総合分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
総合III〔TOEFL(R)の問題で学ぶ知的教養〕	白鳥 義博	228801	57
総合III〔小説と映画で読み解く現代中国〕	塩旗 伸一郎	228901	57
総合IV〔現代アメリカ事情〕	林 明人	229001	58
総合IV〔新市民社会論〕	西村 祐子	229101	59
総合IV〔ポスト・モダンの世界〕	丸小 哲雄	229201	60

### 3. 外国語科目

#### 《必修科目・選択必修科目》

〔英 語〕

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA	田中 保	240101	63
英語IA	白鳥 義博	240201	63
英語IB	田中 保	246801	63
英語IB	白鳥 義博	246901	64
英語IIA	安齋 薫	254501	64
英語IIA	高橋 佳江	254601	64

#### 《再履修クラス》

〔英 語〕

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	大淵 利春	291501	65
英語IA〔再クラス〕	山口 晃	291601	65
英語IA〔再クラス〕	伊藤 美代子	291701	65
英語IA〔再クラス〕	岩井 洋美	291801	65
英語IA〔再クラス〕	飯沼 好永	291901	66
英語IA〔再クラス〕	町田 成男	292001	66
英語IA〔再クラス〕	外池 一子	292301	66
英語IA〔再クラス〕	太田 由紀子	292601	67
英語IA〔再クラス〕	手島 敬子	292701	67
英語IB〔再クラス〕	三芳 康義	293201	67
英語IB〔再クラス〕	安齋 薫	293401	68
英語IB〔再クラス〕	濱口 真木	293601	68
英語IB〔再クラス〕	白鳥 義博	293901	68
英語IB〔再クラス〕	川崎 笑佳	294001	68
英語IB〔再クラス〕	岩原 康夫	294101	69
英語IB〔再クラス〕	近藤 真彫	294201	69
英語IB〔再クラス〕	江田 幸子	294211	69
英語IIA〔再クラス〕	太田 美智子	294601	70
英語IIA〔再クラス〕	埴 美智子	295001	70
英語IIA〔再クラス〕	小泉 和弘	295101	70
英語IIA〔再クラス〕	川崎 浩太郎	295301	70
英語IIA〔再クラス〕	佐藤 江里子	295401	71
英語IIA〔再クラス〕	梅原 敏弘	295501	71
英語IIA〔再クラス〕	笹倉 貞夫	295601	71

## 《選択科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
ドイツ語IA (選)	武田 利勝	289601	72
ドイツ語IB (選)	井村 行子	290201	72
英会話I	セイジ、K	264201	72
英会話I	セイジ、K	264301	72
英会話I	ウェルズ、J. K.	264401	73
英会話I	ウェルズ、J. K.	264501	73
英会話I	セイジ、K	264601	72
英会話I	ミックエリゴッ ト、J. P.	264701	74
英会話I	ウェルズ、J. K.	264801	73
英会話I	レーン、C. M.	264901	74
英会話I	ミックエリゴッ ト、J. P.	265001	74
英会話I	ロンゴ、T.	265101	75
英会話I	レイン、R. V.	265201	76
英会話I	ロンゴ、T.	265301	75
英会話I	ミックエリゴッ ト、J. P.	265311	74
英会話I	ウェルズ、J. K.	265321	73
英会話II	セイジ、K	287401	76
英会話II	ロンゴ、T.	287501	77
英会話II	レイン、R. V.	287601	78
英語LLI	西村 祐子	265401	79
英語LLI	岸本 茂和	265501	79
英語LLI	井伊 順彦	265601	80
英語LLI	川崎 浩太郎	265701	80
英語LLI	外池 一子	265801	80
英語LLI	外池 一子	265901	80
英語LLI	甲斐 捷子	266001	81
英語LLI	久保 ひさ子	266101	81
英語LLII	セイジ、K	288501	81
英語LLII	高橋 明子	288601	82
英語LLII	加藤 佐和子	288701	82

## 4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
保健理論	黒子 幸一	202401	85
健康・スポーツ実習（室内球技）	下谷内 勝利	195811	85
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	森本 葵	195811	86
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	195901	86
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196001	86
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196101	86
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196201	86
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196301	86
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	山口 良博 （前期）	196401	87
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ダブルダッチ）	末次 美樹 （前期）	196401	87
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳）	大石 武士 （前期）	196401	88
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン）	牧野 茂（前期）	196401	89
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）	鈴木 淳平 （後期）	196401	90
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール）	高橋 俊介 （後期）	196401	91
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（屋外球技）	岩本 哲也 （後期）	196401	92
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	村松 誠（後期）	196401	93

## Ⅱ 専門教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
解剖学	嶋田 守男	153101	97
環境保健医学	黒子 幸一	153201	97
電気工学	佐藤 昌憲	152801	98
放射線物理学	小川 雅生	152701	98
診療画像技術学概論	西尾 誠示	153301	99
放射線機器概論	名古屋 安伸	152901	99
画像工学概論I	古川 克治	153001	100
放射線写真学	古川 克治	153002	100
応用数学	野口 勝	153401	101
診療画像技術学実験〔実験〕	西尾 誠示 ・飯田 幸雄 ・熊坂 さつき ・古川 克治	153901	102
診療画像技術学実験〔実験〕	西尾 誠示 ・飯田 幸雄 ・熊坂 さつき ・古川 克治	154001	102
医用物理学実験〔実験〕	佐藤 昌憲 ・小川 雅生 ・鳥山 保 ・羽生 毅 ・藤森 成一	153501	103
医用物理学実験〔実験〕	佐藤 昌憲 ・小川 雅生 ・鳥山 保 ・羽生 毅 ・藤森 成一	153601	103
医用化学実験〔実験〕	原田 和正 ・田中 一好 ・本多 貴之 ・三木 瑛一 ・山本 裕右	153701	103
医用化学実験〔実験〕	原田 和正 ・田中 一好 ・本多 貴之 ・三木 瑛一 ・山本 裕右	153801	103
医学概論	吉川 宏起	154901	104
臨床医学概論	嶋田 守男	155001	104
生理学	樋口 雄三	155301	104
病理学	吉川 宏起	155201	105
生化学	原田 和正	155401	105
電子工学	金子 順一	155801	105
原子核物理学	永井 喜則	155601	106



科目名	担当者名	履修コード	ページ
放射化学	山本 裕右	155701	106
放射線生物学	熊坂 さつき	155101	107
放射線計測学	青木 清	156201	107
診療画像技術学	西尾 誠示	156101	108
放射線機器工学	奥山 康男	155901	108
画像工学概論	野口 勝	156002	109
医用画像工学	熊坂 さつき	156301	109
画像数学	志村 一男	155501	109
画像検査技術学基礎実習〔実験〕	西尾 誠示 ・谷口 貴久 ・名古屋 安伸 ・長谷川 武 ・吉川 達生	156801	110
画像検査技術学基礎実習〔実験〕	西尾 誠示 ・谷口 貴久 ・名古屋 安伸 ・長谷川 武 ・吉川 達生	156901	110
電気電子工学実験〔実験〕	青木 清 ・金子 順一 ・川副 護 ・吉田 正廣	156401	110
電気電子工学実験〔実験〕	青木 清 ・金子 順一 ・川副 護 ・吉田 正廣	156501	110
放射線機器工学実験〔実験〕	奥山 康男 ・瀬尾 育式 ・羽生 毅	156601	111
放射線機器工学実験〔実験〕	奥山 康男 ・瀬尾 育式 ・羽生 毅	156701	111
画像解剖学	嶋田 守男	158301	111
画像診断技術学I	嶋田 守男	159401	112
放射線医学概論	嶋田 守男	158401	112
医学英語	吉川 宏起	159201	112
医用検査学	名古屋 安伸	159501	113
診療画像情報学I	西尾 誠示	158801	113
画像診断機器工学	瀬尾 育式	158501	114
救急医療学	奥山 康男	159601	114
臨床医療人間学I	名古屋 安伸	159701	114
核医学	奥山 康男	158901	115
応用計測学	小川 雅生	158701	115
放射線腫瘍学	高山 誠	159001	115
応用機器工学	名古屋 安伸	158601	116
画像工学I	瀬尾 育式	159801	116
画像工学II	瀬尾 育式	159901	116
画像処理言語論	近藤 啓介	159301	117
放射線関係法規	青木 清	158101	117

科目名	担当者名	履修コード	ページ
放射線管理学	青木 清	159101	118
技術英語	高橋 優身	160001	118
画像工学実験〔実験〕	野口 勝 ・飯田 幸雄 ・近藤 啓介 ・瀬尾 育弐 ・古川 克治 ・俣野 公志	160301	119
画像工学実験〔実験〕	野口 勝 ・飯田 幸雄 ・近藤 啓介 ・瀬尾 育弐 ・古川 克治 ・俣野 公志	160401	119
放射線治療技術学実験〔実験〕	佐藤 昌憲 ・飯田 幸雄 ・五十嵐 太郎 ・小川 雅生 ・高城 保 ・羽生 毅	160101	120
放射線治療技術学実験〔実験〕	佐藤 昌憲 ・飯田 幸雄 ・五十嵐 太郎 ・小川 雅生 ・高城 保 ・羽生 毅	160201	120
放射線管理学実験〔実験〕	青木 清 ・大西 孝明 ・金子 順一 ・高橋 忍 ・永井 喜則	160501	120
放射線管理学実験〔実験〕	青木 清 ・大西 孝明 ・金子 順一 ・高橋 忍 ・永井 喜則	160601	120
核医学検査技術学基礎実習〔実験〕	山本 裕右 ・奥山 康男 ・金子 順一 ・外山 真理 ・原田 和正	160701	121
核医学検査技術学基礎実習〔実験〕	山本 裕右 ・奥山 康男 ・金子 順一 ・外山 真理 ・原田 和正	160801	121

科目名	担当者名	履修コード	ページ
画像検査技術学実習〔病院実習〕	嶋田 守男 ・飯田 幸雄 ・名古 安伸 ・西尾 誠示	160901	121
画像診断技術学II	吉川 宏起	163701	122
線量計測工学	小川 雅生	162201	122
診療画像情報学II	西尾 誠示	163801	123
臨床医療人間学II	奥山 康男	163901	123
放射線治療技術学	高山 誠	163401	123
画像と放射線治療	吉川 宏起	164001	124
放射線学総合演習	野口 勝	162001	124
医療放射線科学論文講読	吉川 宏起	164101	124
医療画像科学論文講読	熊坂 さつき	164201	125
医療放射線科学総合研究	山本 裕右 ・青木 清 ・小川 雅生 ・奥山 康男 ・金子 順一 ・佐藤 昌憲 ・嶋田 守男 ・名古 安伸 ・西尾 誠示 ・原田 和正 ・吉川 宏起	162301	125
医療画像科学総合研究	野口 勝 ・飯田 幸雄 ・熊坂 さつき ・近藤 啓介 ・瀬尾 育武	162401	125
核医学検査技術学実習〔病院実習〕	吉川 宏起 ・飯田 幸雄 ・奥山 康男	163001	126
放射線治療技術学実習〔病院実習〕	吉川 宏起 ・飯田 幸雄 ・佐藤 昌憲	163101	126
画像処理論	近藤 啓介	162101	126
画像構築論I	近藤 啓介	163501	127
画像伝送論	小林 正明	163601	127
計算機言語論	近藤 啓介	164401	127
医療宗教学	吉津 宜英	164601	128
医療経済学	松元 和敏	164701	128
医療統計学	近藤 啓介	164301	129
量子論	金子 順一	164501	129
医学特論	山口 晶	164801	129
医療生物工学	休講	165201	
最新医療技術	吉川 宏起	165301	130
放射線検出器工学	鳥山 保	164901	130
放射線感光化学	山本 裕右	165001	130

科目名	担当者名	履修コード	ページ
放射線化学特論	山本 裕右	165101	131
放射化学特論	原田 和正	165401	131
放射線学特論	熊坂 さつき	165501	131
診療機器システム学	近藤 啓介	165601	132
医用材料工学	休講	165701	
画像構築論II	休講	165801	
放射線被曝管理論	羽生 毅	165901	132
画像工学概論II	野口 勝	156001	133
画像構築論II	休講	165801	

### Ⅲ 随 意 科 目

(対象：外国人留学生・帰国生)

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英語 (海外演習)	—	—	137
フランス語 (海外演習)	—	—	137
中国語 (海外演習)	—	—	137
日本語入門Ⅰ a	鈴木 美希	230512	138
日本語入門Ⅰ b	鈴木 美希	230522	138
日本語入門Ⅱ a	鈴木 美希	230532	138
日本語入門Ⅱ b	鈴木 美希	230542	139
日本語Ⅰ a	佐野 典子	230612	139
日本語Ⅰ b	佐野 典子	230622	139
日本語Ⅰ a	多田羅 哲子	230632	139
日本語Ⅰ b	多田羅 哲子	230642	140
日本語Ⅱ a	佐野 典子	230712	140
日本語Ⅱ a	多田羅 哲子	230722	140
日本語Ⅱ b	佐野 典子	230812	140
日本語Ⅱ b	多田羅 哲子	230822	140
日本語Ⅲ a	多田羅 哲子	230912	141
日本語Ⅲ a	湯村 礼子	230922	141
日本語Ⅲ b	多田羅 哲子	231012	141
日本語Ⅲ b	湯村 礼子	231022	141
日本語Ⅳ a	鈴木 美希	231112	142
日本語Ⅳ a	湯村 礼子	231122	142
日本語Ⅳ b	鈴木 美希	231212	142
日本語Ⅳ b	湯村 礼子	231222	143
日本語Ⅴ a	石川 守	231312	143
日本語Ⅴ a	多田羅 哲子	231322	143
日本語Ⅴ b	石川 守	231412	143
日本語Ⅴ b	多田羅 哲子	231422	144
日本語Ⅵ a	石川 守	231512	144
日本語Ⅵ a	多田羅 哲子	231522	144
日本語Ⅵ b	石川 守	231612	144
日本語Ⅵ b	多田羅 哲子	231622	145
日本事情Ⅰ〔地理〕	高橋 健太郎	231702	145
日本事情Ⅱ〔自然〕	清水 善和	231802	145
日本事情Ⅲ〔歴史〕	井上 桂子	231902	146
日本事情Ⅳ〔思想〕	佐藤 美奈子	232002	146
日本事情Ⅴ〔社会〕	坪井 健	232102	147
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹 直哉	232202	147
日本事情Ⅶ〔文学〕	坂口 博規	232302	148
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	佐藤 美奈子	232402	148
日本事情Ⅸ〔経済〕	福原 好喜	232502	149
日本事情Ⅹ〔経営〕	中野 香織	232602	149

# I 全 学 共 通 科 目



# 1. 宗教教育科目





履修コード	205201
科目名	仏教と人間
担当者名	奥野 光賢 <small>おくの みつし</small>

講義のねらい	<p>本学は仏教の教義、中でも曹洞宗の教えを建学の理念とする私立大学である。したがって、この講座が開講されている意義をまずしっかりと認識してもらいたい。講義は、仏教の基本的教義と歴史の解説を中心とする。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>講義は、下記に指定する教科書によって進める。教科書に入る前に、宗教学上における仏教の位置など基本的事項について概説する。</p> <p>(前期)</p> <p>(1～2) 信教の自由について  (3～4) 宗教の分類  (5～6) さまざまな宗教  (7～9) 仏教の誕生—釈尊の伝記  (10～12) 釈尊の説いた道—四諦・八正道  (13～15) 前期のまとめと小テスト</p> <p>(後期)</p> <p>(14～15) 戒・定・慧、戒と律  (16～17) 仏教の流れ—原始仏教・部派仏教・大乘仏教  (18～19) 小乗仏教と大乘仏教  (20～21) 大乘仏教の教え—六波羅蜜  (22～23) 四摂法・四無量心について  (24～25) 曹洞宗の歴史と教えについて  (26～30) 宗教と医療をめぐる問題、後期のまとめ</p>
履修上の留意点	<p>受講者の人数の関係上、授業は講義方式で進める。但し、一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。授業においてくわしく触れることになるが、この授業はけっして宗教として「仏教」の信仰を勧める授業ではない。その点くれぐれも誤解のないようにして欲しい。なお、授業中の私語、携帯電話の受信等は厳禁とする。指示を守れない人は退出させるので、あらかじめ留意しておいて欲しい。</p>
成績評価の方法	<p>学年末試験によって評価する。出席状況、小テスト等も評価の対象とするがあくまで基本は学年末試験である。</p>
教科書	<p>松本史朗『仏教への道』(東京書籍) 定価1,400円(税別)を教科書とする。その他、プリントを配布する。</p>
参考書等その他	<p>授業中に適宜指示する。  「医療健康科学部」という性格に鑑み、時間的余裕があれば、「安楽死」「尊厳死」といった問題等についても考察してみたいと思う。</p>

履修コード	205701
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	吉津 宜英

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましょう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましょう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動（new spirituality movement）という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書  
参考書等  
その他

特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します  
講義の中で随時参考図書を紹介いたします。

私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

履修コード	205801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	角田 泰隆

講義のねらい

宗教とは何か、そして仏教とは何かについて、その基本的事柄について、できるだけわかりやすく講義したい。特に、葬式仏教と批判され誤解されている仏教を、正しく認識してもらいたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず宗教とは何か(1～3)について概説し、その後、仏教の歴史(4～5)及びその基本思想(6～15)について解説する。後期は、仏教と人間(16～18)・社会(19～20)・生活(21～22)・環境(23～24)・人権(25～26)・教育等(27～30)さまざまな問題を取り上げて講義する。

履修上の留意点

教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい。(定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する)

成績評価の方法

定期試験の成績によって評価する。

教科書  
参考書等

なし  
授業において紹介する。

履修コード	205901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	大谷 哲夫

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教え。インド・中国・日本における仏教とくに禅仏教の流れ。特に本学の建学の理念の母胎を形作った禅の考え方を曹洞禅を中心にして講義を進める。

履修上の留意点

日本文化の基礎の一面を担った仏教を理解し、現代における日本人としての自分自身の存在を常に意識してもらいたい。

成績評価の方法

出席状況とレポートを加味して評価する。

教科書  
参考書等

特になし。必要な資料は随時配布する。  
必要に応じて適宜指示する。

履修コード	206001
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	晴山 俊英

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 - 四諦八正道から六波羅蜜まで -
- 第7回～第12回：アピタルマ仏教 - 五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観 -
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 - 大乘仏教の特質と思想、大乘経典 -
- 第17回～第24回：中国仏教 - 伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立 -
- 第25回～最終回：日本仏教 - 伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代 -

履修上の留意点

上記、回数はあくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

期末試験に出席の状況（不定期に出席をとりまします）を加味して評価する。  
特になし。板書が中心となる。  
授業において必要があれば適宜指示する。  
試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

履修コード	206101
科目名	自然と宗教
担当者名	小川 順敬

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書  
参考書等

原則として教科書は用いません。  
講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	206201
科目名	社会と宗教
担当者名	矢野 秀武

**講義のねらい** 宗教の信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教は社会一般の制度と関わる公的側面を持っており、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期は、宗教集団の形成や変容など宗教社会学と宗教人類学に関わる基礎知識（1～5）、カルト問題（6～10）、観光・メディア・企業など経済面と宗教の関係（11～15）を取り上げる。後期は、宗教と政治運動（16～20）、日本や欧米を事例に、宗教と政治や法律との関係（20～25）、宗教と教育や福祉との関係（26～30）などをとりあげる。

**履修上の留意点** レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。

**成績評価の方法** 前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。

**教科書参考書等** なし  
授業時に随時紹介する。

履修コード	206301
科目名	文化と宗教
担当者名	長谷部 八朗

**講義のねらい** 文化と宗教の関連をどのように理解したらよいかを検討し、それを踏まえて、我が国の近代以降、宗教が社会といかにかかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を与えてきたかを、仏教とキリスト教を中心に学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール** おおむね下記のテーマに沿って進める予定である。  
「文化」概念の捉え方、文化としての宗教、文化史研究における宗教の扱い、日本の近代化と仏教、日本の近代化とキリスト教、文化接触としてみた仏教とキリスト教の交渉。

**成績評価の方法** 出席状況、授業時に書いてもらう数回の小論文、学年末の試験を総合して評価する。  
**教科書参考書等** 使用しない。  
授業の中で適宜紹介する。

履修コード	206401・206501
科目名	坐禅
担当者名	佐藤 秀孝・池上 光洋

**講義のねらい** 駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらおうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思ひ、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を振り所にしていれば不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考えたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

**講義の内容・授業スケジュール** 半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」（坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得）

4～13 「坐禅実習」（1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です）

（道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵－坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます）

**履修上の留意点** 実習をその主たる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。抽選登録ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

**成績評価の方法** 出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

**教科書参考書等** 適宜、プリントにて配布します。

『坐禅－講本一』（更生社）2,226円

## 2. 教 養 教 育 科 目



履修コード	206601
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	塩崎 真理子 <small>しおざき まりこ</small>

**講義のねらい** 『大和物語』を周辺文学と比較しながら読む。『大和物語』は和歌説話集の性質をもつため、話型が散見する。話型をテーマとして『伊勢物語』や『今昔物語集』、『源氏物語』や他の文学作品と比較しながら講義を進めていく。また、本作品で見られた話型が現代の様々な作品にどのように影響を与えているかも、あわせて考えてもらいたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1) ガイダンス
  - 2) 『大和物語』とは
  - 3) 生田川伝説
  - 4) 蘆刈伝説
  - 5) 采女入水譚
  - 6) 龍田山伝説
  - 7) 安積山伝説
  - 8) 姨捨山説話
  - 9) 三輪山伝説
  - 10) 二人妻説話・二人夫説話
  - 11) 『大和物語』と『源氏物語』

**履修上の留意点** 古典文学の知識は必要ないが、各話型が現代の様々な作品にどのように影響しているのか問題意識をもって授業にのぞんでほしい。

**成績評価の方法** 出席状況と授業時の小レポート、課題レポートによって評価する。  
**教科書** 授業時に、プリントを配布する。  
**参考書等** 適宜、教場で指示する。

履修コード	206901
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small>

**講義のねらい** 日本文学（古典文学）に見る「旅・旅人」の文学を取り上げる。特に「漂泊・漂泊者」の文学性を考察する。「旅」を通して、そこに現れる当時の人々の意識の深層を考察してほしい。

**講義の内容・授業スケジュール** はじめに「旅・漂泊」の内実を歴史的に概説し（1・2）、漂泊者としてのヤマトタケル像（3～6）、ついで在原業平の東下り（7・8）、貴種流離譚としての光源氏の須磨退去（9・10）、西行の旅（11～15）、源義経の平泉逃亡（16・17）、阿仏尼の鎌倉下向（18・19）、後深草院二条の旅（20～23）、芭蕉の旅（24～）等々を考察してもらおう。

**履修上の留意点** 授業は適宜配布するプリント教材によって講義形式で行う。プリントはレポート作成の資料となるものであるから、出席に努めてほしい。

**成績評価の方法** 授業の最終日にレポートを提出してもらい、その成績に出席状況や授業への取り組み（授業内の小レポート提出等）への評価を含めて評価する。

**教科書** 授業時に配布するプリントを教材とする。  
**参考書等** 授業時に適宜紹介する。



履修コード	206701
科目名	文学〔日本文学「日本のことば」〕
担当者名	相澤 貴之

講義のねらい	本講義は、日本のことばについて、ときに深く、ときに広く、考え、学ぶものである。講義は現代語の国語辞典をテーマとして進めていく。国語辞典に関する基本事項の確認から始め、それをふまえて、国語辞典を起点として社会や文化の諸相を捉えることで、現代日本語に対する感覚、及び日本文化に対する感覚を磨く。
講義の内容・授業スケジュール	現代語の国語辞典の基本的な使い方の確認、辞典の比較研究などを通して現代の日本語を考える。更には、現代日本語文法、方言、外国語などとの関連事項を盛り込み、講義を進めていく。講義の流れは次の通りである。 前期1～5) 辞典の基本、6～10) 辞典の比較、11～15) 現代日本語文法との関わり、後期1～5) 外国語との関連、6～10) 方言との関連、11～15) 辞典の研究
履修上の留意点	講義の中では、紙媒体の辞典を中心にさまざまな国語辞典を利用していくが、新たに辞典を購入する必要はない。各自既に持っている辞典を利用すれば良い。電子辞書も可。ただし、常に辞典を引くという習慣を持って講義に臨むことを強く求める。
成績評価の方法	成績は、①前期3回、後期3回(通年で合計6回)課すレポート、②出席状況、③授業態度、の3項目により総合的に評価する。
教科書 参考書等	授業時にプリントを配布する。 授業中に指示する。

履修コード	207001
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	石割 透

講義のねらい	日本近代文学史のうえで、重要な位置を占め、多くの読者に愛され続けている夏目漱石「坊ちゃん」、島崎藤村「家」、そして芥川龍之介の作品を中心にその内容を細かく検討する。特に、作品の表現について触れ、他の芸術表現ジャンルに対しての文学テキストの特色、テキストにうかがえる文化的諸相を明らかにし、そこに潜む課題について考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	1、夏目漱石「坊ちゃん」(6) 2、島崎藤村「家」(8) 3、芥川龍之介「鼻」(3)、4 芥川龍之介「地獄変」(3) 5 芥川龍之介「奉教人の死」(3) 6、芥川龍之介「舞踏会」(3) など。
履修上の留意点	前もって、その授業で扱う作品をできるだけ読んで授業にのぞむこと。図書館などに積極的に足を運ぶように。特に夏目漱石、島崎藤村や田山花袋、芥川龍之介や菊池寛などの作品をできるだけ多く読んで授業に臨むこと。
成績評価の方法	年2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。
教科書 参考書等 その他	特に指示しないが、授業で扱う作品は、文庫本で読める。「夏目漱石 坊ちゃん」「島崎藤村「家」(以上「新潮文庫」など)、「芥川龍之介全集1～6」(ちくま文庫)など。 授業時に指示する。 講義形式で進める。プリントなどは必要な際に、その都度準備する。

履修コード	207201
科目名	文学〔日本のことば〕
担当者名	萩原 義雄

**講義のねらい** 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に涉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に授業を進めていく。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明  
国語・国文学作品に於ける研究とその展開
  - 02の講義内容 和語と漢語
  - 03の講義内容 漢字教育にみる日本語(「常用漢字表」の行方)
  - 04の講義内容 国語辞書(近代国語辞書、大槻文彦編『大言海』)
  - 05の講義内容 漢和辞書(近代漢和辞書、諸橋轍次編『大漢和辞典』)
  - 07の講義内容 地名辞書(近代地名辞書、吉田東吾編『大日本地名辞書』)
  - 08の講義内容 植物辞書(近代植物辞書、牧野富太郎編『日本植物大辞典』)
  - 09の講義内容 和英辞書(近代英和辞書、ヘボン『和英語林集成』)
  - 10の講義内容 明治近代語の研究、雑誌『太陽』を読む
  - 11の講義内容 大正近代語の研究、芥川龍之介著作集を読む
  - 12の講義内容 昭和現代語の研究、井上靖著作集を読む
  - 13の講義内容 平成現代語の研究、村上春樹著作集を読む
  - 14の講義内容 「パロディ」化の作品とは
  - 15の講義内容 絵本と言語
  - 16の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現
  - 17の講義内容 書道と言語(唐顔真卿と明朝体文字)
  - 18の講義内容 文字遊び(回文・逆きことば・しりとり等)
  - 19の講義内容 文字の不思議さ(漢字=正字・通俗字、増画と省画、欠字=『干禄字書』、かな(誕生と広がり)、ローマ字)
  - 20の講義内容 豊富な語彙を学ぼう(『分類語彙表』)
  - 21の講義内容 文法はグラグラと揺れている
  - 22の講義内容 文章体の特徴を知ろう
  - 23の講義内容 音韻の響きと弾み
  - 24の講義内容 共通語と方言語はどう変容していくのか
  - 25の講義内容 日本語の系統
  - 26の講義内容 言語生活からみた新聞記事・雑誌
  - 27の講義内容 愈々、独り立ち

**履修上の留意点** ※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。  
※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

**成績評価の方法** 成績評価方法  
月毎に上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し内容を発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。  
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

『紀田順一郎著作集』第6巻一知の職人たち／生涯を賭けた一冊―〔三一書房1997刊〕

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

教科書  
参考書等  
その他

履修コード	207301
科目名	文学〔外国文学「アメリカ文学」〕
担当者名	田中 保

**講義のねらい** アメリカ文学の大潮を辿りながら、主要な作家の代表作品を取り上げて、それらの作品を通して、アメリカの文化・歴史・社会を多角的に考察していく。

**講義の内容・授業スケジュール** [1]アメリカ文学の大潮(1~15)  
[2]主要な作家の作品研究(1~15)

**履修上の留意点** 前期は講義形式で、足早にアメリカ文学を概観します。後期は主な作家の作品一覧表から興味ある作品を数編選び、グループ編成による発表を行なう。

**成績評価の方法** レポート提出、発表、出席状況等で総合的に評価する。

**教科書** 特に教科書は使用しません。必要に応じてプリントを使用します。

参考書は授業の際に、適宜紹介します。

履修コード	207401
科目名	文学〔外国文学「ロシア文学」〕
担当者名	杉山 秀子

**講義のねらい** ロシア文学は長い伝統をもつ傑出した文学として日本ではよく知られているが、その詳細について知る人は少ない。日本とは全く異なる土壌でつくられた文学を学ぶことはその国のものの考え方、行動様式を理解するうえできわめて重要であり、意義深いことである。

**講義の内容・授業スケジュール** (1)ロシアとはどういう国なのか。その風土、国民的気質、宗教、歴史、政治体制、経済についてのあらまし(2-3)ロシア人は自国の言葉をどのように守ってきたか、ロシア語の特性と文学(4-6)女帝の支配するロシア、古典主義文学の隆盛、フォンヴィージン、カラムジンの輩出、ロモノソフの文字改革。(7-9)18世紀から19世紀にかけて活躍する文豪達。プーキン、ゴッリ、ツルゲーネフ、レールモントフ、チェルヌイシェフスキ、ゲルツェンの輩出(10-12)20世紀初頭のチェホフの文学 1917年革命後に活躍したゴーリキイを中心とするズナーニェ派の作家。これに対抗したのは、ペールイ、ギッピウス、ソロヴィヨフ、ソログープ、ブリュソフ、ブロークラの象徴派の詩人。リアリズム派と、モダニズム派との熾烈な文学闘争。(13-14)スターリンの台頭による文学のしめつけ。スターリン死後、作家同盟を中心とする雪どけ。エレンブルグが活躍、ソルジェニツインの国外退去。(15)1991年のソヴェート政権崩壊後の文学。

**履修上の留意点** 特にないが、自分の意見を書いてもらうことがある。その場合インターネット、ウィキペディアの丸写しは評価しない。

**成績評価の方法** 文章表現力をつけるため、数回授業中に文章を書いてもらい提出してもらう。授業内試験と提出物を基本に評価する。出席状況も考慮。

**教科書** 特になし。

**参考書等** 授業内で指示する。

履修コード	342501
科目名	文学〔日本文学「古典」〕 - フレックスB開講 -
担当者名	池田 大輔

**講義のねらい** 土佐日記、蜻蛉日記といった平安時代に輩出した日記文学作品を扱います。それらの作品を通して(原文に触れ)作者たちの心情を感じ取ることを目的とすると同時に、作品の時代背景などを確認しながらそれぞれの日記の世界観、作者たちの置かれていた立場などについても学んでもらいたい。また、作品に見られる風土や儀礼・年中行事などの知識を身に付けることを中心に進めます。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1) ガイダンス
- 2) 平安時代の日記
- 3) 蜻蛉日記
- 4) 和泉式部日記
- 5) 紫式部日記
- 6) 更級日記
- 7) 成尋阿闍梨母集
- 8) 讃岐典侍日記

**履修上の留意点** 現代語訳のものでよいので、事前に作品を読んでおくことと良い。学期末には試験(披見可)を行うので、ノートはきちんと取り、配布プリントも整理しておいて下さい。出席重視。

**成績評価の方法** 出席状況(60%)と試験(40%)などにより評価します。

**教科書** 毎時間、プリントを配布します。

**参考書等** 宮崎荘平『王朝女流日記文学案内』(朝文社)  
石原昭平、津本信博、西沢正史編『女流日記文学講座』第1巻~第4巻(勉誠社)

履修コード	342701
科目名	文学〔日本文学「古典」〕 - フレックスB開講 -
担当者名	伊藤 達氏

講義のねらい	本講義では芭蕉の『おくのほそ道』以前の紀行文である、『野ざらし紀行』『鹿島詣』『笈の小文』『更科紀行』を読むことにより、芭蕉の表現の様相・芭蕉にとって旅とはどのような意義を持っていたのかという問題を探っていく。
講義の内容・授業スケジュール	1) 本講義のガイダンス 2) 俳諧連歌について 3) 談林時代の芭蕉 4) 深川隠棲時代の芭蕉 5) 最初の旅へ(『野ざらし紀行』出立前の芭蕉の動向) 6) 『野ざらし紀行』(以下、順次上記の紀行文を読み進める。なお同時代の俳人・芭蕉の門人・蕉風俳論・当時の社会状況なども適宜参照する。)
履修上の留意点	指定したテキストを購入し、授業の前には該当箇所を読んでおくこと。欠席が三分の一に達した者は単位を認定しない。疑問点があれば積極的に授業中、時間後に質問して下さい。
成績評価の方法	年度末のレポートを主とする。前期・後期の最終日に小テストを行う。出席状況・聴講態度も加味する。
教科書 参考書等	中村俊定校注『芭蕉紀行文集 付蟋蛾日記』(岩波文庫)、500円 (ISBN-00-302061-8) 授業中に適宜紹介する。プリントで配布する場合もある。

履修コード	342601
科目名	文学〔日本文学「近代」〕 - フレックスB開講 -
担当者名	中西 亮太

講義のねらい	この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の短歌作品を読み、論じていきます。日ごろ短歌を読み慣れていない人にとって、短歌の内容を読み解くのは、なかなか難しいことです。しかも、短歌は内容を読み解くだけでなく、言葉の音楽性まで味わうべきものです。そこで先ず、受講生が短歌の読み解き方の基本を身に付けられるよう、訓練します。次いで、短歌の響きとリズムの味わい方について話を進めます。そして、その上で、受講生が近代歌人の表現世界に対する関心と理解を深めることを目指します。講義で取り上げる作品を一首紹介しておきます。「白い手紙がとどいて明日は春となるうすいがらすも磨いて待たう」(斎藤史『魚歌』)
講義の内容・授業スケジュール	原則として、毎回一人の歌人の作品を読んでいきます。取り上げる歌人は、与謝野晶子、石川啄木、北原白秋、斎藤茂吉、前川佐美雄、斎藤史、塚本邦雄、中城ふみ子などです。前期が明治期と大正前半の歌人たち、後期が大正後半と昭和期の歌人たちです。なお、講義をより効果的なものにするために、前後期に一度ずつ、実習として短歌を作り歌会をします。また、現代の歌人を教室に招いて話を聴くことも予定しています。
履修上の留意点	積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。
成績評価の方法	学年末に試験を実施します。また、授業中に課題を出すことがあります。
教科書 参考書等	なし。授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。 高野公彦編『現代の短歌』講談社学術文庫、1,450円、ISBN4-06-158974-1。この本は、明治から昭和までの代表的な歌人の作品を収録しています。

履修コード	209601・209801・210101
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	鈴木 聡

**講義のねらい** 論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。論理学とは、妥当な論証と非妥当な論証との差異についての研究である。妥当な論証とは、前提から結論が帰結する論証である。前提から結論が帰結することを意味論的ならびに統語論的に表現することが論理学の主要課題である。妥当な論証を行う能力を身につけることは、いかなる分野を専攻する学生にとっても重要なことである。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) プロローグ・(2) 文論理における文の記号化・(3) 文論理の言語・(4～7) 文論理の意味論・(8～14) 文論理の統語論・(15) 中間試験・(16・17) 第一階量化論理の基本概念・(18・19) 第一階量化論理の言語など・(20・21) 多重量化・(22・23) 第一階量化論理の意味論・(24) 第一階量化論理のメタ論理・(25～29) 第一階量化論理の統語論・(30) 期末試験

**履修上の留意点** 講義を理解するためには、「数学」のセンスが必須である。  
欠席・遅刻は一切認めない。

**成績評価の方法** 成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

**教科書** 配布プリント

**参考書等** 本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→・・・という形式で行う。

履修コード	209701
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	山口 祐弘

**講義のねらい** 論理学の基本思想を学ぶことによって、正しく思考し語る態度を身につける。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 前期
- ① 論理学の課題と目標
  - ② 思考の基本原則、同一律・矛盾律・排中律・理由律
  - ③ 伝統的論理学と弁証法
  - ④ 論理的思考の要素、概念・判断・推理
  - ⑤ 推理の方法、直接推理
  - ⑥ 推理の方法、間接推理
  - ⑦ 蓋然的推理、帰納と類推
  - ⑧ 誤謬論
  - ⑨ パラドックス
  - ⑩ 論理と科学
- 後期
- ① 記号論理学の起源
  - ② 命題論理学
  - ③ 命題関数と真理表
  - ④ 標準形
  - ⑤ 命題論理の公理体系
  - ⑥ 体系の無矛盾性と完全性
  - ⑦ 命題の内部構造
  - ⑧ 述語論理学の基本概念
  - ⑨ 定理の演繹
  - ⑩ 伝統的論理学の記号化

**履修上の留意点** 日常の思考と言語表現における論理性に注意をむけること。

**成績評価の方法** 中間および期末試験による。

**教科書** 山下太郎「新しい認識への論理」(公論社)

履修コード	209901
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	<small>たきぐち きまえい</small> 滝口 清栄

**講義のねらい** 私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。こう見るならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなかろうか。ひとたびこの点に注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとし、思考の諸法則が身につくよう心がける。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書はおもにそれぞれのテーマの理解を得るために使い、練習問題をそのつど配布する。形式論理学に重点をおいて授業を進めていく。  
前期では、実際に文章を論理的に解説する練習をおこない、そのあと、論理的虚偽について、概念、定義と分類、命題、演繹推理（定言三段論法、仮言三段論法など）、帰納推理、記号論理初歩を扱う。

**履修上の留意点** 理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解いて、論理的な思考回路が身につくように工夫する。出席を重視する。

**成績評価の方法** 年間5回の小テストをおこなって、成績を出す。したがって、追試験はおこなわない。

**教科書** 山下太郎他著『新しい認識の論理』（公論社）3,200円

履修コード	210001
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	<small>いこた まさる</small> 伊古田 理

**講義のねらい** 本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的ノウハウの習得を目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール** (1)(2)「論理的」とはどういうことか (3)主張文の基本構成 (4)～(6)問題設定のしかた (7)～(9)根拠づけの考えかた (10)～(13)結論のつけかた (14)～(16)論証の基本原則 (17)(18)文献を使って文章を書く(1)－その意義 (19)～(22)文献を使って文章を書く(2)－文献を読む (23)～(28)文献を使って文章を書く(3)－文章を書く (29)(30)文章作成の倫理

**履修上の留意点** 以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

**成績評価の方法** 最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート試験（1月定期試験時提出）によって判定。このほか、随時課する小レポート（内容要約、など：期日厳守）をプラス材料として考慮する。定期試験はいっさい実施しない。

**教科書** 本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。  
教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）  
副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

**参考書等その他** そのつど指示する。  
上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

履修コード	210201
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	小島 優子

講義のねらい	論理力は、自分の考えていることを他人に納得のゆくように筋道立てて説明するさいに、必要となる。そして論理的に文章を書くためには、論理学の構造を学ぶだけではなく、論理学の問題練習を行うことが必要である。そのために講義では毎回、問題演習を行う。いわゆる悪文と良文とはどこが異なるのか。わかりやすい文章、論理的につじつまの合う文章を書くために必要な事柄は何であるのか。講義では毎回、参考となる文章を取り上げて、論理的な文章を書き、論理的な構造を把握し身につけるためのトレーニングを行う。最終的には、論理的な力を身につけ、レポートや、論文を書くための力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス 論理学とは何か</li> <li>2 さまざまな接続関係</li> <li>3 接続の構造</li> <li>4 議論の組み立て</li> <li>5 論証の構造と評価</li> <li>6 演繹と推測</li> <li>7 価値評価</li> <li>8 否定</li> <li>9 条件構造</li> <li>10 推論の技術</li> <li>11 批判への視点</li> <li>12 論文を書く</li> </ol>
履修上の留意点	論理力を身につけるためには、論理力トレーニングが必要となるので、講義に出席することが大事である。このために出席を重視する。
成績評価の方法	一回の定期試験（中間試験）と、一回の学期末試験、および平常点（授業時に適宜与える課題）で評価する。定期試験と学期末試験、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。
教科書 参考書等	野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書） そのつど指示する。

履修コード	343401
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕 - フレックスB開講 -
担当者名	伊古田 理

講義のねらい	現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。 具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	(1)論理とはなにか (2)～(6)三段論法 (7)～(12)命題論理(1)－命題論理の意味論 (13)夏期中間試験 (14)～(19)命題論理の「証明」 (20)～(25)述語論理(1)－述語論理の記号表記 (26)～(30)述語論理(2)－述語論理の「推論」
成績評価の方法	年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題(年間通して計3回)を出す。これらによって総合的に評価する。
教科書	野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

履修コード	343501
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕 - フレックスB開講 -
担当者名	麻生 享志 <small>あきお たかし</small>

**講義のねらい** 西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで（１）論理とは何かを考え、（２）変化する論理学の各内容についての知識を持ち、（３）日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などを主な話題とします。

**講義の内容・授業スケジュール**

（1-7）概説・文献・古代・ゼノン・歴史・推理小説・日常性（8-13）逆接・クイズ・数理・パズル・記号・真理函数（14-22）原理・充足理由・矛盾・排中・演繹・背理・推理・偽・逆（23-30）後件肯定・科学・帰納・実験・方法・諸学・真理・まとめ

**履修上の留意点**

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

**成績評価の方法**

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料（60%）にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

**教科書  
参考書等  
その他**

特になし。講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。  
多数。講義内にて詳細に説明します。  
講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。

初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。（その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。



履修コード	210601
科目名	倫理学〔人間観〕
担当者名	<small>ふるた ともあき</small> 古田 知章

**講義のねらい** われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答、そして、われわれ自身の生きる目標としての人間観が提示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。
- [前期] 人間観の形成の歴史とその伝統
- (1) ガイダンス
  - (2~4) 人間と倫理 一人間であるために一
  - (5~8) 古代ギリシア思想における人間観の諸相
  - (9~11) 中世キリスト教思想における人間観
  - (12~15) 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革ー
- [後期] 新しい時代の人間観
- (1) 前期のまとめ
  - (2~5) 出発点としてのデカルト《思惟する私》とパスカル「考える葦」
  - (6~9) 自己の内面性と他者の問題
  - (10~12) 人格 ーロックを手がかりにー
  - (13~15) 人間存在と自由

**成績評価の方法**  
**教科書**  
**参考書等**

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。  
『原典による哲学の歴史』（公論社）  
講義の際にその都度紹介する。

履修コード	210701・211111
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	<small>くろさき つよし</small> 黒崎 剛

**講義のねらい** 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」ー「価値」や「義務」、「習慣」といったーの正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理ー講義の課題概説
  2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
  3. 人工妊娠中絶
  4. 安楽死と尊厳死
  5. 脳死と臓器移植
  6. 「生殖革命」ー人工生殖の現状と問題点
  7. 遺伝子操作論

**履修上の留意点**

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

**成績評価の方法**  
**教科書**

レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。  
教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

履修コード	210901
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>

講義のねらい	倫理学の一部門、応用倫理学について、その基本構成、重要な成果、さらには限界を探っていく。我々の人間的な生にとって、なにが善いことでなにが悪いことなのか、といった道徳的な価値判断は本質的な契機をなしている。しかし、社会が複雑化し科学技術が極度に発展した現代においては、そのような価値判断のよりどころが判明でないような場面が多々出現するようになっている。物事の根本に立ち戻って哲学的に思考することによって、そのような場面に一定の見通しを与えることを試みる。
講義の内容・授業スケジュール	[1回～5回] 倫理学とはなにか（倫理学の基本概念を紹介する。） [6回～10回] 応用倫理学とはなにか（応用倫理学の哲学史的位置づけなど。） [11回～15回] 生命倫理学の諸問題（中絶の問題、安楽死の問題、臓器移植の問題など。） [16回～20回] 環境倫理学の諸問題（地球温暖化の問題、希少動物保護の問題など。） [21回～25回] その他の諸問題（技術と倫理との関係など。） （*残りは予備日。また、あくまで目安である。）
履修上の留意点	講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。
成績評価の方法	学年末試験を行う。その他に、講義中に提出してもらった課題を評価の対象とする。具体的には中間レポート等を考えている。出席については受講者数をみてとるかどうかが決める。
教科書 参考書等	講義中に適宜指定する。 久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他のものについては講義中に適宜指定する。

履修コード	210801
科目名	倫理学〔価値観〕
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>

講義のねらい	何が善で何が正しいか、何に「価値」があるかという問題は、近代以前においては、何が真理であり、何が存在するかという世界観や認識の問題と切り離すことはできなかったが、近代以後峻別されるようになった。だが、現代では再びその点に対する反省が出てきて、世界認識と価値判断の関連が問われている。そこで本講義ではまず近代以前の東西の倫理思想における価値観をとりあげ、次に近代の価値判断をめぐる思想を取り上げ、そして現代における人間の生き方を問うことにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 仏教、儒教、老荘思想、古代ギリシア哲学、キリスト教における世界観と価値判断 2 近代倫理学（カント、経験論・功利主義、ヘーゲルなど）における価値をめぐる思想 3 現代における価値の問題
履修上の留意点	私語をつつしみ、よくノートを取る。途中退席は厳禁。講義内容の疑問点は率直に問うこと（随時、質問表を配る）。
成績評価の方法	中間と期末の試験、出席の割合など
教科書 参考書等	久保・河谷編「原典による哲学の歴史」（公論社） 授業中に紹介する。

履修コード	211001
科目名	倫理学〔制度とモラル〕
担当者名	<small>たぎぐち きよあき</small> 滝口 清栄

**講義のねらい** 人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返る。それは、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

**講義の内容・授業スケジュール** 本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、おおまかに、前期には、古代ギリシア、中世、近代初頭までの諸思想を、後期には、近世、近代のイギリス、フランス、ドイツの諸思想を検討する。

**履修上の留意点** 講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

**成績評価の方法** 中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。  
**教科書** 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

履修コード	211101
科目名	倫理学〔東洋倫理〕
担当者名	<small>すえき やすひこ</small> 末木 恭彦

**講義のねらい** 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。主として西洋の哲学の一部門として発達した。それに相当する思索は東洋の伝統的思想の中に生まれていた。近代に至って、西洋の学問の影響下、東洋の伝統を生かそうとする試みが行れた。そのような東西のはざままで苦心して考えられた、東洋の倫理思想を紹介し、我々自身の倫理思想を獲得する一助としたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 今年は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎の倫理学を紹介する。和辻倫理学の中でも『人間の学としての倫理学』を取り挙げて、一年かけてじっくりと読みたい。

(1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答

**履修上の留意点** ノートをしっかり取る。  
**成績評価の方法** 各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。

**教科書** 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）（岩波全書版でも可）

**参考書等** 和辻哲郎『倫理学』（一）～（四）（岩波文庫）

湯浅泰雄『和辻哲郎――近代日本哲学の運命』（ちくま学芸文庫）

坂部恵『和辻哲郎――異文化共生の形』（岩波現代文庫）

苅部直『光の領国 和辻哲郎』（創文社）

履修コード	211201
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	いけがみ ましまさ 池上 良正

**講義のねらい** 宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期は、近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。(1～5) 近代における「宗教」の発見。(6～10) 聖なる時間と空間。神話の力。(11～15) グローバル化のなかの「宗教」。(16～20) 一神教の誕生。ユダヤ教。(21～25) キリスト教。(26～30) イスラーム。

**履修上の留意点** 積極的に「学ぶ」意欲をもって授業に臨むこと。

**成績評価の方法** 年度末に筆記試験を行なう。

**教科書** 特に指定しない。

**参考書等** 『岩波講座・宗教』(全10巻)(岩波書店)。『エリアーデ著作集』(せりか書房)。脇本平也『宗教学入門』(講談社学術文庫)。加藤隆『新約聖書の誕生』(講談社)。市川裕他『ユダヤ人と国民国家』(岩波書店)。板垣雄三『イスラーム誤認』(岩波書店)。

履修コード	211301
科目名	宗教学〔聖と俗〕
担当者名	たなか かのこ 田中 かのこ

**講義のねらい** ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類(例:「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」)から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期(1～15)は、ほかならぬ自らの「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期(16～30)は、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」について、教科書を縦横に駆使しながら探究する。

**履修上の留意点** 既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

**成績評価の方法** 独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポートと学年末試験(追試なし)。

**教科書** 拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』(北樹出版)2008年、改版(第4刷発行)

**参考書等** 講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

履修コード	211401
科目名	宗教学〔世界観と儀礼〕
担当者名	小川 順敏 <small>おがわ としゆき</small>

**講義のねらい** 人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

**講義の内容・授業スケジュール** まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

**成績評価の方法** 評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

**教科書参考書等** 原則として教科書は用いません。  
講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	211501
科目名	宗教学〔日本人の宗教〕
担当者名	矢野 秀武 <small>やの ひでたけ</small>

**講義のねらい** 宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 前半はおもに、宗教学の基礎（1～5）、神道と仏教（6～10）、民俗宗教（11～15）など日本の諸宗教の歴史を中心に概説する。後期では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。具体的には、日本のキリスト教や新宗教などの概説（16～20）とともに、近代日本の宗教者の思想（21～25）を紹介する。その他日本の宗教建築や現代日本人の信仰心の特質（26～30）などもとりあげる。

**履修上の留意点** レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。

**成績評価の方法** 前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。

**教科書参考書等** なし  
授業時に随時紹介する。

履修コード	211511
科目名	宗教学〔生活と宗教〕
担当者名	菅原 壽清

**講義のねらい** 人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教学人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教学人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. 宗教学・宗教学人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

(隔年で、後期の授業内容を変えています。昨年度は、農耕儀礼と人生儀礼から、私たちに身近な生活と宗教を見てきました。今年度は、呪術と宗教、シャーマニズム、妖術などから、私たちの身近にある暮らしの中の宗教を捉えてみたいと思っています。勿論、宗教学の理論も押さえながら。)

**履修上の留意点** 講義では、調査で写した写真をプロジェクターなどを用いて映します。また、関連の写真をホームページでも公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。さらに、DVDを用いて、授業に関連した映像も写します。広く、アジアの人々の暮らしに関心のある方は是非どうぞ。

**成績評価の方法** 試験 +  $\alpha$  +  $\beta$  (詳細は、講義の時説明)

$\alpha$  = 座席点 (ABCで、積極的な授業参加を評価します)

$\beta$  = レポート点 (課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します)

**教科書** 特には、指定しません。

**参考書等** 『宗教学ハンドブック』(世界書院)

講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

講義ノートをプリントして配布します。また、学内LANでも公開の予定です。

**その他** 授業の方法—講義、ビデオ・DVD、プロジェクターによるスライドの映写など、ビジュアルな授業を展開したいと思っています。調査 Field Work に関心のある方 (社会・文化人類学、宗教学人類学) 是非どうぞ。

履修コード	211521
科目名	宗教学〔民俗宗教の諸相〕
担当者名	星野 靖二

**講義のねらい** 本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。それは現代に生きている私たちの生活にどのような形で「宗教」が関わっているのかということについて自分の問題として考えることでもあり、またそれを可能にする方法と材料を提供していきたいと思っています。

**講義の内容・授業スケジュール**

[01] はじめに。[02~03] 現代社会における宗教：導入として、現代社会においてどのような形で宗教が問題になっているのかについて概観します。[04~07] 宗教学について：宗教学の基本的な考え方について概説します。[08~11] 宗教の世界地図：世界の様々な宗教とその実践についての基本的な知識を確認します。[12~16] 近代日本の宗教：近代以降の日本の宗教とその実践についての歴史を概観します。[17~24] 生活と宗教：生活と宗教の関わりについて、毎回一つのトピックを取り上げて考察します。[25~29] 現代日本と宗教：現代日本における宗教のあり方について考察を加えます。[30] おわりに。

**履修上の留意点** 講義内容についてのコメントカードを適宜提出してもらいます。

**成績評価の方法** 夏期休暇中に小レポート (30点)、学期末に期末レポート (50点) を課します。これにコメントカード・平常点 (20点) を合わせ、総合的に評価します。

**教科書** 特には使用しません。

**参考書等** 棚次正和・山中弘編『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005  
関一敏・大塚和夫編『宗教学人類学入門』弘文堂、2004  
島蘭進・福嶋信吉・葛西賢太・藤原聖子編『宗教学キーワード』有斐閣、2006  
末木文美士『日本宗教史』岩波書店、2006

**その他** 詳細については、初回講義時に説明します。

履修コード	342401
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕 - フレックスB開講 -
担当者名	田中 <small>たなか</small> かの子

**講義のねらい** 人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限らない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などというところ、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

**講義の内容・授業スケジュール** 講義担当者の生活体験をとまなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。前期（1～15）は諸宗教に共通する人間文化の特徴、後期（16～30）は各宗教の個性と他宗教との関係を念頭に置きながら、その時々の世界情勢を踏まえたトピックを臨機応変に選んでいく。

**履修上の留意点** 板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

**成績評価の方法** 出席状況、創意工夫や日本語の表現力を評価する課題レポート、学年末試験（追試なし）。

**教科書** 拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2008年、改版（第4刷発行）

**参考書等** 「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

履修コード	357901
科目名	日本文化基礎
担当者名	佐原 <small>さばら</small> 作美

**講義のねらい** 奈良平安朝の文学をもとに、古代日本人の思想や精神生活のありようを探ることをテーマとした。

**講義の内容・授業スケジュール** 授業ではその方法として、『古事記』や『万葉集』や『風土記』さらに『竹取物語』や説話集などを対象に、前半は「物」に対する考え方（5～6回）を見る。また、後半では「言葉」（5～6回）の問題を考えていく。つまり、前者を「呪物（的）信仰」、後者を「言霊信仰」としてとらえ、その視点から見ていきたい。

**履修上の留意点** 古代文学や古代人の心性に迫るにはまず先入観を捨て、単純素朴な気持をもって接するよう心掛けてほしい。

**成績評価の方法** 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本とし、出席状況を考慮して評価する。

**教科書** プリントの配布をもって行う。

**参考書等** 必要に応じて授業の中で紹介する。

履修コード	358001
科目名	日本文化基礎
担当者名	鈴木 <small>すずき</small> 裕子

**講義のねらい** テーマ：古典文学に見る〈家族〉  
古代の文学作品を中心に取り上げ、それらに描かれた古代の人々の生活を見ていきたい。例えば、良妻／悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母／慈母とは何か、男女の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど、実際に古典作品の一節を読みながら考える（現代語訳を用意する）。

**講義の内容・授業スケジュール** 説話や日記文学、物語などに描かれている家族像を読みながら現代につながる人間の問題を探る。あわせて古典文学のおもしろさが味わえるとよい。

**履修上の留意点** プログラム：（1）ガイダンス、（2～4）古代前期の家族・『古事記』、『万葉集』を中心に、（5～7）平安時代の貴族の家族・『落窪物語』、『蜻蛉日記』を中心に、（8～11）説話の世界に見る家族像の変遷・『日本霊異記』、『沙石集』を中心に、（12～14）家族の問題を考える・『源氏物語』から現代文学へ、（15）総括。

**成績評価の方法** 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。

期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

**教科書** プリント教材。

**参考書等** 服藤早苗『平安朝の母と子 貴族と庶民の家族生活史』中公新書、その他、参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	358101
科目名	日本文化基礎
担当者名	湯浅 陽子

講義のねらい	<p>どんな人でも文化でも、自己を知ることとは他者を知ることよりずっと困難です。私たちは日頃日本人であることを意識することはありませんが、海外へ行ったときとか、あるいは日本国内で非日本人と接触したときに、初めて自分が日本人であることを意識させられます。そのようなとき、改めて自己の文化について何事かを語ろうとして、自分がいかに無知であるかを思い知らされるのです。</p> <p>一体日本とは何なのか？日本文化とは何なのか？…これは、「自分とは何か」と自分に問うのに似て、日本人にとって永遠に問い続けなければならない種類の疑問であり、それゆえ答えは一定ではありません。</p> <p>この授業が、これから始まる、永遠に問い続ける問いの、最初の答えのきっかけとなれば幸いです。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1回 授業の進め方、「トピックス」の提示、KT2000テスト、Power Point の使い方の実習</p> <p>第2回～第6回 Power Point の使い方の実習、この間にKT2000テスト2回実施</p> <p>第7回～第11回 「トピックス」で選んだテーマに従い取材し、得た情報を Power Point でスライドにまとめる。この間にKT2000テスト2回実施</p> <p>第12回～第15回 発表会</p>
履修上の留意点	<p>「日本の文化」に関して、自宅の伝統行事、新聞・雑誌・書籍・インターネット・TV特集番組など、身近にある情報源に常にアンテナを張り巡らし、必要な情報を集めるように心がけましょう。</p> <p>文字入力に困らぬよう、タッチタイピング（手元を見ないで入力する方法）をマスターするための自助努力を課します。総合情報センター自習室のPCに入っているタイピング練習ソフト（Type Quick）を使って自分でタイピングレベルを上げてください。タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さも評価対象にしますので、努力が報われるはずです。</p>
成績評価の方法	<p>出席点（30%）、Power Point 実習課題点（20%）、プレゼンテーションの学生間の相互評価点（30%）およびKT2000テスト最高点（20%）の総合点で評価します。</p>
教科書	<p>適宜指示します。</p>
参考書等	<p>新聞・雑誌・書籍・インターネット・TV特集番組・各家庭の伝統行事など</p> <p>杉浦洋一、John K.Gillespie（共著）『日本文化を英語で紹介する事典』ナツメ社 ¥1,980 ISBN 4-8163-3735-0 C0582</p>
その他	<p>希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト（Type Quick）USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。</p>

履修コード	358201
科目名	日本文化基礎
担当者名	茵部 幹生

講義のねらい	<p>真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的現象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4～5 自己認識の文化。6～9 衣食住の文化。10～11 宗教文化・スポーツ文化・原宿文化・テレビゲームの可能性と文化的展望。12～13 文化史としての日本文学と伝承文芸。14 教場試験。15 まとめ。</p>
履修上の留意点	<p>毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。</p>
成績評価の方法	<p>出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、ノート・参考書等の持込可）。また、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。</p>
教科書	<p>必要に応じてプリントを配布する。</p>
参考書等	<p>必要があればそのつど紹介する。</p>



履修コード	358301
科目名	日本文化基礎
担当者名	いしわり とおる 石割 透

**講義のねらい** ジャズ音楽の日本での受容について。ジャズは、大正時代にレコードの浸透、カフェ、ダンスホールの流行と共に移入され、特に戦後、猛烈なアメリカ文化の日本への進入と共に、日本で確固たる芸術として、アフリカ系アメリカ人の生んだ文化として、その発生の歴史が認識され、文学者などにも影響を与えてきた。この時間は、そうしたジャズの、敗戦から安保条約、新安保条約下での日本でのジャズ受容の展開を検討し、戦後の文化の一端を考察しようとするものです。

**講義の内容・授業スケジュール** 1 敗戦と駐留軍クラブにおけるジャズ(1)、2 東京ブギウギの流行など笠置シズ子の活躍を中心に(2)、3 サンフランシスコ講和条約後の、ジャズと呼ばれた日本のポピュラー音楽(2)、4 ジャズショーとミュージカル映画(2)、5 ジャズ喫茶文化について(2)、6 日活アクション映画、「嵐を呼ぶ男」を中心に(2)、7 シネ・ジャズについて(2)、8 大江健三郎「飼育」松本清張「黒地の絵」などをめぐって(2)、9 ビートゼネレーションの文学の移入(2)、10 「真夏の夜のジャズ」など(2)、11 61年正月のアートブレイキーの来日公演(1)、12 朗読詩(1)できれば、以後の倉橋、中上、村上などの文学に与えた影響も考えていきたい。

**履修上の留意点** アメリカのジャズの歴史的な展開を大体把握して、授業に臨んでいただきたいと思う。

**成績評価の方法** 出席を重視する。ジャズの受容についてのレポートを提出。それらを加味して評価する。

**教科書** 特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。

**参考書等** マイク・モラスキイ「戦後日本のジャズ文化」(青土社)、倉田善弘「日本レコード文化史」(岩波書店)など。授業時に指示する。

**その他** 映画などは、ビデオなどで見ることを考えています。

履修コード	358401
科目名	日本文化基礎
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

**講義のねらい** 宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばまわられてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類なき想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。

**講義の内容・授業スケジュール** 上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『シグナルとシグナレス』、『氷河鼠の毛皮』およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。  
(1~3) 宮澤賢治の軌跡(4~6)『シグナルとシグナレス』の分析と読解(7~9)『氷河鼠の毛皮』の分析と読解(10~12)『どんぐりと山猫』の分析と読解(13~15)『水仙月の四日』の分析と読解

**履修上の留意点** 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

**成績評価の方法** 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

**教科書** 宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』(ちくま文庫)1,000円

**参考書等** その他、適宜プリントも配布する。  
授業時に指示する。

履修コード	358501
科目名	日本文化基礎
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい

講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした日本近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合による近現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 音の科学 (2) 基本の楽理 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダニズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ

履修上の留意点

前期にフレッシュマンセミナーを受講した新入生が後期にはこの科目を履修することを想定している。各自の興味・関心をもとに真剣に授業に取り組む学習姿勢を身につけること自体も目的としている。そのため基本的に毎回出席する姿勢が求められ、遅刻しての入室は禁じる。2/3以上の出席がなければ単位を取得できない。

成績評価の方法

音楽に関して、中学校の音楽の授業で学ぶ程度の基礎知識と楽譜の理解力を必要とする。定期試験期間中に筆記試験を行う。定期試験の点数を6割、出席状況と授業での提出物による評価を4割として採点する。

教科書  
参考書等

指定しない。授業でプリントを配布し、配布したプリントは定期試験に持ち込み可とする。  
佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書、¥725。

履修コード	358901
科目名	日本語文化基礎
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果  
その研究領域の一般活用と手続き  
(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど)
- 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1(中国と日本)
- 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2(朝鮮半島と日本)
- 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3(モンゴルと日本)
- 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4(ベトナムと日本)
- 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5(タイと日本)
- 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6(インドネシアと日本)
- 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に)
- 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1(ギリシャとトルコと日本)
- 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2(イタリアと日本)
- 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3(英国・米国・豪国と日本)
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。  
※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

レポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。  
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。  
ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。  
また、総合教育研究学部(日本文化部門)&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書等その他の

随時、講義の前後にて報知します。  
随時、講義の前後にて報知します。  
情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	358911
科目名	日本語文化基礎
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆみき しょうこ</small>

講義のねらい

現代の情報化社会において、情報を十分に活用する能力（情報利活用力）は、社会人としての必須能力です。本講座では、情報のインプットからアウトプットまでの流れー「情報収集」「情報管理」「情報分析」「情報創造」「情報表現」ーの5つの分野のうち、解決策を効果的に示す「情報表現」における様々な基礎的能力、すなわち、伝えたいことが伝わる国語力・文章力・図解力を身につけ、さらに情報を送受信する際に必要なモラルや知識を身につけることを目指します。

また、課題の入手から提出まで、全てパソコンで処理する中で、自然とPC操作能力が高まることも、ねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 授業の進め方： 「YeStudy」コース登録方法と課題提出の仕方、KT2000、Type Quick について
- 第2回 情報表現力とは 【e-learning】《確認小テスト》
- 第3回 文章表現力1-1（前半）【e-learning】《課題1-1、確認小テスト》
- 第4回 文章表現力1-2（後半）【対面授業】《課題1-2、確認小テスト》 KT2000
- 第5回 Drill-1【e-learning】
- 第6回 文章表現力2【対面授業】《課題2-1&2-2、確認小テスト》 KT2000
- 第7回 文章表現力3【e-learning】《課題3、4-1&4-2、確認小テスト》
- 第8回 ビジネス文書【対面授業】《課題5-1&5-2、確認小テスト》 KT2000
- 第9回 その他の文書【e-learning】《課題5-3&5-4、6、7、確認小テスト》
- 第10回 Drill-2【e-learning】
- 第11回 ビジュアル表現力1【対面授業】《課題8-1&8-2、9-1&9-2、確認小テスト》 KT2000
- 第12回 ビジュアル表現力2【対面授業】《課題10-1&10-2、11、確認小テスト》
- 第13回 Drill-3【e-learning】
- 第14回～15回 まとめ【対面授業】 KT2000

履修上の留意点

後期第1回目の授業で授業の進め方の説明を受け、その後は、常に「YeStudy」に入って指示を見ながら、ある程度自己管理の下に課題をこなして、採点に直結するポイントを貯めていく授業形態です。

成績評価の方法

課題、確認小テスト、Drill の総合得点により評価します。各提出物には、それぞれに締切日時があり、期限を過ぎるとアップロードできなくなります。いかなる理由があろうとも、提出されなかったものは評価対象になりません。提出期限厳守です。

教科書等

noa 出版 『伝える力がつければ変わる！情報表現力』 株式会社ワークアカデミー ¥1,766

課題を作成するには、パソコンに Word、Excel および PowerPoint が入っていることが必要です。ソフトの使い方が分からない場合は、毎週必要とする人に開講している「対面授業」に出席して質問するか、書店に並んでいる操作説明書を参考にしてください。

その他

この授業は E-education「YeStudy」を使用して行います。後期最初の授業（説明会）に出席しないと受講の仕方が分からず、単位が取れなくなりますのでご注意ください。

スポーツも芸ごとでも「基本が大切」とは、よく言われることですが、PC操作も実はスポーツと似ていて基本が大事です。PC操作の基本とは、手元を見ないで打つ「タッチタイピング」です。文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力为中心で、基本が出来ているか否かで、仕事の処理能力にかなりの差がつくものです。空き時間を利用して、総合情報センター自習室のコンピュータに入っているタッチタイピングソフト「Type Quick」で入力スキルアップを図ってください。

なお、希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト（Type Quick）USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	360901
科目名	実務表現
担当者名	萩原 義雄

**講義のねらい** 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に進めていく。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明  
書く技術 原稿用紙縦書きの意味
- 02の講義内容 出版社はなぜ400字詰め原稿用紙を用いないのか？
- 03の講義内容 800字の文章は、こうして書く。
- 04の講義内容 原稿用紙7枚半(3000字)の文章の書き方
- 05の講義内容 漢和辞典を繙く
- 07の講義内容 国語辞典を繙く
- 08の講義内容 類語辞典を活用してみよう
- 09の講義内容 話題のエピソードを導入部で使おう
- 10の講義内容 人物はどのように描けるか
- 11の講義内容 自然景物をどう活写するか
- 12の講義内容 時代小説家は何に留意して作品を構築しているのか
- 13の講義内容 推理小説は、種明かしの部分をどこにおいているか
- 14の講義内容 「パロディ」な文章を書いてみよう
- 15の講義内容 絵本を書いてみよう
- 16の講義内容 漫画・アニメにみる「ことば表現」を使えるか
- 17の講義内容 手書き文字はどうすれば巧く書けるようになるのか？そのコツ！
- 18の講義内容 詩や短歌を用いてことば遊び(回文・逆さことば・しりとり等)を学ぼう
- 19の講義内容 かな文字だけの文章
- 20の講義内容 ローマ字だけの文章
- 21の講義内容 文法は、グラグラだ！どうすりゃいいの？
- 22の講義内容 文章の修辞法を知ろう
- 23の講義内容 音の響きと弾みから学ぶ「オノマトペ」の活用法
- 24の講義内容 生活に根ざした「方言」で書く文章
- 25の講義内容 「句読点」はどう用いてきたか
- 26の講義内容 言語生活からみた「新聞論評・コラム」
- 27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめざそう。(PPTの作成)

**履修上の留意点**

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

**成績評価の方法**

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めています。その仕上がりに度合いを許し評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

**教科書その他**

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

情報機器及び文書編集ソフト「一太郎2009」を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	361001
科目名	実務表現
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

**講義のねらい** プレゼンテーションとは、語源である「贈呈する」の視点から言えば、提示する、つまり「見せる」技術です。話すことにおいても、書くことにおいても、「見せる」という意識がとても大切です。

本講義をとおして、話す技術、書く技術を「見せる」プレゼンテーションに高める方策として「パワーマップ」と「アウトライン」を活用しながら、確かな話す技術、骨子が見えるビジネス文書を書く技術を身につけます。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1) オリエンテーション、履修登録許可者選抜テスト (KT2000、PPT、Word)
- 2～3) 話す技術、書く技術両方に共通した考え方「パワー・ライティング」
- 4) プレゼンテーションの技法チェック
- 5～6) 話す技術 (抗議)
- 7～8) 話す技術 (反駁)
- 9～10) 話す技術 (交渉)
- 11～12) 話す技術 (企画・提案)
- 13～15) 話す技術 (報告)
- 16～17) KT2000、ビジネス文書作成の基本確認
- 18～19) 書く技術 (抗議状)
- 20～21) 書く技術 (反駁状)
- 22～23) 書く技術 (交渉状)
- 24～25) 書く技術 (企画・提案)
- 26～27) 書く技術 (報告書)
- 28) KT2000
- 29～30) まとめ

**履修上の留意点**

第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っていても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したものとみなします。(連絡先: [yuasa@komazawa-u.ac.jp](mailto:yuasa@komazawa-u.ac.jp))

**成績評価の方法**

出席点 (40%)、合計3回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点 (20%)、および「話す」「書く」の提出課題点 (40%) の合計点により評価します。

**教科書参考書等**

- 適宜指示します。
- 日経BPソフトプレス 『Microsoft Office Word 2007 ビジネス問題集』 日経BPソフトプレス  
 ¥1,050 ISBN978-4-89100-896-3
- 入部明子 『サバイバル・プレゼンテーション』 メディア・テック出版  
 ¥2,604 ISBN4-89627-296-X

**その他の**

課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト (Type Quick) でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるUSBメモリ又はCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	215801
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	南後 由和 <small>なんご よしかず</small>

**講義のねらい** 本講義では、普段何気なく目にしている光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとします。そのことにより、現代社会の背後で起きている事象を広く見通す「まなざし」を養い、「社会学する」実践感覚をつかむことを目指します。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) イントロダクション、新しい社会学のために(2～4) 親密性と公共性、相互行為と自己(5～7) 社会秩序と権力、組織とネットワーク(8～11) メディアとコミュニケーション(12～16) 歴史と記憶、空間と場所(17～19) 環境と技術、医療・福祉と自己決定、国家とグローバリゼーション(20～21) 家族とライフコース、ジェンダーとセクシュアリティ(22～23) エスニシティと境界、格差と階層化(24～27) 文化と再生産、社会運動と社会構想(28) 総括

**履修上の留意点** 授業の順序および配分は、多少変更の可能性があります。  
教科書をベースに、具体的なトピックや映像作品を紹介しながら講義を進めます。講義中に挙手・発言をするなど、受講者の積極的な「参加」を求めます。

**成績評価の方法** 平常点、授業中の課題、前・後期のレポートにより総合的に評価します。

**教科書** 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣) 3,500円

**参考書等** 授業中に随時紹介します。

履修コード	215901
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	奥 炳三 <small>おく ひやうさん</small>

**講義のねらい** 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

**講義の内容・授業スケジュール** (前期) 社会学の基礎概念：  
(1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として、(3～4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7) 国民性についてグループ討議、(8) 日本的行為論、集団論として、(9) 集団の概念、(10) 官僚制理論、(11) 小集団論、(12) 集団の類型、(13) 日本的集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：  
(1) 家族、(2) 家族の機能、(3) 恋愛、(4) 結婚、(5) 自殺についてグループでディベート、(6) 少年犯罪、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン・摂食障害、(9) 若者・IT文化、(10) フリーター、ニート・引きこもり、(11) 格差社会についてグループでディベート、(12) 性同一性障害、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダー、(15) 後期テスト

以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

**履修上の留意点** 本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

**成績評価の方法** 出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

**教科書** 開講時に説明する。

**参考書等** 講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216001
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	おびょうさん 呉 炳三

**講義のねらい** 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

**講義の内容・授業スケジュール**

（前期）社会学の基礎概念：

（1）はじめに、（2）社会学とは、行為論として、（3～4）社会学における行為、（5）行為者としての個人、（6）社会化と人間形成、（7）国民性についてグループ討議、（8）日本の行為論、集団論として、（9）集団の概念、（10）官僚制理論、（11）小集団論、（12）集団の類型、（13）日本の集団論、（14）おわりに、（15）前期テスト

（後期）現代社会の特徴的な諸相：

（1）家族、（2）家族の機能、（3）恋愛、（4）結婚、（5）自殺についてグループでディベート、（6）少年犯罪、（7）少子・高齢、（8）アダルトチルドレン・摂食障害、（9）若者・IT文化、（10）フリーター、ニート・引きこもり、（11）格差社会についてグループでディベート、（12）性同一性障害、（13）就職・転職・リストラ、（14）ジェンダー、（15）後期テスト

以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

**履修上の留意点**

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

**成績評価の方法**

出席状況（遅刻厳禁）と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

**教科書  
参考書等**

開講時に説明する。  
講義中に、その都度紹介する。



履修コード	216101
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	<sup>うしじま ちひろ</sup> 牛島 千尋

社会分野

**講義のねらい** 社会は人間、集団、そしてこれらの相互的な関係から成立している。本講義の前期では、まず、社会はどのような仕組みで成立しているのか、社会と個人、個人と個人はどのような関係にあるのかを学んでいく。後期は、前期の内容をもとに、社会階級・階層、ジェンダー、エスニシティ、世代、地域からみた社会・文化に関する諸問題を国内外の事例を通して考察していく。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. オリエンテーション
2. 社会の発見と社会学
3. 社会学の誕生と展開(1)－予見するために観察する
4. 社会学の誕生と展開(2)－社会の発展的類型化
5. 社会学の誕生と展開(3)－集合的表象としての社会
6. 社会学の誕生と展開(4)－社会的連帯と社会類型
7. 社会の変動と動向(1)－近代化・産業化・都市化
8. 社会の変動と動向(2)－産業社会と社会階級
9. 社会の変動と動向(3)－支配の諸類型と近代官僚制
10. 大衆社会と中間集団
11. 大衆社会と社会的性格(1)－伝統指向型・内部指向型・他人指向型
12. 大衆社会と社会的性格(2)－オーガニゼーション・マン
13. 農村と都市－産業社会と都市
14. 都市化と生活様式(1)
15. 都市化と生活様式(2)
16. 社会階層・階級、ジェンダー、エスニシティ
17. 社会階層・階級と文化(1)
18. 社会階層・階級と文化(2)
19. 社会階層・階級と文化(3)
20. エスニックグループとエスニシティ(1)
21. エスニックグループとエスニシティ(2)
22. エスニックグループとエスニシティ(2)
23. ジェンダーと現代社会(1)
24. ジェンダーと現代社会(2)
25. ジェンダーと現代社会(3)
26. 現代社会と文化(1)
27. 現代社会と文化(2)
28. 現代社会と文化(3)
29. まとめ
30. 後期試験

**履修上の留意点**  
**成績評価の方法**  
**教科書**  
**参考書等**

特になし。  
出席状況、授業中のレポート、試験(持込不可)によって評価します。  
内容は多岐にわたるので、特に指定しません。  
内容は多岐にわたるので、その都度紹介します。

履修コード	216201
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	おぼた かず 小畑 和

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的(Macroscopic)なもの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- (1) マクロ的要因(現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会(少子社会)を総合的に講義する。)
  - (2) 誕生に関する要因(出生・墮胎・殺児…)
  - (3) 幼児・子供の成長に関する要因(育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)
  - (4) 家庭生活に関する要因(核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)
  - (5) 消費生活に関する要因(広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)
  - (6) 会社生活に関する要因(入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)
  - (7) 老後の生活に関する要因(年金、介護、生きがい、死の問題…)などを講義する。
- この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

初回の講義で説明する。  
五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。  
初回の講義で説明する。  
初回の講義で説明する。  
上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

履修コード	216301
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	おびよんさん 呉 炳三

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)社会学の基礎概念：  
(1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として、(3~4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7) 国民性についてグループ討議、(8) 日本の行為論、集団論として、(9) 集団の概念、(10) 官僚制理論、(11) 小集団論、(12) 集団の類型、(13) 日本の集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト
- (後期)現代社会の特徴的な諸相：  
(1) 家族、(2) 家族の機能、(3) 恋愛、(4) 結婚、(5) 自殺についてグループでディベート、(6) 少年犯罪、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン・摂食障害(9) 若者・IT文化、(10) フリーター、ニート・引きこもり、(11) 格差社会についてグループでディベート、(12) 性同一性障害、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダー、(15) 後期テスト
- 以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参すること、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書  
参考書等

開講時に説明する。  
講義中に、その都度紹介する。

履修コード	344201
科目名	社会学〔現代社会を考える〕 - フレックスB開講 -
担当者名	南後 由和

**講義のねらい** 本講義では、普段何気なく目にしている光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとします。そのことにより、現代社会の背後で起きている事象を広く見通す〈まなざし〉を養い、〈社会学する〉実践感覚をつかむことを目指します。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) イントロダクション、新しい社会学のために(2~4) 親密性と公共性、相互行為と自己(5~7) 社会秩序と権力、組織とネットワーク(8~11) メディアとコミュニケーション(12~16) 歴史と記憶、空間と場所(17~19) 環境と技術、医療・福祉と自己決定、国家とグローバリゼーション(20~21) 家族とライフコース、ジェンダーとセクシュアリティ(22~23) エスニシティと境界、格差と階層化(24~27) 文化と再生産、社会運動と社会構想(28) 総括

**履修上の留意点** 授業の順序および配分は、多少変更の可能性あります。  
教科書をベースに、具体的なトピックや映像作品を紹介しながら講義を進めます。  
講義中に挙手・発言をするなど、受講者の積極的な〈参加〉を求めます。

**成績評価の方法** 平常点、授業中の課題、前・後期のレポートにより総合的に評価します。

**教科書等** 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣)3,500円  
授業中に随時紹介します。

履修コード	344301
科目名	社会学〔現代文化を考える〕 - フレックスB開講 -
担当者名	橋爪 敏

**講義のねらい** この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。

前期1)~8) 社会学とは何か、社会学の対象と方法、社会科学としての社会学9)~15) 歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書的 sociology、マルクス主義の影響。

後期は16)~20) フランスにおける現代社会学への歩み21)~25) ドイツにおける現代社会学への歩み26)~30) 現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にしたい。

**成績評価の方法** 成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

**教科書等** 安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)  
高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)  
R. ニスベット『現代社会学入門1~4』(講談社学術文庫)  
その他授業中に適宜指示したい。

履修コード	216701
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	森 雅文

講義のねらい

異文化を理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会の比較を通して、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異についての見聞を拓けることではなく、人々の日常的な実践に顕れる多様な人間性の表現についての妥当的な理解を探り、そのまなざしを自己を含めた諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。この講義では、文化の多様性を前提とした他者理解の枠組みについて、代表的なテーマや民族誌的事例とともに解説します。

講義の内容・授業スケジュール

また、近年では異文化を発見して記すという営為に批判も向けられています。異文化および他者とは何か、この現在の問題意識も踏まえながら、文化への洞察力、自己や他者に向き合うという実践の基礎力の養成を目指します。

以下の内容は、受講者の関心により変更する場合があります。

「文化」概念の基礎と歴史（人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座）

人間の社会化と新旧の理論（家族、婚姻、親族、人の一生と通過儀礼、ジェンダー）

環境への適応と文化様式（生業と社会、採集狩猟・牧畜・農耕、開発と社会の変貌）

共同性の構築と構造主義の文化理論（贈与と交換、境界と穢れ）

観念的世界と現実世界の接合（妖術と邪術、呪術、シャーマニズム、儀礼と神話）

人間と社会の存在様式（個人と身体、近代国家と民族、エスニシティ）

文化の現代的理解（土着・混濁・越境、グローバリズム、異文化の理解と翻訳）

履修上の留意点  
成績評価の方法

初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。

前期と後期に実施する筆記試験の合計を100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容を平常点として換算し、10%までの加算点とします。

教科書  
参考書等

特定の教科書は指定しません。

一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。

各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介します。

その他

ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	216801
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	加藤 之晴

講義のねらい

文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そして「フィールドワーク」と呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか？」といった問いを立て、その答えを探し求めていくなかで、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに言語・身体・宗教・病い・食などのキー・ワードを挙げ、文化人類学の世界ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

I. 文化人類学の「文化」とは？

II. 文化人類学とフィールドワーク

III. 食と文化

IV. 人間と境界

V. 人間と「病い」

VI. 信仰と世界観

履修上の留意点

授業中・授業後の質問は大歓迎です。積極的な授業態度で臨んでくれると、こちらも張り合いが出ます。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価しますが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とするかもしれません。

教科書

特定の教科書は用いません。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布します。これに基づいて授業を進めてゆきます。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介します。

履修コード	216901
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	杉井 純一

社会分野

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解することの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
  1. 文化人類学とは何か
  2. 文化人類学の歩み(1)
  3. 文化人類学の歩み(2)
  4. 文化とコミュニケーション
  5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
  6. 環境と人間(2) 牧畜民
  7. 環境と人間(3) 農耕民
  8. ジェンダー
  9. セクシュアリティ
  10. 婚姻の形態
  11. 家族の多様性
  12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
  1. 呪術と宗教
  2. アニミズム
  3. シャーマニズム
  4. シングレティズム
  5. 儀礼の構造
  6. コスモロジー
  7. 神話
  8. 政治組織
  9. 民族とエスニシティ
  10. 民族紛争と戦争
  11. 開発と文化
  12. 移動の民族誌

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書等  
参考文献等

ビデオを見た感想を問うことがあります。  
夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。  
特に指定しません。適宜、プリントを配布します。  
祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円  
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円  
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社)2,200円  
できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

その他

履修コード	217001
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	森 雅文

講義のねらい

異文化を理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会を比較を通じて、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異についての見聞を拡げるのではなく、人々の日常的な実践に顕れる多様な人間性の表現についての妥当的な理解を探り、そのまなざしを自己を含めた諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。この講義では、観念的世界観と現実世界の接合を果たす文化実践に焦点をあてながら、多様性を前提とした他者理解の枠組みを解説します。

講義の内容・授業スケジュール

また、近年では異文化を発見して解釈して記すという営為に批判も向けられています。異文化および他者とは何か、この現在的な問題意識も踏まえながら、文化への洞察力、自己や他者に向き合う実践の基礎力の養成を目指します。

以下の予定は、受講者の関心により内容を変更する場合があります。

「文化」概念の歴史（人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座）  
 文化と儀礼の基礎理解（人の一生、通過儀礼、境界と穢れ、贈与と交換）  
 社会の結とコスモロジー（妖術と邪術、呪術、神話と儀礼、聖地巡礼）  
 人間の存在様式（シャーマニズム、個人と身体、伝統医療と近代医療）  
 文化の現的理解へ（テクノロジーと世界観、エスニシティ、文化の融合と衝突、異文化の理解と翻訳）

履修上の留意点  
成績評価の方法

初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。  
 前期と後期に実施する筆記試験の合計を100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容を平常点として換算し、10%までの加算点とします。

教科書  
参考書等

特定の教科書は指定しません。  
 一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。  
 各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介します。

その他

ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	217101
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	鈴木 一馨

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性に基づく「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を探り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間の認識、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

履修上の留意点

前期：  
 第1部. 文化人類学と民族  
 I. 「文化」と「文化人類学」（1～3）、II. 「民族」とはなにか（4～6）  
 第2部. 民族とコスモロジー  
 I. 「コスモロジー」とはなにか（7～8）、II. 天とひとつのコスモロジー（9～10）、III. 世界の断絶と連続（11～15）

成績評価の方法

後期：  
 第3部. 風水のコスモロジー  
 I. 風水を構成する宇宙論（16～24）、II. 風水による現実空間の意味付け（25～26）、III. 風水と人間社会（27～30）

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないといけない。

教科書  
参考書等

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

プリントを使用する。

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560、1990年）840円、ISBN：4121905601  
 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』（人文書院、1990年）1,995円、ISBN：4409410482  
 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界一』（講談社選書メチエ244、2002年）1,575円、ISBN：4062582449  
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』（光文社知恵の森文庫、2008年）724円、ISBN：9784334785116

履修コード	217201
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬

**講義のねらい** 文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

**講義の内容・授業スケジュール** 人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思ひます。

**成績評価の方法** 人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思ひます。

**教科書** 評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

**参考書** 祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）  
講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

履修コード	217301・217401
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	うちやま あきこ 内山 明子

**講義のねらい** グローバル化により、近年、日本でも様々な文化をもつ人々との日常生活空間の共有化が進展する一方、排外的なナショナリズムの動きも拡大している。このような時代に自分たちと異なる人々とどう関係を築いていくのかを考え実践していくうえで、文化人類学は一つの指針になりうる。本講義では、これからますます加速化する多文化状況を様々な局面から柔軟に捉えていくための一助として文化人類学の基礎知識を提供していきたい。

**講義の内容・授業スケジュール** （1）文化人類学とは（2～5）異文化理解のむずかしさ：文化相対主義、ろう文化、文化多元主義と多文化主義（6～9）民族と人種：様々な民族概念、原初主義と道具主義、人種と優生学（10～14）文化人類学の基本的枠組み：「未開」と「文明」、主要学説、フィールドワークと民族誌、オリエンタリズム、近代世界システム（15～18）家族と親族：出自理論、縁組理論、民俗生殖理論、生殖医療の発展と親族・家族研究（19～22）交換と経済：クラとポトラッチ、交換論、資本主義との接合（23～26）儀礼と分類：分類と分類からはずれるもの、通過儀礼、コミュニタス（27～30）宗教：呪術と宗教、大伝統と小伝統、国家と宗教

**成績評価の方法** 終講後に行う期末試験（筆記試験）を基本に、夏休みの課題レポートを加味して評価します。出席は取りませんが、授業内に行うビデオ鑑賞の感想文提出などを参考にします。

**教科書** 指定しません。参考文献は授業内で随時紹介します。

履修コード	344401
科目名	文化人類学〔文化と人間〕 - フレックスB開講 -
担当者名	かわかみ しんじ 川上 新二

**講義のねらい** 文化人類学は世界のさまざまな民族や社会の理解を通じて、究極的には人間とは何かを考えようとする学問です。この授業では、さまざまな民族や社会、さらには人間を理解するために文化人類学が提出してきた見方、考え方を学びながら、今後も地球規模でさまざまな社会の人々と交流しながら生活していくことになるであろう私たちにとって有効と考えられる視座を養うことを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール** （前期）（1～2）文化人類学とは、（3～4）異文化と自文化、（5～6）人間と文化、（7～8）文化についての進化論と伝播論、（9～10）文化についての機能主義と構造主義、（11～12）文化と言語、（13～14）経済生活、など。

（後期）（1～2）婚姻、（3～4）家族、（5～6）祖先とのつながり、（7～8）呪術、（9～10）妖術と邪術、（11～12）憑依、（13～14）文化的性差と文化の型、など。

**成績評価の方法** 学期末試験、年3回（前期1回、夏休み、後期1回）のレポート、出席状況で評価します。

**教科書** 祖父江孝男『文化人類学入門』増補改訂版、中央公論社（中公新書）

履修コード	344501
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 - フレックスB開講 -
担当者名	杉井 純一

**講義のねらい** さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものと共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

**講義の内容・授業スケジュール**

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か、
2. 文化人類学の歩み（1）、
3. 文化人類学の歩み（2）、
4. 文化とコミュニケーション、
5. 環境と人間（1）狩猟採集民、
6. 環境と人間（2）牧畜民、
7. 環境と人間（3）農耕民、
8. ジェンダー、
9. セクシュアリティ、
10. 婚姻の形態、
11. 家族の多様性、
12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教、
2. アニミズム、
3. シャーマニズム、
4. シンクレティズム、
5. 儀礼の構造、
6. コスモロジー、
7. 神話、
8. 政治組織、
9. 民族とエスニシティ、
10. 民族紛争と戦争、
11. 開発と文化、
12. 移動の民族誌

**履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等**

ビデオを見た感想を問うことがあります。

夏期レポート（20%）、期末試験（60%）、平常点（20%）で評価します。

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）800円

山下晋司ほか『文化人類学キーワード』（有斐閣）1,700円

佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）2,200円

**その他**

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

履修コード	217501
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	長谷川 日出世

**講義のねらい** 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール**

- ①講義に関する全段的説明、
- ②社会秩序と法、
- ③～⑥法概念の本質、
- ⑦～⑩法の成り立ちとその分類、
- ⑪～⑫法の解釈、
- ⑬～⑮日本の裁判制度、
- ⑯憲法とは何か、
- ⑰近代憲法の構成原理、
- ⑱日本の憲法史、
- ⑲～⑳日本国憲法の基本原理、
- ㉑～㉒基本的人権の保障、
- ㉓国会、
- ㉔内閣、
- ㉕司法権、
- ㉖一年間のまとめ

**履修上の留意点**

日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に、教科書を必ず読んでおくこと。

**成績評価の方法  
教科書**

学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。

長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN 4-7923-0399-0



履修コード	217601
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	和知 恵一

社会分野

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集まり、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。六法を使いこなせるようになることも目的の一つとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。また毎回理解確認のための小テストを行う。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで、各項目に2～3時間を割り振ることで進めていく。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う。適宜報道などと関連させたい。したがってやらない項目もある。）

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する（全回出席をとります）。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれば出席扱いとすることがある。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすくなるべく前から着席すること。万一遅刻したときは、最前列に着席すること。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。理由なく欠席した者は、受験資格を失う。その試験の得点に、小テストなどの平常点を加味して評価する。

教科書

○小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）

○六法（例として、『ポケット六法（平成21年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

●茂野隆晴編『プライマリー法学～日本法のシステム～』（芦書房）

●大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）

その他

その他授業の中で、随時紹介する。

最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

履修コード	217701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	沼田 雅之 <small>ぬまた まさゆき</small>

**講義のねらい** 法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決を図らうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュアップをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで。少なくとも、私はそう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識（教養）、価値判断の方法や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。

例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。

「私権の享有は、出生に始まる。」

この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことはできないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語ることができるからです。しかし、みなさんはそれを語ることはできません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」というものを体系的に理解していないために、その世界を語ることはできないのです。

この講義は、その法の「体系的理解」の扉を少しだけ開けてみようというのが目的です。

**講義の内容・授業スケジュール**

法学に関する下記の各テーマに沿って、判例（判決）を中心に講義形式で解説をおこないます。

ガイダンス（1）、法学の基礎（2～3）、三菱樹脂事件（4～5）、日産自動車事件（6）、マクグリーン事件（7）、北方ジャーナル事件（8～9）、宇奈月温泉事件（10）、契約の自由と規制（11～12）、駿々堂製パン事件（13）、消費者の保護（14～15）、不法行為（16～17）、会社法を取り巻く問題（18）、朝日訴訟（19～20）、高知放送事件（21）、萬世工業事件（22～23）、電気窃盗事件（24）、徳島県公安条例事件（25）、映画「12人の怒れる男」の上映（26）、東海大学安楽死事件（27）、代理母出産児出生届受理申立事件（28）、予備日（29～30）

**履修上の留意点**

・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

**成績評価の方法**

- ・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。
- ・試験成績（70％）＋平常点（30％）＝100点。
- ・90点以上・・・S、80点以上・・・A、70点～80点未満・・・B、60点～70点未満・・・C、60点未満・・・D。
- ・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。
- ・平常点は、出席点（50％）と課題点（50％）で構成されます。よって、出席をとりま（毎回ではありません）。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしません。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。

**教科書**

教科書は指定いたしません。担当教員が作成したプリント教材を用います。開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます（データはPDF形式で配布予定です）。

**参考書等**

- ・詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。
- ・森泉 章編著『法学（第4版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-18332-5）
- ・西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学（第4版）』（2005年有斐閣）2,200円（ISBN 4-641-18316-3）
- ・伊藤真『法学への誘い（第2版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-12510-4）

**その他**

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に、大学配布のものとは異なるシラバスを配布します（取り上げるテーマなどが、ここで記載されたものと異なる場合があります）。それを熟読の上、履修を決定してください。

履修コード	217801
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	鶏徳 啓登

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後60年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。  
 (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異  
 (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論  
 (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。  
 (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質  
 (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類  
 (6) 各種基本的人権の内容  
 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用  
 (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

出席状況と試験による。  
 小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版) 3,500円  
 『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種) 及び参考書は教場にて説明致します。

履修コード	218101・218201
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	新田 浩司

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義では、法学及び国家の根本法である憲法について、現実が発生する様々な問題にも言及しながら理解を深め、我々が国民として住民として生活する上で必要な法的思考(リーガル・マインド)を養うことを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目	ガイダンス	第14回目	国家の安全保障
第2回目	法学の基礎知識①	第15回目	精神的自由権①
第3回目	法学の基礎知識②	第16回目	精神的自由権②
第4回目	法学の基礎知識③	第17回目	経済的自由権
第5回目	法学の基礎知識④	第18回目	社会権
第6回目	法学の基礎知識⑤	第19回目	参政権
第7回目	法学の基礎知識⑥	第20回目	国務請求権
第8回目	憲法の基礎知識①	第21回目	統治機構①
第9回目	憲法の基礎知識②	第22回目	統治機構②
第10回目	日本国憲法の制定過程	第23回目	統治機構③
第11回目	日本国憲法の基本原理①	第24回目	統治機構④
第12回目	日本国憲法の基本原理②	第25回目	まとめ
第13回目	象徴天皇		

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題も多く、この講義を履修して法的思考を養い、それらの問題を考える知識を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。  
 なお、適宜、小テスト及び授業の出席確認を予定している。

教科書  
参考書等

開講時に指示する。  
 小六法(何でも可)があれば持参することが望ましい。

履修コード	218401
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	織田 晃子

講義のねらい 法とは何かに始まり、日本国憲法と人権について講義する。  
 講義の内容・ 講義の内容・ (1) 法とは何か・法の目的 (2~10) 立法と司法・法の適用と解釈 (11~20) 日本国憲法と人  
 授業スケジュール 権 (21~30) 法と社会生活・契約と損害賠償、不法行為と損害賠償、安全配慮義務等々  
 履修上の留意点 六法は必ず持参すること  
 成績評価の方法 期末試験の成績による  
 教科書 『判例法学』4版(有斐閣ブックス)、ポケット六法(有斐閣)  
 その他 プリント配布

履修コード	217901
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	沼田 雅之

講義のねらい 法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決  
 を図ろうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論  
 理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュア  
 ヱプをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、  
 一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで。少なくとも、私は  
 そう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識(教養)、価値判断の方法  
 や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。  
 例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。

「私権の享有は、出生に始まる。」

この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことはでき  
 ないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文  
 だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語ることができるからです。しかし、  
 みなさんはそれを語ることができません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」とい  
 うものを体系的に理解していないために、その世界を語ることができないのです。

この講義は、その法の「体系的理解」の扉を少しでも開けてみようというのが目的です。

基本的に教科書に沿って解説します。また、適宜教科書以外の題材を取り上げます。

講義の内容・ 授業スケジュール

ガイダンス (1)、「紛争解決と法」(2~4)、「基本的人権と法」(5~8)、「家族関係と法」(9~11)、  
 「財産関係と法」(12~15)、「労働関係と法」(16~17)、「犯罪と法」(18~22)、「国家と法」(23~  
 24)、「国際関係と法」(25~27)、「現代社会の課題と法」(28~30)

履修上の留意点

・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意し  
 てください。

成績評価の方法

・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。  
 ・試験成績(70%) + 平常点(30%) = 100点。  
 ・90点以上・・・S、80点以上・・・A、70点~80点未満・・・B、60点~70点未満・・・C、60点未満・・・D。  
 ・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。  
 ・平常点は、出席点(50%)と課題点(50%)で構成されます。よって、出席をとります(毎回で  
 はありません)。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしま  
 せん。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。

教科書

西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学(第4版)』(2005年有斐閣)2,200円(ISBN  
 4-641-18316-3)。

その他適宜プリントを配布する場合があります。その場合、開講当初は印刷したプリントを配布  
 いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます(データはPDF形式  
 で配布予定です)。

参考書等

詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。

・森泉 章編著『法学(第4版)』(2006年有斐閣)2,500円(ISBN 4-641-18332-5)  
 ・伊藤真『法学への誘い(第2版)』(2006年有斐閣)2,500円(ISBN 4-641-12510-4)

その他

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実  
 施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に大学配布のものとは異なるシラバスを配布します(取り上げるテーマなどがここで  
 記載されたものと異なる場合があります)。それを熟読の上、履修を決定してください。

履修コード	218501
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	茂野 隆晴

講義のねらい 法を学ぶに当たって、最も肝要なことは、「法」というものがいかなるものであるか、その本質をつかむことにある。

諸君は、いずれ社会の第一線に立って活躍する人達であるから、自分の立場をよく認識して、「在るべき法」の実現のためにも留意し進んでほしい。自己の使命を自覚され、年間の「法学」の内容の理解に取り組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法を学ぶに当たって
2. 法と社会生活
3. 法と他の社会規範
4. 法の種類
5. 6. 7. 法の生成I・II・III
8. 法の目的
9. 法の効力
10. 法と裁判
11. 法の解釈
12. 国家
13. 14. 憲法とその原理I・II
15. 16. 17. 基本的人権の保障I・II・III
18. 統治機構I(権力分立制)
19. 20. 21. 統治機構II・III・IV(国会)
22. 23. 統治機構V・VI(内閣)
24. 25. 統治機構VII・VIII(裁判所)
26. 各論I(民法・商法)
27. 各論II(刑法・社会法)
28. 各論III(行政法)
29. まとめ

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

学期末試験に加えて平常点としての出席状況を勘案して総合的に評価します。  
茂野隆晴編著『プライマリー法学—日本法のシステム—』2008年刊(芦書房)2300円+税  
茂野隆晴・新田浩司・和知恵一ほか代表編集『法学資料集』2008年刊(八千代出版)2000円(予定)

履修コード	218601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)
担当者名	池田 実

講義のねらい 家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついていくかを明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2) (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1) (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2) (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1) (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2) (30) 憲法改正

成績評価の方法  
教科書

出席状況その他の平常点による評価を行います。  
野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院)2,700円+税 ISBN978-4-7823-0424-2

参考書等  
その他

\*教科書は年度のはじめに必ず入手しておくこと。  
授業時に適宜指示します。  
授業日程：7月31日(金)・8月3日(月)～8月7日(金)  
(土・日曜日除く)の1～5時限。

履修コード	344601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕 - フレックスB開講 -
担当者名	<small>ひいどく ひろとく</small> 鶏徳 啓登

**講義のねらい** 人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
  - 法の意義
  - 法発生の背景
  - 法とその近辺の社会規範
  - 法の種別と解釈
  - 法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
  - 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
  - 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
  - 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

**成績評価の方法** 出席状況と試験。

**教科書** 小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

**参考書等** 『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

履修コード	344701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕 - フレックスB開講 -
担当者名	<small>はせがわ ひでよ</small> 長谷川 日出世

**講義のねらい** 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- ①講義に関する全段的説明、②社会秩序と法、③～⑥法概念の本質、⑦～⑩法の成り立ちとその分類、⑪～⑫法の解釈、⑬～⑮日本の裁判制度、⑯憲法とは何か、⑰近代憲法の構成原理、⑱日本の憲法史、⑲～⑳日本国憲法の基本原理、㉑～㉒基本的人権の保障、㉓国会、㉔内閣、㉕司法権、㉖一年間のまとめ

**履修上の留意点** 日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に教科書を必ず読んでおくこと。

**成績評価の方法** 学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。

**教科書** 長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500＋税、ISBN 4-7923-0399-0

履修コード	219001
科目名	経済学〔現代社会と市場経済〕
担当者名	<small>ほななか たかし</small> 畠中 貴

**講義のねらい** 諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

**講義の内容・授業スケジュール** 経済は家計、企業、政府の三種類の主体が行っている経済活動によって成り立っている。前期は家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、そして家計と企業が互いに影響を及ぼし合う場である市場について説明する。後期は市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース（市場の失敗）、政府が行っている経済活動、国内総生産（GDP）、不況と失業、物価の変動、国際貿易について説明する。

**履修上の留意点** 講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するにはそれなりの労力と時間を必要とする。世界一頭のいい人であっても、テキストを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。受講者は、テキストを何度も読み返し、自分が理解できているのがどこまでで、理解できていないのがどの部分なのかを確認するという地道な作業を、一年を通じて行わなければならない。分からない部分については分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

**成績評価の方法** 基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

**教科書** 伊藤元重『入門経済学第2版』日本評論社、3,000円＋税、ISBN4-535-55244-4

履修コード	219101
科目名	経済学〔現代経済と人間〕
担当者名	森田 成也

**講義のねらい** はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識と、その応用編としての日本経済の歩みについて、わかりやすく解説します。

**講義の内容・授業スケジュール** 授業の前半は経済学の基礎理論を、最も単純で目の前に存在する普通の商品からはじめて、世界的に資本展開する多国籍企業にいたるまで、わかりやすくかいつまんで説明します。授業の後半は、以上の基礎理論を踏まえての日本経済の独自の歩みについてです。

<前半>

1、経済学とは何か、2、商品とは何か―商品生産社会と価値法則、3、貨幣とは何か、4、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、5～6、剰余価値生産の3つの形態、7、労賃とは何か、8、資本の蓄積メカニズム、9、利潤と生産価格、10、商業資本、11、利子生み資本と銀行、12、株式会社、13、土地所有と地代、14、競争と独占、15、市民社会と国家、16、外国貿易と多国籍企業と帝国主義

<後半>

17、明治維新から敗戦まで、18、戦後改革と戦後復興、19～20、高度経済成長、21、高度成長の終焉と70年代後半の中成長、22、レーガン革命と80年代前半の日本経済、23、バブル経済とその崩壊、24、平成大不況、25、小泉改革と階層的景気、26、今後の課題と展望

**履修上の留意点  
成績評価の方法**

板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。

夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください

(1) 夏休みのレポート……夏休みのレポートとして、いくつかの課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験……1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

**教科書  
参考書等**

森田成也『資本と剰余価値の理論』2008年刊(作品社)、2300円

松石勝彦『新版現代経済学入門』2002年刊(青木書店)、2625円

履修コード	219201
科目名	経済学〔現代経済理解へのガイド〕
担当者名	松前 龍宜

**講義のねらい** 本講義は、経済学を初めて履修する学生に経済学の基礎を平易に解説するものです。講義では、なるべく数式を使わず、図や具体的な実例を示しながら、直感的に経済学の考え方を理解していただきます。本講義の目的は、学生自らが現実の経済現象を経済学的に解釈する力を身につけていただくことです。

**講義の内容・授業スケジュール**

経済学は、ミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では、この2つの分野をバランスよく、また現実の経済現象あるいは経済政策と絡めながら講義を進めます。前期はマクロ経済学に関するテーマとして、国民所得決定、有効需要と乗数メカニズム(45度線分析)、貨幣の機能、財政政策・金融政策の役割(IS/LMモデル)、開放経済下のモデル(国際金融、IS/LM/BPモデル)について取り上げます。後期はミクロ経済学に関するテーマとして、需要と供給、需要曲線と消費者行動、費用構造と供給行動、市場取引と資源配分、市場の失敗について講義します。

**履修上の留意点**

数学の知識は特に必要としません。自分で手を使ってグラフの意味を考えることを厭わないことが条件です。授業中の私語は厳禁です。

**成績評価の方法**

前期：レポート(レポート課題は前期講義終了時まで指示します)

後期：筆記テスト

**教科書  
参考書等  
その他**

伊藤元重著『入門 経済学 第2版』(日本評論社)、3000円、ISBN4-535-55244-4

適宜指定します。

連絡先 matsumae.t.aa@m.titech.ac.jp

履修コード	219301
科目名	経済学〔現代経済理解へのガイド〕
担当者名	矢野 浩一 <small>やの こういち</small>

講義のねらい	「なぜカップラーメンは値上げしたのか?」「将来、皆さんは年金をもらえるのか?」「バイト代はなぜ安いのか?」「なぜ世界には貧しい国と豊かな国があるのか?」「なぜ食品偽装は相次ぐのか?」本講義の目的は、それらの疑問を需要と供給、インセンティブの原則、情報の非対称性など経済学の原理を用いて解き明かします。本講義終了後には、学生が自分で様々な現象を経済学的に考えることができることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	経済学は、一般的にミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では身近な出来事や経済問題を解説しながら、経済学の原理を勉強します。前期はミクロ経済学に関するテーマ(経済学とは何か、経済学的な考え方、貿易、需要と供給、完全市場と不完全市場、ゲーム理論など)について講義します。後期はマクロ経済学に関するテーマ(GDP統計、完全競争モデル、好況と不況など短期の景気変動、雇用と失業、インフレとデフレ、政府の経済政策、日本の財政赤字問題など)について取り上げます。
履修上の留意点 成績評価の方法	積極的に講義に参加してください。また私語は厳しく禁じます。 前期:レポート(レポート課題は前期講義終了時まで指示します) 後期:筆記テスト
教科書 参考書等 その他	講義の中で適宜指定します。 講義の中で適宜指定します。 連絡先 koiti.yano@gmail.com

履修コード	345001
科目名	経済学〔現代経済と人間〕-フレックスB開講-
担当者名	沼田 郷 <small>ぬまた さとし</small>

講義のねらい	現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。
講義の内容・授業スケジュール	・経済学の歴史(古典派〜新古典派)・地球環境問題・大量消費社会の実態とその起源・世界の経済格差・世界の貿易と投資・東アジア地域の成長と課題・経済成長と諸資源・開発論の検討・多国籍企業とその理論・雇用問題 さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定でいます。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。
履修上の留意点	現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバルイゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日的な問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。
成績評価の方法	学期末試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、レポートの作成を求めます。また、出席カードの提出にかえて、講義終了時に書いていただく講義内容についての小レポートも成績に反映させます。
教科書 参考書等 その他	本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考文献、資料等に関しては講義の中で随時お知らせいたします。 授業方法は講義形式で行います。板書形式での授業を基本としますが、必要に応じてパワーポイントなどを使用します。



履修コード	219701
科目名	科学基礎論
担当者名	熊坂 さつき

**講義のねらい** 診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では科学的発想や医療の取り組み方に関連したビデオ鑑賞や施設見学等を行う。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え  
(4～8) 授業の受け方、レポートの書き方  
(9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方  
(11～15) 科学的な問題解決法

**履修上の留意点** 最初の数回は合同授業がある。

**成績評価の方法** レポートと授業への取り組み方、出席等で評価する。

**教科書** プリント等を配布する

履修コード	219801
科目名	科学基礎論
担当者名	佐藤 昌憲

**講義のねらい** 診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「放射線とは」、「放射線の測定」、「パソコンの活用法」などについて学習する。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え  
(4～8) 授業の受け方、レポートの書き方  
(9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方  
(11～15) 科学的な問題解決法

**成績評価の方法** レポートと授業への取り組み方で評価する。

**教科書** 必要によりプリントを配布する。

履修コード	219901
科目名	科学基礎論
担当者名	近藤 啓介

**講義のねらい** 診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「未知な現象」として過去「超常現象」と思われた現象などを提示して、その現象の科学的な解明を試みる。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え  
(4～8) 授業の受け方、レポートの書き方  
(9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方  
(11～15) 科学的な問題解決法

**履修上の留意点** 積極的に受講すること。

**成績評価の方法** レポートと授業への取り組み方で評価する。

**教科書** 必要によりプリントを配布する。

履修コード	220001
科目名	科学基礎論
担当者名	原田 和正

**講義のねらい** 診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「放射線と放射能」、「分子構造と結晶構造」などについて学習する。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え  
(4～8) 授業の受け方、レポートの書き方  
(9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方  
(11～15) 科学的な問題解決法

**履修上の留意点** 授業に対して積極的に取り組むことを望む。

**成績評価の方法** レポートと授業への取り組み方で評価する。

**教科書** 必要によりプリントを配布する。

**参考書等** 授業の中で指示する。

履修コード	220101
科目名	科学基礎論
担当者名	名古 安伸

講義のねらい	診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意識・姿勢、また学習方法を身につけること、さらには医療人としての人格形成をも目的とした導入教育である。なお、科学的な問題解決法では「放射線と放射能」、「医療被曝」などについて学習する。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え (4～8) 授業の受け方、レポートの書き方 (9～10) 図書館の利用法、文献の調べ方 (11～15) 科学的な問題解決法
履修上の留意点	講義の内容などで分からないことがあれば気楽に質問をして、診療放射線技術学に親しみを持ってようになること。
成績評価の方法	レポートと授業への取り組み方で評価する。
教科書	必要によりプリントを配布する。

履修コード	220111
科目名	科学基礎論
担当者名	奥山 康男

講義のねらい	診療放射線技術科学科で学ぶにあたって必要となる、学習への意欲・姿勢、また学習方法を身につけること、更には医療人としての人格形成をも目的とした導入教育です。取りわけ科学の世界では実験や観察事実 (evidence = エビデンス) を元にして、誰もが納得できる普遍的な真実を追求します。そして、その真実が個々の価値判断に偏らない普遍性を持つからこそ、公の場で事実認定 (合理的根拠) として使えます。科学に「好き、嫌い」の問題が含まれると、科学は合理的な根拠として使えなくなり、学問ではなくなります。特に医学 (医療) においては、治療や検査行為に対する価値判断を下すのは患者や家族ですから、科学的根拠に基づいた納得のいく説明を要望されます。それらの前提として、正しい科学 (エビデンス) が必要となり、そのエビデンスに基づいた医療の成り立ちなどを学びます。
講義の内容・授業スケジュール	1) 診療放射線技師とは？ 大学生、医療人としての心構え・・・①～③ 2) 授業の受け方、レポートの書き方・・・④～⑥ 3) 図書館の利用法、文献の調べ方・・・⑨～⑩ 4) エビデンスによる判断分析医療におけるリスクマネジメント・・・⑪～⑮
履修上の留意点	日頃から、医療に関する記事が掲載されている新聞、雑誌、TV番組に関心を持つことと、インターネットを含めた文献検索にアクセスする習慣をつけておいてください。
成績評価の方法	出席状況、課題報告、学内定期試験により評価。
教科書	必要によりプリントを配布する。

履修コード	227401
科目名	基礎物理学
担当者名	佐藤 昌憲・小川 雅生

講義のねらい	われわれを取り巻く自然環境の中で、いろいろな物体の運動や波動現象、熱現象、および電磁気現象に遭遇する。本講義では、これらの現象が物理学の基礎理論によってどのように理解されるかを学び、日々の生活の中で科学的にものを考える習慣を身につけることに重点をおく。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 物体の運動とエネルギー (速度、加速度、運動量、力、物体の運動、仕事、運動のエネルギー、保存量) (2) 温度と熱 (熱の正体、温度、圧力、物質の集合状態、仕事と熱量、熱の伝導、熱的過程) (3) 波動 (波のいろいろ、波の伝播、音波と光波の性質) (4) 電磁気学 電界 (真空中の静電界、導体系による電界、静電界におけるエネルギーと力) 磁界 (静磁界、電流による磁界、電流に及ぼす作用と電磁誘導) (5) 電磁波 (自由空間における電磁波)
履修上の留意点	この科目は前期での集中授業である。基礎物理学Aでは、力学、波動性および熱力学を、基礎物理学Bでは、電磁気学と電磁波を中心に講義する。知識の単純記憶ではなく理論に基づいた思考過程を身につけてほしい。
成績評価の方法	基礎物理学A・Bの出席数、小テスト、定期試験により評価する。
教科書	基礎物理学B: 『電気基礎上』(東京電機大学)

履修コード	227501
科目名	基礎化学
担当者名	原田 和正

講義のねらい 本講義では「放射化学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール  
 (1～2) 序  
 (3～6) 原子・分子・モル  
 (7～10) 電子配置と周期表  
 (11～15) 化学結合  
 (16) 化学平衡  
 (17～19) 酸・塩基  
 (20～22) 酸化・還元  
 (23) 溶解度と溶解度積  
 (24) 気体の状態方程式  
 (25～27) 反応速度論  
 (28～30) 化学熱力学

成績評価の方法  
 教科書 中間試験、定期試験の結果と平常点で評価する。  
 A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に』（東京化学同人）2,850円  
 A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に－問題と解答－』（東京化学同人）1,700円

履修コード	227601
科目名	情報処理技術
担当者名	近藤 啓介

講義のねらい 情報化社会において、コンピュータによる情報処理技術の習得は大変重要である。医療現場においても情報化が進みコンピュータの操作技術は必要不可欠なものとなっている。この授業では、コンピュータの基本的操作とインターネットの利用方法から、将来の卒業論文を書くにあたって必要な文章作成・編集・数式作成、表計算やグラフ作成が行えるように演習形式で授業を進める。

また、国家試験においてコンピュータやIT関連の問題が出題されるようになってきているので、情報処理関連の基礎知識も合わせて習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール  
 (1) 情報倫理  
 (2) インターネットと電子メールの利用  
 (3～4) 論文・レポートの作成方法  
 (5～8) MS-Word による文書作成・編集・数式作成・図の作成  
 (9～10) 表やグラフの書き方  
 (11～15) MS-Excel による表計算・関数の利用・グラフの作成

履修上の留意点  
 成績評価の方法  
 教科書等 演習形式で行うので、積極的に受講すること。  
 出席状況・演習成績・レポート提出によって評価する。  
 プリントを配布する。  
 授業中に紹介する。

履修コード	227701
科目名	基礎数学
担当者名	野口 勝 <small>のぐち まさる</small>

講義のねらい	本学科の専門科目で必要となる基本的な数学（微分、積分）を学習する。またその際必要となるより基本的な数学知識（三角関数、指数・対数関数等）についても臨機に復習する。
講義の内容・授業スケジュール	技術者にとって数学の基本である微分・積分を、系統的・徹底的に学ぶ。 1. 関数・極限（第1～6回） 変数・関数、極限と $\epsilon$ - $\delta$ 論法、無限小等 2. 微分（第7～12回） 種々の関数の導関数の計算、接線、極値、最大・最小値等 3. 不定積分（第13～18回） 不定積分、置換積分、部分積分、部分分数分解による積分等 4. 定積分（第19～24回） 定積分と不定積分、異常積分・無限積分等 5. 定積分の応用・無限級数（第25～30回） 面積（直角座標、極座標）、曲線の長さ、体積等
履修上の留意点	数学は基礎の積み重ねが重要である。したがって毎回行う演習に真剣に取り組み、今日学んだことは今日習得してしまう、という姿勢で臨むこと。ためておいて後でまとめてやろう、というやり方では身につかないことに注意すること。
成績評価の方法	3～4回の理解度確認テスト、および学習態度の総合点による。
教科書	矢野・石原『科学技術者のための基礎数学』（裳華房）、2700円＋税、ISBN978-4-7853-1035-6
参考書	必要に応じて資料を配付する。
その他	「憶えるのではなく考え方を学ぶ」ということが数学力向上のポイントである。この意識をしっかり持とう！

履修コード	227801
科目名	物理学序論
担当者名	佐藤 昌憲・鳥山 保 <small>さとう まさのり とりやま たもつ</small>

講義のねらい	高校で「物理」を履修していない学生や物理が苦手であった学生を対象とした補習的な科目である。基礎物理学で必要となる物理の基本的な法則や基礎的事項について演習をまじえて理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	1. 力と運動 速度、加速度、運動の法則、エネルギー 2. 波動 波の性質、音波と光波、反射と屈折 3. 電気 電圧と電位、コンデンサ、電流と抵抗、オームの法則 4. 磁気 電流と磁場、電磁誘導、コイル
履修上の留意点	高校で履修しなかった学生を対象としますから、4月と5月の2ヶ月間での集中授業である。物理学序論Aでは、力と波動を、物理学序論Bは、電気と磁気を中心に焦点をしばらく平易に解説する。物理における最低限の知識の修得と苦手意識を克服してほしい。
成績評価の方法	物理学序論A・Bの小テスト、定期試験により評価する。

履修コード	227851
科目名	数学序論
担当者名	近藤 啓介 <small>こんどう けいすけ</small>

講義のねらい	診療放射線技師を目指す医療健康科学部の学生には、数学は必要不可欠のものである。そこで、高校の数学が苦手だった人や数学III・Cの単位を取っていない人に対して、大学の数学に進むための高校の数学の復習をして今後の放射線技師のための授業を容易に理解できるような基礎を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) 指数関数、対数関数、複素数 (4～6) 三角関数（加法定理、和積・積和の公式等） (7～9) 微分（微分係数、導関数の定義） (9～11) 微分（有理関数、合成関数、三角関数、指数関数、対数関数の微分など） (12～15) 積分（不定積分と定積分、部分積分と置換積分、体積と面積）
履修上の留意点	演習を中心に行いますので、積極的に参加すること。
成績評価の方法	小テスト、レポート、授業への取り組み方から評価する。
教科書	石村園子、「大学新入生のための数学入門」、共立出版、2100円、ISBN4-320-01769-2

履修コード	227901
科目名	生命科学
担当者名	清水 善和

**講義のねらい** すべての生物の基本単位となる細胞には、生命の根元物質である遺伝子（DNA）が含まれており、遺伝子の情報に基づいて体が形作られ、また、遺伝子のコントロールのもとにあらゆる生命活動が表現されている。本講義では遺伝子の働きを中心に、現代生物学の主要な分野の基礎的な内容を解説する。

**講義の内容・授業スケジュール** 1章：生体を作る物質（1,2回）、2章：遺伝子（3,4回）、3章：細胞（5回）、4章：発生（6,7回）、5章：神経と脳（8,9回）、6章：免疫（10回）、7章：性と生殖（11,12回）、8章：遺伝（13,14回）、9章：人体（15回）

**成績評価の方法** 出席点と試験の点数を合算して評価する。

**教科書** 講義内容を文章化した「web 版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。

**参考書等その他** 上記「web 版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	228001
科目名	化学序論
担当者名	山本 裕右

**講義のねらい** 高校で「化学」を履修していない学生、履修していてもきちんと理解できていない学生には、1年次の必修科目である「基礎化学」、および2年次の「放射化学」の講義を十分理解できないケースが多く見受けられる。ここでは、高校までの化学の学力が十分身につけていない学生のために、今後必要となる化学の基礎的事項、重要事項について演習をまじえて平易に解説する。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) 物質・元素・単体・化合物, (2) 原子・分子・イオン, (3~6) 電子配置・周期表, (7,8) 物質の量・モル質量, (9) 化学式・化合物の名前, (10,11) 化学反応式と化学量論, (12~15) 濃度の計算

**履修上の留意点** 高校で化学を履修しなかった学生、履修していても学力が不十分だと自覚している学生、そして化学が苦手な学生、嫌いな学生を対象としています。高校までのただひたすら暗記する化学にはありません。不明なこと、理解できないことはどしどし質問してください。理解しようとする努力、知ろうとする意欲をもって臨んでいただければ、きっと新しい化学の世界が開けてくることでしょう。

**成績評価の方法** 平常の小テスト（30%）、定期試験（70%）で評価する。

**教科書** ・ A.Sherman 他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に—』（東京化学同人）2,993円  
・ A.Sherman 他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に— 問題と解答』（東京化学同人）1,785円

**参考書等** ・ 乾 他著、『改訂 化学—物質の構造、性質および反応—』（化学同人）2,520円  
・ P.W.Atkins 他著（千原他訳）『物理化学の基礎』（東京化学同人）3,570円

履修コード	228801
科目名	総合III〔TOEFL (R) の問題で学ぶ知的教養〕
担当者名	<small>しらどり よしひろ</small> 白鳥 義博

講義のねらい	TOEFLは講義や討論などアカデミックな場面での英語運用能力を試すテストであり、出題される英語は、さまざまな学問領域の基礎的な知識を土台としています。この知的で幅広い内容を逆手にとって、学生あるいは社会人として必要な知的教養をTOEFLの問題から学んでみようというのが、本授業のコンセプトです。テキストにはリスニングとリーディングに特化したTOEFL対策用教材を使用します。授業では、知のプラットフォームを固める上で必須なトピックをこの教材からいくつか選び出し、必要に応じてプリントなども使いながら、学習を進めます。(本年度扱う予定のトピックは次のとおり：PTSD (心の傷)、ビジネスの新しい倫理性 (sustainability)、動物園と動物の権利の問題、燃料電池とエネルギーの基礎概念、など)
講義の内容・授業スケジュール	前期 (1) ガイダンス、(2)～(13) 4～5回の授業でひとつのレッスンをカバーして進めてゆく。(14) まとめ (15) 期末テスト 後期 前期と同じ
履修上の留意点	語学と教養とキャリア教育をミックスさせた授業であり、知的好奇心の旺盛で意欲的な学生の履修を望みます (発表やレポート、小テストなどを頻繁に科す予定)。TOEFLテストを受けたことのない学生、受験予定のない学生の履修も大歓迎です。逆に、TOEFLの直前対策や解法テクニックの演習を専門的に行う授業ではないので、注意してください。
成績評価の方法	出席、受講態度、課題へのとりくみ、テストの成績などから総合的に評価する。
教科書	『戦略的トータル®テスト対策演習』(南雲堂、2008年)
参考書等	授業中に随時指示する。

履修コード	228901
科目名	総合III〔小説と映画で読み解く現代中国〕
担当者名	<small>しおはた しんいちろう</small> 塩旗 伸一郎

講義のねらい	今日、日本人の生活と生存に欠かせない存在でありながら、理解を超えた縁遠い国でもある中国。そのミステリアスな隣人を理解できる日本人が多くなることが、結局は日本と世界の平和と繁栄の礎となる。本講で採りあげる短編小説と映画は、必ずしもミステリー作品というわけではなく、中国というミステリーを読み解くための素材である。その意味で本講は文学論、映画論である前に、中国論である。
講義の内容・授業スケジュール	解題(1～2)、「暗香」と韓少功(3～5)、映画(6～8)、「太白山記」と賈平凹(9～11)、映画(12～14)、遲子建「霧の月」(15～16)、映画(17～19)、韓東「部屋と風景」(20～21)、映画(22～24)、魏微「鄭さんの女」(25～26)、映画(27～28) 映画の表題は、映像を確保できる保証がないため、未定。
履修上の留意点	中国語学習歴がなくても履修できる。
成績評価の方法	平常点 (作品ごとに感想文を提出、レポートに代える)
教科書	釜屋修 監修『同時代の中国文学—ミステリー・イン・チャイナ』(東方書店) 1600円+税

履修コード	229001
科目名	総合IV〔現代アメリカ事情〕
担当者名	<small>はやし あきと</small> 林 明人

**講義のねらい** 現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

1	世界史の中のアメリカ（1）	16	Brady bill（1）
2	世界史の中のアメリカ（2）	17	Brady bill（2）
3	世界史の中のアメリカ（3）	18	Brady bill（3）
4	世界史の中のアメリカ（4）	19	official English law（1）
5	世界史の中のアメリカ（5）	20	official English law（2）
6	世界史の中のアメリカ（6）	21	official English law（3）
7	世界史の中のアメリカ小テスト	22	euthanasia（1）
8	abortion（1）	23	euthanasia（2）
9	abortion（2）	24	euthanasia（3）
10	abortion（3）	25	hate crime（1）
11	affirmative action（1）	26	hate crime（2）
12	affirmative action（2）	27	hate crime（3）
13	affirmative action（3）	28	multiculturalism（1）
14	political correctness	29	multiculturalism（2）
15	前期試験	30	後期試験

**履修上の留意点  
成績評価の方法**

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

①試験（40％）②レポート（30％）③出席（30％）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数 $\frac{3}{10}$ 以下 $\frac{2}{10}$ の場合は評価の対象にしない。

**教 科 書**

プリントを配布します。

履修コード	229101
科目名	総合IV〔新市民社会論〕
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義のねらい 前期はJICA(国際協力機構)と協力して市民社会と国際協力に関して考える。後期は本学で現在JICA草の根協力プロジェクトとして進行しているバイオトイレプロジェクトを中心に、環境、マイノリティ、被差別問題などを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：

1. 市民社会とNGO、NPO
2. グローバル化現象と国際協力
3. 日本の国際協力と市民社会：JICAスタッフ講義
4. 国際協力の現状と日本：まとめ（1）
5. JICAスタッフ講義：海外協力隊の一員として
6. 草の根協力和開発途上国：まとめ（2）
7. JICAスタッフ講義：グローバル化と国際協力の実情
8. 草の根協力和開発途上国：まとめ（3）
9. 途上国社会と市民セクター：NGOの役割（1）インド
10. 途上国社会と市民セクター：NGOの役割（2）インド
11. 途上国社会とマイノリティ（1）インドの場合
12. 途上国社会とマイノリティ（2）インドの場合
13. 前期まとめと国際協力とその課題：草の根支援のレベルから

後期：

1. インド社会の基礎知識
2. クラスとカースト：政治と宗教
3. ジェンダー、宗教、マイノリティ集団
4. インドの市民社会とNGO
5. インド地縁組織とコミュニティ開発
6. 被差別カーストとコミュニティ開発
7. 行政とNPO,NGO：公衆衛生の実情
8. 公衆衛生とバイオトイレ：グローバルな環境問題の観点から
9. 公衆衛生と途上国：グローバルな観点から
10. バイオトイレとリーダーシップトレーニングプロジェクト（1）
11. 同上（2）
12. マイノリティ・被差別・コミュニティ開発を考える
13. まとめと課題

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなうので学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

出席（25%）、毎回の小レポート内容（30%）、前期、後期それぞれのレポート（45%）。試験はない。

教科書  
参考書等

教場で指定する。  
JICAに関しては <http://www.jica.go.jp/>  
南インドにおけるバイオトイレ事業、  
エコサントイレについては以下をみしておく。<http://www.b1b2.org/EcoSan/index.htm>,  
<http://jp.youtube.com/watch?v=gPummZRR2Cg>, <http://jp.youtube.com/watch?v=6x-PqyF9CVRE>, <http://www.indiawaterportal.org/blog/category/ecosan/>

その他

希望者は現在南インドで実施中の海外協力プロジェクトにボランティアとして参加できる。（例年2月下旬実施）



履修コード	229201
科目名	総合Ⅳ〔ポスト・モダンの世界〕
担当者名	丸小 <sup>まるこ</sup> 哲雄 <sup>てつお</sup>

講義のねらい 急速な科学の発達による携帯電話とインターネットによる個別化への誘導、学問の細分化による「断絶の経験」が起こり、現在さまざまな個別化された経験が<つなぎ>の必要とする必然性を見出せるかどうかが問われています。

建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などさまざまな分野が、それぞれが別途に関連なく居座って、個別化され、核化され、特化されて、さまざまな意味を込めて解釈されてきています。核家族、コミュニティからの断絶、オタク族の跋扈、いじめや孤立化の経験、被害者と加害者の両義性、しかも過剰な人権が叫ばれ、現代人は「断絶の経験」の悲劇性を、意識的にしろそうでないにしろ、味わっています。このようなコンテクストで現代のグローバリズムが吹聴されていった経緯があります。

そこで本講義の狙いは、1914年から1995年までの歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）し、近代化（モダンイゼーション）における合理性に対する啓蒙思想批判と、その近代化批判に対する主体的な批判能力（主体性の確立）を育むことで現代文明の本質を捉え直すことを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 総合Ⅳの性格と意義：総合教育と専門との連動性（1～2）
  - 2) 現代という時代状況の捉え方（3）
  - 3) 「プレモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題及び言語の恣意性（ソシユールの言語観など）（4～5）
  - 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷（6～9）
  - 5) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変化：建築・映画・広告・世界万博の変遷・エロスの変遷・ファッション・モードなどのジャンルに見られる思想の変遷（10～15）
  - 6) 理性批判の整理：思想史の観点（ポストモダン）からモダン批判（後期）
    - ①プレモダン・モダンという近代史（16～18）
    - ②モダン思想的批判の源泉（19～21）
    - ③合理性と非合理性理の問題（22～23）
    - ④外部の力と内部の力（24～25）
  - 7) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題（26～29）
  - 8) レビュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判（30）
- 授業以外に文庫本・新書版を読み込んでいく読書課題があります。  
授業での質疑応答による発表と出席率、前期と後期の読書課題、学年末に提出するターム・ペーパー（レポート課題）
- 教科書
- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法・提出日・提出場所も指示）
  - ・多くのプリントを配布しますので、ファイル用具を用意すること

総合分野

履修上の留意点  
成績評価の方法

教科書

### 3. 外国語科目



履修コード	240101
科目名	英語IA
担当者名	田中 保

**講義のねらい** 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力の向上をめざす。リスニング、発音、日常英会話表現等、総合的に力がつくようにする。

**講義の内容・授業スケジュール** [1] Greetings ~ Asking Questions(1 ~ 6), Requests ~ Appointments(7 ~ 14)  
⑮ Examination [2] Apologies ~ Permissions(1 ~ 7), Invitations ~ Disagreement(8 ~ 14),  
⑮ Examination

**履修上の留意点** 授業はテキストにそって進めるが、予習を前提とした発表形式によって行います。必ず単語の意味をしらべ、予習して授業に臨むこと。

**成績評価の方法** 授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、授業態度、出席状況等総合的に検討して評価します。

**教科書** (1) 田中保他編著 Focus on Communication(1)-Through Sentence Patterns- (『基本文型からコミュニケーションへ』朝日出版社 1,400円)  
ISBN 978-4-255-15442-8  
(2) 田中保他編著 Focus on Communication(2)-Through Pronunciation- (『音の理解からコミュニケーションへ』朝日出版社 1,400円)  
ISBN 978-4-255-15443-5

履修コード	240201
科目名	英語IA
担当者名	白鳥 義博

**講義のねらい** 日常生活での実践的なコミュニケーションに役立つ英語の表現を習得する目的の、集中的な訓練を行う。空所補充の練習からはじめて、文法項目と必須語彙の確認を経て、最後にはさまざまな表現を暗記する段階まで、段階的に学習を進めてゆく。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期：(1) ガイダンス(2~14) 毎回ひとつのチャプターを進める。3つのチャプター終了ごとに、小テストをおこない、習得知識の定着を図る。(15) 前期末試験、後期：(15~28) 前期と同様に進める(29) 総復習(30) 後期末試験 \*その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。

**履修上の留意点** 暗記の課題や小テストが頻繁に課されると思うが、どうか意欲的に取り組んでほしい。

**成績評価の方法** 課題へのとりくみ、受講態度、出席状況、テストの結果などから総合的に評価する。

**教科書** 『日常英語ライティング入門』(成美堂、2007年) ¥1,800

履修コード	246801
科目名	英語IB
担当者名	田中 保

**講義のねらい** 入学時の英語力を基礎として、より高度な英文の構文を理解し、また、文章の大意を把握する力をつける。

**講義の内容・授業スケジュール** [1] School ID Tags Anger Parents ~ Hero Hackers or Common Criminal ? (1~ 5), Women-only Train Cars a Hit ... Sort of ~ Horror Flicks Both Scare and Soothe(6 ~ 9), A Whale of a Cooking Class ~ Parents Go on Strike to Teach Kids a Lesson(10 ~ 14), Examination(15)[2] Keeping Dementia at Bay ~ The Power of Names(1 ~ 9), Only in America : 5 Short Stories ~ What the World Needs Now, Part II(10~ 14), Examination(15)

**履修上の留意点** 授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行います。必ず予習をして授業に臨むこと。

**成績評価の方法** 授業時の発表、前期・後期の試験・プレゼンテーション、授業態度、出席状況等を総合的に検討して評価します。

**教科書** Richard Best annotated by Tamotsu Tanaka/Noboru Fukushima  
『世界事情拝見』(The World at a Glance) 南雲堂、1575円  
ISBN 17525-X B-525 510904

履修コード	246901
科目名	英語I B
担当者名	白鳥 義博

講義のねらい さまざまな時事的トピックを扱った英文を多読することで、速読の力と語彙力を高める訓練をする。あわせて、TOEFLテスト形式によるリスニングの練習もおこなう。

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス (2~14) 毎回ひとつの Unit を進める (15) 前期末試験、後期：(15~28) テキストを進める (29) 総復習 (30) 後期末試験 \*その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。

履修上の留意点 英文を早く、多く読む(聴く)練習をするので、最初のうちはつらいかもしれないが、どうかあきらめないうちで取り組んでみてほしい。

成績評価の方法 課題へのとりくみ、受講態度の真面目さ、テストの結果、出席状況などから総合的に評価する。

教科書 『メディアで学ぶ日本と世界2009/2010』(成美堂、2009年) ¥1,900

履修コード	254501
科目名	英語II A
担当者名	安齊 薫

講義のねらい Writing 能力の向上とともに、さらに使える習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 第1回 Introduction その後は2回で1章ずつ進めていく。

履修上の留意点 予習をしていくこと。

成績評価の方法 出席状況(2/3以上の出席が原則)、前後期試験、レポートで評価する。

教科書 Sustainable Life and Economics (南雲堂) ¥1900+税 ISBN978-4-523-17573-5

履修コード	254601
科目名	英語II A
担当者名	高橋 佳江

講義のねらい 文法を理解しながら、最終的にはある程度高度な内容の会話が理解できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール ①ガイダンス ②~⑭毎回1課ずつ進む ⑮試験  
テキストを最初は細かく、だんだん速く理解、実践できるようにする。

履修上の留意点 授業時の発言点をポイントとしていくため、出席しているだけでなく、発言することが必要になってくる。そのため予習を必ずしていくこと。

成績評価の方法 出席が授業回数の2/3以上で(遅刻3回で欠席1回とする)、発言点、前期、後期の試験(60点以上)の者を合格とする。

教科書 教科書は初回の授業時に指示する。

履修コード	291501
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	大瀨 利春 <small>おおふち としはる</small>
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	英作文能力の向上を目指す。 具体的には、以下のペースでテキストを読み進めていく。Unit1 (1～3)、Unit2 (4～5)、Unit3 (6～7)、Unit4 (8～9)、Unit5 (10～11)、Unit6 (12～13)、Unit7 (14～15)、Unit8 (16～17)、Unit9 (18～19)、Unit10 (20～21)、Unit11 (22～23)、Unit12 (24～25)、Unit13 (26～27)、Unit14 (28～30)
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書	予習をしてくること。辞書をもってくること。 前後期試験50%、日常点(出席率、授業参加度等)50%で評価する。 Keiichiro Fukui『基礎からはじめる英作文』成美堂 1900円 ISBN978-4-7919-1087-8

履修コード	291601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点	英語を使って自分の考えを表現するための基本的な練習をめざす。 毎回の授業では、正確な発音と英作文の練習を行なう。毎回十名前後の学生がこの練習を行なう。 辞書は毎回かならず持ってくること。 遅刻は成績評価に関係してくるので注意すること。
成績評価の方法	出席、発表、レポートの三つで成績評価を行う。遅刻すると発表の機会が失われるので注意すること。 授業中の発表を非常に重視するので、毎回の授業に何よりも集中することが評価につながる。
教科書	毎回、プリントを配布する。

外国語

履修コード	291701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	伊藤 美代子 <small>いとう みよこ</small>
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点	文法を中心に、学生の Reading, Writing, Listening, Speaking の四つのスキルを総合的に延ばすことを目的とする。できるだけすべての学生が毎回英語を口にし、エクササイズに参加するよう留意する。 原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。 予習が絶対条件である。半期に、4回以上欠席したのものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。
教科書	「コミュニケーションのためのベーシック・グラマー」山本厚子他(成美堂、¥1,900)

履修コード	291801
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	岩井 洋美 <small>いづみ ひろみ</small>
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点	自分のことや身近なことを話したり書いたりできるようにする。 テキストに沿って毎週1課ずつ進めていきます。あいさつから旅行、会社内の会話など日常やビジネスで用いる語句表現を学びながら最低限必要な文法を確認していきます。 欠席遅刻の多い学生や授業参加を好まない学生は単位を得ることができません。就職活動で欠席する学生もその度に必ず連絡のこと。
成績評価の方法 教科書	出席授業態度 前期・後期試験 クラス内小テスト スピーキングテスト 津村修志他 GOOD JOB 金星堂 1950円+税

履修コード	291901
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>いらいぬま よしなが</small> 飯沼 好永

講義のねらい 日本語と英語の文章構造の違いを重視しながら、日常生活の様々な事柄を一つの短文から次第に複数の短文で表現できるようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な英語の文法を踏まえ、日本語と英語の基本的な仕組みの違いを理解しながら、英作文の練習を行っていきます。テキストの各 Unit とプリントを2週単位で進みます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。

成績評価の方法 成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書 登美博之／Gordon Bateson 編著 English Writing Using Everyday Expressions  
朝日出版社 1785円 ISBN 978-4-255-15456-5

履修コード	292001
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>まらだ しげお</small> 町田 成男

講義のねらい 英語による意思伝達：入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 1. テキストと英語の話し、2. Lesson1、3. Lesson2、4. Lesson3、5. Lesson4、6. Lesson5、7. Lesson6、8. Lesson7、9. Lesson8、10. Lesson9、11. Lesson10、12. Lesson11、13. Lesson12、14. Lesson13、15. 試験  
16. Lesson14、17. Lesson15、18. Lesson16、19. Lesson17、20. Lesson18、21. Lesson19、22. Lesson20、23. Lesson21、24. Lesson22、25. Lesson23、26. Lesson24、27. Lesson25、28. Lesson26、29. Lesson27、30. 試験

履修上の留意点 辞書を持参すること。

成績評価の方法 出席・発表・試験の総合評価

教科書 未定

履修コード	292301
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>とのおけい かずこ</small> 外池 一子

講義のねらい 高校までに学習した英語の知識を復習しながら、現在の世界が直面する問題などに関する英文をたくさん読み、構文を理解する力や語彙力をつけていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って、毎週1課を終わるようにします。

履修上の留意点 また、関連する英字新聞の記事なども、適宜取り上げていきます。

成績評価の方法 必ず予習をして出席すること。予習をしていない場合は出席とは認めません。

教科書 CALL教室を使用する場合がありますから、最初の授業でユーザーIDとパスワードを使えるようにしておくこと。

その他 平常点30%、春・秋学期の期末試験70%。(授業内に小テストを行う場合は、期末試験の成績に加味します。)なお、出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

開講時に指示します。

日頃から新聞を読んだり、ニュースを聞いたりして、日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、考える習慣を身につけて下さい。

履修コード	292601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	太田 由紀子

**講義のねらい** 語彙や構文に対する理解を深め、自らの英語表現力を高めてゆく。言語を通し、英国から米国へ移民した男の自伝を通し、映画を通して、英語圏の文化に親しんで貰いたい。

**講義の内容・授業スケジュール** アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞しつつ、その粗筋や関連する自伝（音声テープ付）の一部を読む。聴く、読むの作業を通して、自らこれを再現する能力を身につけたい。前期は「偽牧師」、「黄金狂時代」など、後期は「独裁者」、「殺人狂時代」、「ライムライト」などを鑑賞する。

**履修上の留意点** 毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

**成績評価の方法** 授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

**教科書** 未定

**参考書等** 安井弁『英文法総覧』（開拓社）江川泰一郎『英文法解説』（金子書房） Charles Chaplin 著 My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction) チャールズ・チャップリン『チャップリン自伝』中野好夫訳（新潮文庫 上・下巻に分冊。下巻は絶版）

履修コード	292701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	手島 敬子

**講義のねらい** 本授業は、正しい英語力を身につける上で不可欠な基本的な英文法の確認を行いながら、実際の生活の中で活用できる自然で正確な「ライティング」力の習得を図ります。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期  
第1回 ガイダンス  
第2回以降 Unit1～Unit10 まで毎回1課ずつ進めて行く予定です。  
前期授業最終日 前期試験  
後期  
第1回 前期試験答案返却  
第2回以降 Unit11～Unit20 まで毎回1課ずつ進めて行く予定です。  
後期授業最終日 後期試験

**履修上の留意点** 原則として2/3以上授業に出席すること。  
遅刻しないこと。(原則として30分以上の遅刻は欠席扱い)  
課題は必ず期限を守って提出すること。  
辞書は必ず持参すること。

**成績評価の方法** 前期試験、後期試験、課題、出席状況、授業への参加度等に基づき総合的に評価します。

**教科書** 村田和代 太谷麻美『基本文法からはじめる発音型英作文 改訂新版』 マクミラン ランゲージハウス ¥1,890

**その他** 授業、成績等に関する質問、相談は遠慮なく早めに。  
まずは授業に出席しましょう！

履修コード	293201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	三芳 康義

**講義のねらい** TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期は基本的な英文をじっくり読みながら、そこに出てくる文法や語法を確認する。後期はさらにペースを上げながら、英語の速読・多読と共に、多種多様な英文の講読に重点を置いて授業を進める。

**履修上の留意点** 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書は必ず持参のこと。

**成績評価の方法** 授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

**教科書** Mary Lee Wholey著、Eden Brough編著、New Reading Matters 2、出版社センゲージ ラーニング ISBN9784863120488、定価1890円



履修コード	293401
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	安齋 薫

講義のねらい Reading, Listening 能力向上とともに、バランスよく英語運用能力を習得する。  
 講義の内容・授業スケジュール 第1回 Introduction  
 その後は2回で1章ずつ進めていく。  
 履修上の留意点 予習をしていくこと。  
 成績評価の方法 出席状況(2/3以上の出席が原則)前後期試験、レポートで評価  
 教科書 English with Hit Songs (成美堂) ¥1700+税 ISBN4-7919-4581-6

履修コード	293601
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	濱口 真木

講義のねらい 英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。  
 講義の内容・授業スケジュール 文化、社会、政治、経済、教育等の分野のニュースを取り上げてテキストを読みすすめる。Blog-ging Granny ~ Cat lovers, Unite! (1~14)、Practice Makes Perfect! ~ Food Mileage (15~30)。  
 成績評価の方法 出席や発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。  
 教科書 Insights 2009 (金星堂) 1900円 ISBN978-4-7647-3872-0

履修コード	293901
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	白鳥 義博

講義のねらい せっかくの再履修なので、将来になにか実践的に役立つ勉強をして見ませんか?この講座では、TOEICテスト対策用の問題集を使って、高校までに学習した英語力(読解、文法、聴き取り)を高めるさまざまな練習を行います。TOEICは現代社会のさまざまな分野で求められる英語力をテストするハードな試験ですが、明確な目的意識をもち、発想の転換の転換を図れば、決して恐れるには値しません。  
 講義の内容・授業スケジュール 前期:(1)ガイダンス(2~14)ひとつのUnitに2・3回かけてテキストを進める(15)前期末試験、後期:(15~28)テキストを進める(29)総復習(30)後期末試験 \*その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。  
 履修上の留意点 テキストの問題をスピーディーに進めますので、慣れない最初のうちは大変かもしれません。しかし、そこをなんとか乗り越えてほしいです。実戦的な授業内容になりますので、やる気のない学生に対しては厳しい態度でのぞみます。ご注意ください。  
 成績評価の方法 平常点と出席状況、および授業内の試験の結果などから総合的に評価する。受講態度(課題へのとりくみの熱意)と出席状況を特に重く見るとり。  
 教科書 『ステップ式TOEICテスト総合演習』(南雲堂、2009年) ¥1,900+税

履修コード	294001
科目名	英語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	川崎 笑佳

講義のねらい 入学時の読解能力を基礎として、listening と speed reading の上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にテキスト中心に行う予定であるが、学生の希望や必要に応じて他の教材を使用することも考慮に入れている。  
 講義の内容・授業スケジュール (1)プリント使用の授業(2)~(3) Arts & Amusement(4)~(5) Lunch & parties(6)~(7) Medicine & Health(8)~(9) Traffic & Travel(10)~(11) Ordering & Shipping(12)~(13) Factories & Production(14)プリント使用の授業(15)試験(16)プリント使用の授業(17)~(18) Research & Development(19)~(20) Computers & Technology(21)~(22) Employment & Promotions(23)~(24) Advertisements & Personnel(25)~(26) Telephone & Messages(27)~(28) Banking & Finance(29)プリント使用の授業(30)試験  
 履修上の留意点 学生全員が予習していることを前提として授業を進める。  
 成績評価の方法 3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、前期、後期末の試験結果をもとに総合的に評価する。  
 教科書 大須賀直子 塚野壽一 山本厚子 Robert VanBenthuyzen 『Essential Approach for the TOEIC Test TOEIC テストへのニューアプローチ』(成美堂) 2100円

履修コード	294101
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	岩原 康夫

講義のねらい 読解を通して英語特有の論理的な思考と表現を学ぶ。  
 講義の内容・授業スケジュール パラグラフを構成する論理性や表現を学び、文脈の中での読解力を養う。前期はテキストの1～3章(2～7)と4～7章(8～15)、後期は8～11章(1～9)と12～15章(10～15)の予定で授業を進める。  
 履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。なおこのクラスは再履修であるので、必要な場合には個々の学生に対応した指導を行う。  
 成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。  
 教科書 Edward Hoffman, Words of Wisdom for a Successful Life (朝日出版) 1700円 ISBN978-4-255-15467-1 C1082

履修コード	294201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	近藤 真彰

講義のねらい 英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。  
 講義の内容・授業スケジュール 【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。第14,15週：復習  
 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それについての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習  
 履修上の留意点 授業には必ず辞書を持参してください。  
 成績評価の方法 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。  
 教科書 ハンドアウトを配布します。

履修コード	294211
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	江田 幸子

講義のねらい I (B)の再履修であるこのクラスは、高校終了時までの基礎がしっかりと修得されていないことが考えられます。英文を読解するための基礎を再度確認・学習して、読解の基礎力をつけることがこのクラスの目標です。  
 講義の内容・授業スケジュール より高度な英文を読むためには、基礎がしっかりと修得されていることが必須条件です。このクラスでは、まず、平易な名文で書かれた比較的短い英文を、余裕を持って楽しく読み、英語の基礎的な文法や表現方法を再学習します。易な英語で書かれていれば、基礎的な構文も理解・修得し易いはず。易しい英語を繰り返すことで英語表現に馴染むようにします。  
 授業の進め方は次のプロセスに従って行います。：(1)語彙の確認(2)読解：音読と内容理解(3)必要な文法事項の再学習(4)聴解：読解した本文を、音声から理解する。このクラスでは、音読をしっかりと行います。声にだして発音することで、構文の理解がより効率的に促され、言葉も記憶に残りやすくなります。  
 履修上の留意点 学習する態勢を整えて(テキストや辞書、ノートなどを持参)授業に臨んで下さい。英語は繰り返し学習することで修得される学科ですので、基礎を固めるためには、休まず授業を受けることが大切です。出席を重要視するクラスになりますが、出席は学習することが前提なので、出席さえすればいい、と言う考えは捨てて下さい。  
 成績評価の方法 前期・後期に定期的に行う筆記試験、クラス内で適宜行う小テストなどの素点評価で平均点60点以上が及第点。平常点を筆記試験と同じ比率で評価します。平常点とは、授業中の発表、努力する姿勢、熱心度など。特に、このクラスは出席率を重要視しますが、出席率を点数としては出しません。出席率が学習意欲と結びついている場合のみ、素点評価とは無関係に平常評価の対象になります。  
 教科書 未定

履修コード	294601
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	太田 美智子

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。  
英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。  
1章につき2回で進めてゆく予定であるが、それには予習が欠かせない。  
必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持とう。積極的な授業参加を高く評価する。欠席は年間授業回数<sup>の</sup>3分の1まで。  
平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。  
角山照彦著 Power of Love センゲージラーニング 2100円 ISBN978-4-86312-034-1

履修コード	295001
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	塙 美智子

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

より高度な英語の運用能力を身につける。自分の考えを表現するために必要な英語力を読みを通して文章表現、会話表現へとステップアップする。  
テキストを中心に英語力を高めることを目標に様々な話題や出来事について関心を抱き、それらに対する意見を英語で表現する術を学んでいく。  
出席は大切なので重視します。日ごろの学習が欠かせないのでホームワークも大切になります。出席重視。レポート提出、小テスト、授業態度、定期試験の総合点で評価します。  
'What Should We Think About?' - Reading & Writing  
「表現力を磨くためのリーディング&英作文」  
その都度、黒板に板書します。  
欠席はなるべく避けましょう。

履修コード	295101
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	小泉 和弘

講義の内容・授業スケジュール  
成績評価の方法  
教科書

(1) ガイダンス (2-3) Chapter 1 (4-5) Chapter 2 (6-7) Chapter 3 (8-9) Chapter 4 (10-11) Chapter 5 (12-13) Chapter 6 (14) ビデオ (15) 試験 (16-17) Chapter 7 (18-19) Chapter 8 (20-21) Chapter 9 (22-23) Chapter 10 (24-25) Chapter 11 (26-27) Chapter 12 (28-29) ビデオ (30) 試験  
試験50% 出席率および授業態度50%  
Life and Health ー生活と健康ー (鳳書房)

履修コード	295301
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

IAを基礎としてさらに高度な英語運用能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。  
具体的には、テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習した後で、エッセイライティングをおこなってもらいます。また、口語表現の学習のため、TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。  
(1)オリエンテーション (2~15) Unit1~6 (15~30) Unit7~13  
毎時間必ず辞書を持ってくること。  
出席点、発表点50%、授業中のレポート50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。  
石谷由美子/エマ・アンドルース『Skills for Better Writing (Revised Edition) ー構造で書く英文エッセイ(改訂版)』 南雲堂 ¥1995 ISBN978-4-523-17604-6

履修コード	295401
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

**講義のねらい** IAを基礎とし、より高度な英語（Writing/Speaking）の運用能力を身につける。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

**講義の内容・授業スケジュール** (1)小テスト、(2～6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8～12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14～18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20～24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26～30)文法のまとめと自由英作文。

**履修上の留意点** 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。  
出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。

**成績評価の方法** 年2回の定期試験（50％）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

**教科書** 『スヌーピーと覚える日常表現』（朝日出版社）1,700円＋税

履修コード	295501
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	梅原 敏弘

**講義のねらい** 英語を読み・書き・話すために必要な実践的な英文法の知識の習得を目指します。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書に基づいて、英語の理解・運用に不可欠な文法項目を勉強します。教科書は練習問題が豊富で、一年間の授業でその全てをこなすことは難しいので、重要と思われる文法項目を取捨選択して取り上げ、学習していくことにします。この教科書は日本人英語学習者を特に念頭において書かれたものではありませんので、日本人学習者が苦手とする文法項目や犯しやすい過ちには特に留意しながら、授業を進めていく予定です。取り上げる文法項目は開講時に指示します。

**履修上の留意点** 練習問題はアットランダムにあてますので、全員しっかり予習してきてください。

**成績評価の方法** 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。

**教科書** Raymond Murphy, *Grammar in Use(Intermediate), second edition*, (Cambridge)

**参考書等** 江川泰一郎「英文法解説」（金子書房）  
正保富三「英語の冠詞がわかる本」（研究社出版）

履修コード	295601
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	笹倉 貞夫

**講義のねらい** 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～5) AMAZING ANIMALS, (6～10) YOUR AMAZING BODY, (11～14) OUR AMAZING UNIVERSE, (15) テスト, (16～20) AMAZING FIRSTS, (21～25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS, (26～29) AMAZING ODDS & ENDS, (30) テスト

**履修上の留意点** 予習・復習重視、辞書持参。

**成績評価の方法** 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

**教科書** M. Vogel 『珍しい事実・記録のビッグブック』（太陽社）¥1,400

履修コード	289601
科目名	ドイツ語IA (選)
担当者名	武田 利勝 <small>たけだ としかつ</small>

講義のねらい 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身に付けてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3) 発音の練習 (4～6) 動詞の変化、その1 (7～10) 名詞の格変化のいろいろ (11～15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16～20) 動詞の変化、その2 (20～23) 接続詞、受動文、否定詞など (24～26) 形容詞、序数 (27～28) 関係代名詞と関係文 (29～30) 非現実話法、まとめ

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること！ とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しあいましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書 未定

外国語

履修コード	290201
科目名	ドイツ語IB (選)
担当者名	井村 行子 <small>いむら ゆきこ</small>

講義のねらい ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。教科書に沿って進めます。少なくとも4課までは終わらせる予定です。

講義の内容・授業スケジュール

成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書 『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	264201・264301・264601
科目名	英会話I
担当者名	セイジ, K

講義のねらい Those students who are interested in English conversation - but a little underconfident - should take this course. The course aims to build your interest and confidence in English conversation for the real world.

講義の内容・授業スケジュール In lessons there will be mainly pair work and some small group work. Each class we will look at different English functions, then you will practice them. The functions will build to reflect a life-like situation of the real world. About 5 situations will be done.

履修上の留意点 Please come to class willing to try to participate at your best.

- 成績評価の方法
1. Class activities
  2. Pair performances × 5 (about)
  3. Attendance and attitude
  4. YeStudy work and use

教科書等 There is no textbook. You will need to keep the printouts and YeStudy will be used. A dictionary, preferably an electronic one.

履修コード	264401・264501・264801・265321
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・授業スケジュール First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your acting skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN!

There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.

履修上の留意点

Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!

Attendance: 50%  
 Tests: 25% (one test each semester)  
 Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

The first class is VERY important, so please do not be absent!

I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun!

SEE YOU IN CLASS SOON!

外国語

履修コード	264701・265001・265311
科目名	英会話I
担当者名	ミックエリゴット, J. P.

講義のねらい

This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, to be able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

履修上の留意点

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.

成績評価の方法

Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.

教科書

GPA方式

Dale Fuller & Clyde Grimm 著 "New Airwaves Developing Better Listening Skills"  
Macmillan Language House \2,100

参考書等

Bilingual dictionary

履修コード	264901
科目名	英会話I
担当者名	レーン, C.M.

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・  
授業スケジュール

During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy then they might find this class difficult.

成績評価の方法

(ア) Attendance 20 %  
(イ) Participation during class 50 %  
(ウ) Individual presentation 10 %  
(エ) Group presentation 20%

教科書

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

A good dictionary  
A file to keep work sheets together-A4 size

履修コード	265101・265301
科目名	英会話I
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about skills and abilities.
- 3) Exchanging personal information politely.
- 4) Time and date.
- 5) Daily routines.
- 6) How often? Adverbs of frequency.
- 7) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 8) MOVIE #1 viewing and discussion of a movie's content.
- 9) Talking about likes and dislikes.
- 10) Where does it go? Prepositions of location.
- 11) Giving directions.
- 12) Favorite holidays and places.
- 13) Comparative adjectives and superlatives.
- 14) Review and practice exercises
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of the previous term's class topics and test questions.
- 17) Describing people.
- 18) Best friends.
- 19) Talking about family.
- 20) Favorite movies and actors/actresses.
- 21) MOVIE #2 viewing and discussion of a movie's content.
- 22) About tomorrow. Questions and answers about the future.
- 23) About yesterday. Talking about the past.
- 24) Do you remember when ... ? Conversation game.
- 25) In a restaurant. Food ordering role-plays.
- 26) What do you think of ... ? How to give and listen to opinions.
- 27) Looking ahead. Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点 Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法 Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書 Fifty-fifty Book 1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5  
Published by Longman  
Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.



履修コード	265201
科目名	英会話I
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい This course enables students to use better conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as to improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容・授業スケジュール [1] Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted student presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams will draw from selected textbook activities.

履修上の留意点 Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence from 1/3 of classes will result in a failing grade.

成績評価の方法 Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.

教科書 Steven Molinsky and Bill Bliss *Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4* Longman 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	287401
科目名	英会話II
担当者名	セイジ, K

講義のねらい If you want to take your English conversation to the next level through discussions, then you should choose this course. The course aims to further build on your English conversation skills and develop your discussion skills as well. The teacher's role will be a facilitator in this class and students will be expected to contribute topics for discussion in class.

講義の内容・授業スケジュール In lessons, you will do pair work. Individually you will be expected to contribute your own topics of interest for conversation or discussion. The pair work builds to a challenging scenario that you would find in the real world. You will be assessed on your ability to function in these scenarios.

履修上の留意点 Due to the conversation and discussion focus of this course, you must be prepared to come to every class ready at first to speak and then move on to discussing things in English.

成績評価の方法

1. Class activities
2. Pair performances
3. Individual contributions
4. Attitude and attendance
5. YeStudy work and use

教科書等 There is no textbook. You will need to keep the printouts and YeStudy will be used. A dictionary, preferably an electronic one.

履修コード	287501
科目名	英会話II
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about likes/dislikes and preferences.
- 3) Family relationships.
- 4) The place where you live.
- 5) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 6) Daily routines and habits.
- 7) Feelings and emotions.
- 8) Going places: Holiday destinations and travel tips.
- 9) Favorite holidays and places.
- 10) Comparative adjectives and superlatives.
- 11) Talking about the best and the worst.
- 12) Explaining problems and making excuses.
- 13) Borrowing and lending.
- 14) Talking about culture and festivals.
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of last term's class topics and test questions.
- 17) Do you remember when ... ?
- 18) Best friends.
- 19) Favorite movies and actors/actresses.
- 20) MOVIE viewing and discussion of movie's content.
- 21) A special time and a special person.
- 22) Making plans: Offers and requests.
- 23) What should I do? How to give advice.
- 24) Dilemmas discussion game: I need your advice because ...
- 25) Tell me a story. Retelling stories and interesting past events.
- 26) In my opinion.
- 27) Looking ahead: Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic Japanese-English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a conversation test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8

Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287601
科目名	英会話II
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい This course will enable students to use better conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as to improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class..

講義の内容・授業スケジュール [1]Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to student presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams will draw from selected textbook activities.

履修上の留意点 Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence from 1/3 of the scheduled classes will result in a falling grade.

成績評価の方法 Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.

教科書 Steven Molinsky and Bill Bliss *Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4* Longman 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	265401
科目名	英語 LLI
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

**講義のねらい** 聞き取り、読む力を同時につける。日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。TOEIC形式の模擬試験を前期1回後期一回行う。すくなくともスコアで150から300程度のアップをめざす。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 前期
1. 小テスト（1）実施（受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う）
  2. 聞き取り、書き取り訓練（1）
  3. 聞き取り、書き取り訓練（2）
  4. 聞き取り、書き取り訓練（3）
  5. 聞き取り、書き取り訓練（4）
  6. 小テスト（2）
  7. 英語での自己紹介（1）
  8. 英語での自己紹介（2）
  9. 英語での自己紹介（3）
  10. 聞き取り、書き取り訓練（5）
  11. 聞き取り、書き取り訓練（6）
  12. 聞き取り、書き取り訓練（7）
  13. 小テスト（3）
- 後期
1. 小テスト（4）
  2. 聞き取り、書き取り訓練（8）
  3. 聞き取り、書き取り訓練（9）
  4. 聞き取り、書き取り訓練（10）
  5. 聞き取り、書き取り訓練（11）
  6. 小テスト（5）
  7. 英語でおこなうペアワークと書く英語（1）
  8. 英語でおこなうペアワークと書く英語（2）
  9. 英語でおこなうペアワークと書く英語（3）
  10. 英語でおこなうペアワークと書く英語（4）
  11. 小テスト（6）
  12. 復習とまとめ（1）
  13. 復習とまとめ（2）

**履修上の留意点** 全員コンピュータIDを取得しておくこと。（総合情報センターで取得可能）。

例年希望者が多いので振り分けテストをおこなう。

**成績評価の方法**

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、TOEIC形式模擬試験の成績、上昇度などによる。定期試験は実施しない。

**教科書  
参考書等  
その他**

配布資料、および教場内コンピュータにある教材をつかう。  
授業中に提示する。

ウェブ上でおこなう宿題は YeStudy などをつかい、電子データでの音の持ち帰りもできる。フラッシュメモリー（USB）、自宅での吹き込み用簡易ヘッドセット（マイクつき）などを用意しておく  
と便利。

履修コード	265501
科目名	英語 LLI
担当者名	きしもと しげかず 岸本 茂和

**講義のねらい** 聴解能力—会話において相手が何を話しているか聴き取れる力—の涵養につとめる。「習うより馴れろ」を標語に1年間やってゆきたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

教場のPCに既設のソフトであるPC@LLを利用しながら必要におうじて映画DVDなどの商用ソフトも使用する。授業時にはいわゆる「双方向性」にのっとりIT機器をととした受講生の自主的参加がもとめられる。

**履修上の留意点**

出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかならず携行のこと。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っているものを選ぶこと。

**成績評価の方法**

前期・後期試験の結果および平常点ならびに出席状況等をかながみ評価する。試験形式はセンター入試の Listening Tests とおなじような形になるであろう。

**教科書  
参考書等  
その他**

開講時に指示する。

このシラバス（授業内容）作成の時点（平成20年12月）から21年4月の開講時までに担当者（岸本）の機器習熟とソフトの研究により一部授業内容が変更することもあることを付記する。

履修コード	265601
科目名	英語 L L I
担当者名	井伊 順彦 <small>いゐ のぶひこ</small>

**講義のねらい** リスニング、スピーキングの初歩から始まり、最終的には高度なニュースをある程度は聞き取れ、かつ内容のあるスピーチができるところまで実用能力を高めること。

**講義の内容・授業スケジュール** 初心者が少なからず履修する点に留意して発音練習を重視するとともに、書き取りの時間を確保する。ビデオ、DVDも活用するつもり。

**履修上の留意点** 毎回おそらく一度は指名され、なんらかの問題に解答してもらおうことになろう。また各自の練習時間もかなり設ける。積極的な姿勢が大事。

**成績評価の方法** 数回の小テストの成績、ひんばんな質疑応答の出来、出席数などを柱とするが、詳細は教室で。

**教科書** 『話すためのリスニング』南雲堂 1900円(税別)

**参考書等** おりにふれて教室で指示する。

履修コード	265701
科目名	英語 L L I
担当者名	川崎 浩太郎 <small>かわさき こうたろう</small>

**講義のねらい** 英語の母音、子音、ストレス、単語と単語のリエゾン等の発音を練習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目標とします。

具体的には、日常の様々な場面を再現したスキットをビデオで見ながらリスニング能力の向上をはかりつつ、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行っていきます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

**講義の内容・授業スケジュール** (1)オリエンテーション (2~5) Unit1~10 (15~30) Unit11~20

**履修上の留意点** 恥ずかしがらずに大きな声で明瞭に発音することをこころがけてください。

**成績評価の方法** 平常点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

**教科書** 村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』マクミランランゲージハウス ￥2000(税別) ISBN4-89585-304-7

履修コード	265801・265901
科目名	英語 L L I
担当者名	池 一子 <small>いけ かずこ</small>

**講義のねらい** リスニングに欠かせない英語の音声変化と聞き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後英語のニュースを中心に、比較的短いモノログやダイアログなどを正確に聞き取れるようになることを目指します。

**講義の内容・授業スケジュール** 1. 前期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。

- (a) 個音(母音、子音)の識別
- (b) 連結
- (c) リダクション(機能語の弱形・縮約形)
- (d) 脱落・同化
- (e) リズム、イントネーション

2. 後期は実際の聞き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。

- (a) ニュース
- (b) ドキュメンタリー
- (c) 映画、ドラマ
- (d) インターネット

**履修上の留意点** 授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

**成績評価の方法** 平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

**教科書** 開講時に指示します。

**その他** 毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

履修コード	266001
科目名	英語 L L I
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい 外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から始めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同ような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、スピーキング力が身につきます。中、高等学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール テキスト各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期後半にはビデオ2本を終了し、American Accent Training へ進み、アメリカ英語の特色であるリエゾンの訓練を通して、リスニング力、スピーキング力の飛躍的なレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点 発音の訓練は早いほど良いので、1、2年次での履修が望ましいと思います。  
成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書 参考書等その他 Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス 2,100円 ISBN: 978-4-89585-304-0  
American Accent Training 2nd ed. Barrons. \$39.95  
特になし。

外国語

履修コード	266101
科目名	英語 L L I
担当者名	久保 ひさ子

講義のねらい 海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。

履修上の留意点 クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法 前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点  
教科書 マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂 ¥1,200

履修コード	288501
科目名	英語 L L II
担当者名	セイジ, K

講義のねらい If you are interested in integrated language skills (reading+speaking+listening+writing - at the same time!) in a multimedia atmosphere, then this course will be a good challenge for you.

講義の内容・授業スケジュール Since this course is in the LL room, we will have access to online authentic sources from websites, including video and audio. In lessons, you will be expected to combine the resources provided by the teacher and/or yourself from the internet, into pairwork activities and real-world scenerios presented to the class. Various activities on YeStudy will also be required.

履修上の留意点 As this course is a little intensive, you must be prepared to have a good attitude and try your best to keep up with the material provided and your YeStudy work.

成績評価の方法 1. Class activities  
2. Pair work and scenario presentations  
3. YeStudy work and use  
4. Attendance and attitude

教科書 There is no textbook. You will need to keep up-to-date with the online material and your YeStudy work.

参考書等 Know of a good online dictionary.

履修コード	288601
科目名	英語 L L II
担当者名	高橋 <small>たかはし</small> 明子 <small>あきこ</small>

講義のねらい ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるよう練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じて映画などの教材やTOEICのリスニング・セクションの問題も取り入れます。テキストの各 Unit を二回の授業を目安にして進め、前期に Unit6 まで、後期に Unit12 までを学びます。

履修上の留意点 毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法 平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書 『CNN：ビデオで見る世界のニュース（10）』（朝日出版社）2,000円＋税  
ISBN978-4-255-15461-9

履修コード	288701
科目名	英語 L L II
担当者名	加藤 <small>かとう</small> 佐和子 <small>さわこ</small>

講義のねらい TOEICの高得点を目指して、リスニング強化の訓練する。

講義の内容・授業スケジュール テキストに、Tactics for TOEIC を使い、TOEICの攻略法を研究し、練習問題を解きながら実践的力をつける。テキストの Listening Test Part を1ユニットずつ進む。

履修上の留意点 TOEICの Reading Part は、各自自習すること。

成績評価の方法 授業の参加度 50%  
毎回の小テスト 50%

教科書 Tactics for TOEIC Listening and Reading Test, Student Book (Oxford University Press)

外国語

## 4. 保 健 体 育 科 目





履修コード	202401
科目名	保健理論
担当者名	黒子 幸一

講義のねらい	保健一般について医療の現場で行われているプライマリーケア、緩和ケアを理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	医療に従事する上で必要な事項を理解するため、医療倫理については患者の人権・自己決定権、インフォームドコンセント、安楽死・尊厳死、蘇生とDNAR、体外受精、遺伝子医療を考える、このほか3大疾患、生活習慣病、禁煙活動、メンタルヘルスについて理解する。
履修上の留意点	小テスト、レポート提出を実施する。
成績評価の方法	定期試験、小テスト、レポート、出席状況により評価する。
教科書	『シンプル衛生公衆衛生学』（南江堂）2,400円
参考書等	『臨床緩和ケア』（青海社）2,800円 『医療倫理』（勁草書房）3,000円
その他	授業方法は講義形式を主にビデオ学習、グループディスカッション、ロールプレイを行う。プリント配布、講義スライド資料配布予定

履修コード	195811
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	下谷内 勝利

講義のねらい	この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション （バスケットボール） 2時限目：基本技術の学習（ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど） 3時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など 4時限目：ゲーム 5時限目：ゲーム 6時限目：ゲーム （バレーボール） 7時限目：基本技術の学習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど） 8時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム 9時限目：ゲーム 10時限目：ゲーム 11時限目：ゲーム（バドミントン） 12時限目：基本技術の学習（ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど） 13時限目：スマッシュの練習およびシングルスゲーム 14時限目：サーブの練習およびダブルスのゲーム 15時限目：ダブルスのゲーム
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。
教科書	特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。
その他	グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	195811
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	<small>もりもと まさる</small> 森本 葵

講義のねらい	ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバットティング、走塁練習、その他） 2時限目：＼ 3時限目：試合（勝ち点制） 4時限目：＼ 5時限目：＼ 6時限目：＼ 7時限目：＼ 8時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審） 9時限目：＼ 10時限目：試合（勝ち点制） 11時限目：＼ 12時限目：＼ 13時限目：＼ 14時限目：＼ 15時限目：まとめ
履修上の留意点	用具：貸与 服装：ユニフォームの着用の必要はないが、実技のできる服装とする。 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。
成績評価の方法その他	出席を重視し70%、試合毎の勝点を20%、試合の取り組み及び技術点を10%とする。 雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

保健体育

履修コード	195901・196001・196101・196201・196301
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）
担当者名	<small>みのり けい</small> 三幣 晴三

講義のねらい	バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校教育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習 （バドミントンのスイング技術・グリップ） 2時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術 簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム） 3時限目：スマッシュの基本技術／ネット際のプレー技術 簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム） 4時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明 正式ルールでのダブルス練習試合 5時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目 6時限目：同 第2日目 7時限目：同 第3日目 8時限目：同 第4日目 9時限目：同 第5日目 10時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦 12時限目：同 第2日目 13時限目：同 第3日目 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装 シューズ：運動靴（体育館用として中履きのシューズを使用すること）
成績評価の方法	出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）
担当者名	<sup>やまぐち</sup> 山口 <sup>よしひさ</sup> 良博

- 講義のねらい** 室内で行われるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主な狙いとする。
- 講義の内容・授業スケジュール** バスケットボール、バレーボール、フットサルといった室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術を学んだ後は、主にゲームを通じて技術の習得、体力の向上を図る。  
1時限目にオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。
- 履修上の留意点** スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。
- 成績評価の方法** 授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。
- その他** 再クラス 集中授業コース実施について  
 (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）  
 （後期）1月4日（月）～1月8日（金）  
 7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。  
 (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30  
 (3) 実施場所：玉川校舎  
 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。  
 (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。  
 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

保健体育

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ダブルダッチ）
担当者名	<sup>すえつぐ</sup> 末次 <sup>みき</sup> 美樹

- 講義のねらい** ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく。縄の回し方、跳び方等を自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**  
 1日目 午前：オリエンテーション ターナの練習・ジャンプの練習  
 午後：一本縄での応用 5回跳び・10回跳び  
 2日目 午前：短縄を使って練習 一本縄応用  
 午後：奇数跳び・偶数跳び  
 3日目 午前：出方の練習  
 午後：応用  
 4日目 午前：ビデオ学習・応用  
 午後：応用  
 5日目 午前：応用  
 午後：応用、まとめ
- 履修上の留意点** 服装：上下とも動きやすいものが良い。 シューズ（室内用）を用意する  
**成績評価の方法** 出席状況（出欠の確認は午前・午後の二回行う）、授業の参加意欲・態度から総合的に判断する。
- その他** 再クラス 集中授業コース実施について  
 (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）  
 （後期）1月4日（月）～1月8日（金）  
 7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。  
 (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30  
 (3) 実施場所：玉川校舎  
 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。  
 (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。  
 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳）
担当者名	<sup>おおいし</sup> <sup>なげし</sup> 大石 武士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション  
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動  
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅  
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肘  
5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾  
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭  
7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚  
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立  
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂  
10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢  
11時限目：総合  
12時限目：総合  
13時限目：総合  
14時限目：総合  
15時限目：テスト

履修上の留意点  
成績評価の方法  
その他

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。  
出席率70%、総合評価30%で行う。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）  
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）  
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。  
(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30  
(3) 実施場所：玉川校舎  
(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。  
(5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン）
担当者名	<small>まさの しげる</small> 牧野 茂

講義のねらい ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基礎的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本（回内・回外）  
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク（1）（スマッシュ、ドロップ）  
コート半面のシングルス・ゲーム  
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）  
サービス、コート半面のシングルス・ゲーム  
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）  
サービス、シングルス・ゲーム  
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク（2）（ロブ、クロス・ネットショット）  
シングルス・ゲーム  
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）  
サービス、シングルス・ゲーム  
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（3）（カット、プッシュ）  
総合練習、ダブルス・ゲーム  
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

ラケットは貸与する。  
服装は、一般的な運動服装とする。  
体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

成績は、出席（70点）と服装・授業態度等（30点）で評価し、60点以上を合格とする。出欠は、午前・午後の二回確認する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- （1）実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）  
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）  
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。  
（2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30  
（3）実施場所：玉川校舎  
（4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。  
（5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。  
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）
担当者名	<sup>すずき</sup> 鈴木 <sup>じゅんぺい</sup> 淳平

- 講義のねらい 1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。  
技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技術を身につける。
- 講義の内容・  
授業スケジュール 2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。
- 履修上の留意点  
成績評価の方法 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム  
2日目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム  
3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム  
4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦  
5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
- その他 再クラス 集中授業コース実施について  
スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。  
出席を重視し、評点の80%とします。  
出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。  
その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。
- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）  
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）  
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。  
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール）
担当者名	<small>たかはし しょうすけ</small> 高橋 俊介

**講義のねらい** 補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

**講義の内容・授業スケジュール**

第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、走塁練習、その他）  
午後：同上  
第2日目 午前：ゲーム  
午後：〃  
第3日目 午前：〃  
午後：審判法・ゲーム  
第4日目 午前：〃  
午後：〃  
第5日目 午前：〃  
午後：〃

**履修上の留意点**

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

**成績評価の方法その他**

出席を重視し、総合的に評価する。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）  
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）  
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。  
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照



履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（屋外球技）
担当者名	岩本 哲也

講義のねらい	サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」「フットサル」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	（サッカー） 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2 時限目：リフティング、インサイドキック、トラッピング、ゲーム 3 時限目：浮き球のトラッピング、インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム 4 時限目：インフロントキック、オフサイドルールの理解、ゲーム 5 時限目：基本技術の応用、ゲーム 6 時限目：リーグ戦1 7 時限目：リーグ戦2 8 時限目：リーグ戦3 （フットサル） 9 時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム 10 時限目：パス、トラップ、シュート 11 時限目：基本技術の応用1、ゲーム 12 時限目：基本技術の応用2、ゲーム 13 時限目：リーグ戦1 14 時限目：リーグ戦2 15 時限目：リーグ戦3
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装とする。 シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること（取替え式スパイクは不可）。
成績評価の方法	評価は、出席点70点、実技点30点とする。実技点は、授業中に行われるゲーム成果、授業態度を加味して評価する。また、個人の実技テストは行わない。
その他	雨天時は、室内にて他種目の運動もしくは、ルール説明とビデオ観戦とする。30分以上の遅刻は認めない。 再クラス 集中授業コース実施について （1）実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水） （後期）1月4日（月）～1月8日（金） 7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合 （2）実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30 （3）実施場所：玉川校舎 （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。 （5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものが後期に開講されるものかを確認すること。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）
担当者名	村松 誠 <small>まつむら まこと</small>

講義のねらい	バスケットボール、バレーボールのゲームを通して、その基礎技術、戦術、ルール等を理解し、他の受講者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1月4日午前：オリエンテーションと班分け 午後：バスケットボールのパス・キャッチとシュート</p> <p>5日午前：ボールハンドリングとリーグ戦 午後：対人技術とリーグ戦</p> <p>6日午前：コンビネーションプレートリーグ戦 午後：バレーボールの基礎技術</p> <p>7日午前：スパイクとリーグ戦 午後：サーブ・レシーブとリーグ戦</p> <p>8日午前：総合練習とリーグ戦 午後：リーグ戦とまとめ</p>
履修上の留意点	スポーツ服装と室内用スポーツシューズを用意すること。冬期のため、風邪を引かないよう防寒に留意すること。
成績評価の方法その他	<p>出席点を重視する。全体の3分の2以上の出席者に対して評価点をつけることとする。</p> <p>再クラス集中授業実施について</p> <p>(1) 実施期間：後期；1月4日（月）～1月8日（金） 1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合</p> <p>(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30</p> <p>(3) 実施場所：玉川校舎</p> <p>(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。</p> <p>(5) 備考：再クラスの集中授業は、<u>前期・後期を履修して通年で2単位である</u>。該当する担当者・種目が、<u>前期のものが後期のものか確認すること</u>。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照</p>



# II 專 門 教 育 科 目

專門教育



履修コード	153101
科目名	解剖学
担当者名	嶋田 守男 <small>しまだ もりお</small>

講義のねらい 解剖学は人体の正常な形態と構造を研究する学問である。我々の身体の正常形態および構造を理解することは、疾病患者の異常を理解する上で非常に大切なことである。これゆえに、解剖学は、現代医学とくに放射線医学を理解するうえで最も基礎となる重要な分野である。そのために要点を確実に習得する必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

- (1-4) 骨格系
- (5-6) 筋系
- (7) 脈管系
- (8) 消化器系
- (9) 呼吸器系
- (10) 泌尿器系
- (11) 生殖器系
- (12) 内分泌系
- (13) 神経系
- (14) 感覚器系
- (15) 発生学に分けて系統的に学習する。

履修上の留意点  
成績評価の方法

教科書での予習、講義後の復習、テストを通して正確な知識を得るように努めること。  
(必須記載項目)

教科書

講義の過程中に4回程度にわけて筆記試験を行う。  
藤田恒夫著『入門人体解剖学』(南江堂)5,000円

履修コード	153201
科目名	環境保健医学
担当者名	黒子 幸一 <small>くろこ こういち</small>

講義のねらい 人間を取り巻く環境が健康に及ぼす影響と疾患との関係、疾病予防についての基礎的知識の習得を目的とする

講義の内容・授業スケジュール

健康を阻害する疾病、社会要因、環境因子を理解するために年齢別疾病罹患(高齢化社会の疾病)、環境因子の地域差・推移を知り、予防医学的考察まで進める

履修上の留意点

小テスト、レポート提出を実施する

成績評価の方法

定期試験、小テスト、レポート、出席状況により評価する

教科書

『シンプル衛生公衆衛生学』(南江堂)2,400円

参考書等

『国民衛生の動向』厚生省の指標(厚生統計協会)

その他

授業方法は講義形式を主にビデオ学習、グループディスカッション、ロールプレイを行う  
プリント配布、講義スライド資料配布予定

履修コード	152801
科目名	電気工学
担当者名	佐藤 昌憲

講義のねらい 交流回路理論の基礎知識を得ることを目的としているこの科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合わせて講義をする。

講義の内容・授業スケジュール 次の内容で授業を進める。

- 1) 交流回路の基礎
- 2) 交流の平均値・実効値
- 3) 正弦波交流の基本回路
- 4) 交流の直列回路
- 5) 交流の並列回路
- 6) 交流の電力
- 7) 複素数とベクトル
- 8) 交流回路の計算
- 9) 相互インダクタンスを含む回路の計算
- 10) 三相交流の基礎
- 11) 三相の結線方法と電圧・電流の関係
- 12) 三相交流の電力と力率
- 13) 平衡三相交流回路の計算
- 14) 電気計測（電圧・電流・電力の測定）

成績評価の方法 中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。  
教科書 『電気基礎下』（東京電機大学）

履修コード	152701
科目名	放射線物理学
担当者名	小川 雅生

講義のねらい 診療放射線学の基礎となる物理を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1回 陽子、中性子、電子、光子、物理定数
- 2回 光の粒子性、粒子の波動性、ド・ブロイ波長
- 3-4回 ボーアの原子模型、量子の世界
- 4-6回 特性X線、オージェ電子、蛍光収率、モズレーの法則
- 7-8回 制動X線
- 8-9回 原子核の世界、核子、クォーク、同位体、結合エネルギー
- 10-11回 原子核の壊変、放射能、半減期、放射平衡
- 12-13回 ベータ壊変、ニュートリノ、レプトン
- 14回 電子捕獲、特性X線発生
- 15回 ガンマ壊変、ガンマ線スペクトル
- 16-17回 光子と物質の相互作用、光電効果
- 18-19回 コンプトン散乱、コンプトン端、対生成
- 20回 光子の減弱、減弱係数、作用断面積
- 21回 吸収端、原子模型との関係
- 22-23回 電子と物質の相互作用、減弱係数、臨界エネルギー
- 24回 荷電粒子と物質の相互作用
- 25回 阻止能、LET
- 26回 飛程、ストラグリング、ブラッグピーク
- 27回 アルファ壊変、ガイガー・ヌッタルの法則
- 28回 核磁気モーメント、核磁気共鳴
- 29回 原子核物理、アイソマー、内部転換電子
- 30回 電子線の発生、荷電粒子の加速

履修上の留意点 講義において不明な点があれば質問すること。講義が分かりにくい場合は、その旨を主張すること。  
成績評価の方法 定期試験の他に、講義中に行う演習問題および出席状況により評価する。  
教科書は使用しない。参考書として放射線物理学（多田順一郎著、オーム社）とアイソトープ手帳（日本アイソトープ協会編、丸善）を推薦する。図表などの資料をプリントあるいは学内メールで配布する。

履修コード	153301
科目名	診療画像技術学概論
担当者名	西尾 誠示

講義のねらい 医療の場において診療放射線技師の果たす役割とその関連事項、及び診療画像技術学を学ぶ上で基礎となるX線画像の基礎知識について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 医療社会の構成、病院組織、関連職種、チーム医療などについて
- (2) 診療放射線技師の役割、放射線学の歴史、将来の展望等について
- (3) X線の発生、線質、減弱、物質との相互作用、写真効果などについて
- (4) X線照射によって生じる写真効果と画像の拡大、歪み、重畳効果など
- (5) 写真濃度とフィルムの特性曲線について
- (6) コントラスト、鮮鋭度、粒状性について
- (7) 管電圧、散乱線とグリッド、フィルム・増感紙などについて
- (8) 最適な画像を得るための理論的な考え方、課題と改善策について
- (9) 医療画像検査を行う上で重要な基準線、名称などについて
- (10) 画像検査の種類と特殊撮影の原理・応用
- (11) 単純撮影について
- (12) 造影剤を用いた画像検査について
- (13) CT、MRI、超音波画像について

履修上の留意点

講義用の Power Point に要点を示してあるので、ノートに取ること。

成績評価の方法

定期試験を基準にするが、勉学意欲も参考にする。

教科書

立入弘著『診療放射線技術』（南江堂）6,800円

参考書等

講義用CD及びプリント

その他

授業中に質問あるいは意見を求める。

履修コード	152901
科目名	放射線機器概論
担当者名	名古屋 安伸

講義のねらい 診療放射線業務を行うには医療用放射線機器や器具が必要である。それらのうち診療用の各種X線機器・装置・用具の構造・動作原理や取扱い方法・精度維持や安全管理に必要な知識について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 診療X線機器：X線機器の概要、X線管の構造、用具・感光材料の基礎知識。
- (2) 一般撮影装置：X線装置・X線発生装置、X線制御装置。
- (3) X線源装置：X線用高電圧ケーブル、X線高電圧発生装置、電源設備。
- (4) X線機械装置：透視撮影装置、保持装置・撮影台、その他の特殊装置。
- (5) 関連用品：散乱X線除去用グリッド、フィルムカセット、イメージング装置。
- (6) 診断用X線装置：外科系、消化器系、呼吸器系、頭部系等撮影装置。
- (7) 特殊X線装置：乳房用X線装置、泌尿器・婦人科系X線装置、乳幼児撮影装置。
- (8) X線断層撮影装置：X線間接撮影装置、X線拡大撮影法・立体撮影法。
- (9) 循環器系X線検査装置：連続撮影装置、X線シネ装置と関連機器。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要なX線装置などの基礎的知識について教科書を用いて講義する。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況により評価。

教科書

『診療放射線技術』上巻（南江堂）7,140円



履修コード	153001・153002
科目名	画像工学概論I 放射線写真学
担当者名	<small>ふるかわ</small> <small>かつはる</small> 古川 克治

**講義のねらい** 日進月歩の医学、その中において医用画像の表示法も大きく変化、狭義の放射線写真学のウェイトは激減している。しかしながら、「より良い医用画像を診断側へ提供する」という課題は何ら変わっていない。この現実を踏まえ、画像工学、医用画像情報学と放射線写真学のバランスをとり、講義内容を重点化し、国試にも対応した洞察力の育成を図る。

1. アナログ画像（スクリーン/フィルム系を中心）とデジタル系（Dry フィルムを中心）の画像形成全般について
2. アナログ画像、デジタル画像など2次元医用画像の画像評価（感度、コントラスト、鮮鋭度、粒状性）
3. デジタル画像の保管・伝送、と各種医用廃棄物、環境問題

**講義の内容・授業スケジュール**

- ・講義内容
  - ①、医用画像情報学概論；医用画像情報学とは、生体情報の可視化、画像の認知・視覚、カラー画像の認知
  - ②、X線画像形成学；AgXの感光理論、各種写真現象とスクリーン/フィルム系におけるX線画像の成り立ち、広義の現像処理、Dry フィルムを中心としたデジタル系画像の成り立ち
  - ③、画像評価；信号の入出力特性（特性曲線）、アナログ画像&デジタル画像における各種画質評価法（コントラスト、鮮鋭度、粒状性）、総合画質評価、等
  - ④、その他；画像伝送、視覚評価、医用廃棄物と環境
- ・スケジュール

**履修上の留意点**

- 上記内容に沿って、H21年09月～12月迄、約13回で実施。
1. ミニテストやレポート提出を期間中数回実施し、理解度を確認する。
  2. 教科書、準教科書、配布する参考文献、PC、臨床写真等で理解を深める。
  3. 各種写真（基礎実験、臨床）を供覧、理論と実際を習得する。

**成績評価の方法**

期末試験を重視、ミニテストや出席点も参考に最終評価する。  
（なお、定期試験 未受験者用追試験は実施する）

**教科書**

『医用画像情報学』 桂川 茂彦 編 南山堂発行 ¥3,300円  
準教科書 「放射線写真学」 富士フィルムメディカル㈱ 編&発行 ¥5,700 円

**参考書等**

- ① 『改訂写真工学の基礎 [銀塩写真編]』 日本写真学会編 コロナ社
- ② 『写真の科学』 友田 宜忠 編 通商産業研究社
- ③ 『写真の化学』 笹井 明 写真工業出版社
- ④ 『放射線画像情報工学』 内田 勝 通商産業研究社
- ⑤ 『The Theory of the Photographic Process』 4th Ed T.H. James, Macmillan Co.
- ⑥ 『医用画像工学ハンドブック』 日本画像工学会 監修
- ⑦ 『Christensen's Introduction to the Physics of Diagnostic Radiology』 T.S. Curry et.al., Lea & Febiger'84

履修コード	153401
科目名	応用数学
担当者名	野口 勝 <small>のぐち まさる</small>

講義のねらい 「基礎数学」で学んだ微分・積分の知識をさらに発展させ、本学科の専門科目で学ぶ高度な技術を理解するために必要となる基本的な数学の力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

微分・積分の応用、発展として以下を学ぶ。

1. 偏微分（第1～5回）  
2変数関数，偏導関数とその応用 等
2. 二重積分（第6～10回）  
二重積分とその応用 等
3. 微分方程式（第11～20回）  
1階微分方程式，定数係数線形微分方程式 等
4. フーリエ変換（第21～30回）  
フーリエ級数，フーリエ変換 等

履修上の留意点

数学は基礎の積み重ねが重要である。したがって毎回行う演習に真剣に取り組み，今日学んだことは今日習得する，という姿勢で臨むこと。また必要に応じて「基礎数学」で学んだ微分・積分を復習すること。

成績評価の方法  
教科書

3～4回の理解度確認テスト，および学習態度の総合点による。  
矢野・石原 『科学技術者のための基礎数学』（裳華房），2,700円＋税  
ISBN978-4-7853-1035-6

参考書等  
その他の

必要に応じて資料を配付する。  
「憶えるのではなく理解する」ということが数学力向上のポイントである。この意識をしっかりと持とう！

履修コード	153901・154001
科目名	診療画像技術学実験〔実験〕
担当者名	西尾 誠示・飯田 幸雄・熊坂 さつき・古川 克治

講義のねらい

講義の内容・  
授業スケジュール

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用法を習得する。  
X線画像を左右する要因と基礎的な画質評価について実験を行う。

(1) X線量と写真濃度  
被検体からより多い情報を得るための適切な線量を求める。ファントムを用いて、照射を行いX線の吸収と写真濃度を理解する。

(2) 撮影条件表の作成  
アクリル板を用い、その厚さの変化に対する適正な線量、電圧を求め、条件表を作成する。

(3) 照射野の線量分布と撮影距離  
X線照射野とフィルム・X線焦点間距離を変化させ写真濃度を測定し、照射野内のX線分布を把握する。

(4) フィルムの特性曲線の作成  
距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数の特性曲線を作成する。特性曲線と線量の関係を理解するとともに、その利用方法を学ぶ。

(5) 撮影電圧とコントラスト  
電圧とフィルター厚を変化させ、線質の違いが画質に及ぼす影響を調べる。  
X線吸収差の少ない被写体のコントラスト、微小検体の描出度を評価する。

(6) 増感紙の感度  
フィルムの特性曲線を作成し、各種増感紙の相対感度を求める。増感紙とフィルムの正しい組合せ、および感度と被曝線量の関係について学習する。

(7) フィルム・増感紙の鮮鋭度／解像力  
矩形波チャートを用いて、フィルム・増感紙の鮮鋭度を求める。マイクロデンシトメータの取扱いを習得する。

(8) 散乱線の評価  
上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。被写体厚と照射野を変化させて散乱線の量を測定し、臨床における量を把握する。

(9) グリッドの性能評価  
鉛ディスク法にて散乱線透過率、直接線透過率、全X線透過率から露出倍数、コントラスト改善度、選択度を求め、グリッドの基本的性能を評価する。

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。  
実験マニュアルを事前によく読んで、内容を把握しておくこと。  
定期試験、レポートについて総合的に判定する。  
但し、受験資格は全レポートを提出したものに限る。  
実験マニュアルを配布する。  
立入弘監修「診療放射線技術上巻」(南江堂) 6,800円  
レポートの不正行為は本科目の受験資格を失うので注意すること。

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書  
参考書等  
その他

履修コード	153501・153601
科目名	医用物理学実験〔実験〕
担当者名	佐藤 昌憲・小川 雅生・鳥山 保・羽生 毅・藤森 成一

講義のねらい 多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の学習をする。後半はデーターを処理する方法の実験をする。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール 内容は手引書を製作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。そのためにスケジュールは個々によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けしスケジュールを発表する。

1. ガイダンス
2. 放射線実験室の立ち入り方
3. パソコンによるレポート作成法
4. 直流回路（電界）
5. 交流回路（磁界）
6. Excel 関数の使用法
7. 計測に関する統計と誤差
8. GM計数管のプラトローの測定
9. サーベイメータの使い方
10. 電離箱の平衡厚測定
11. X線の実効エネルギーの算定

成績評価の方法 1. レポート 2. 実験 3. 質疑応答 4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教科書 実験のために用意した手引書を制作してある。

履修コード	153701・153801
科目名	医用化学実験〔実験〕
担当者名	原田 和正・田中 一好・本多 貴之・三木 瑛一・山本 裕右

講義のねらい 医療分野において必要な化学に関する実験を通して、化学の基本原理や概念を理解すると共に、化学実験における基本操作、薬品取扱時の基礎知識を学ぶ。また、実験で得られたデータを客観的に評価し、分子レベルで化学的に考察してレポートにまとめる能力を育成する。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. ガイダンス
  2. ガラス細工、器具の洗浄
  3. 容量、重量の測定、試薬の調製法
  4. ハロゲン化銀の感光性と現像、定着試薬との反応
  5. 中和滴定による酸の定量
  6. 薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
  7. 分子模型実習
  8. pH メータによる緩衝能の測定
  9. 硫酸銅(II)五水和物の合成
  10. ヨウ素滴定による銅(II)の定量
  11. o-フェナントロリン法による鉄(II)の比色分析
  12. イオン交換樹脂の交換容量の測定
  - 13～15. レポート指導

履修上の留意点 化学実験には危険や事故が付きまとうため、ガイダンスでの注意事項を厳守すること。

成績評価の方法 平常点、レポート、定期試験により評価する。

教科書 プリント使用

参考書等 第7版『実験を安全に行うために一事故・災害防止編』（化学同人） 800円

第3版『(続)実験を安全に行うために一基本操作・基本測定編』（化学同人） 800円

その他 以上2冊は、実験時に常に持参すること。

関数電卓を持参すること。また、必要に応じ、グラフ用紙等を用意すること。

履修コード	154901
科目名	医学概論
担当者名	吉川 宏起

講義のねらい 現代医学で行われている実際の医療について幅広く理解し、その中での放射線医学の役割について理解する。さらに医療従事者として必要な人権を尊重した医療倫理について考察する。

講義の内容・授業スケジュール (1、2) 医学の定義、生命とは、生活習慣病、QOL、インフォームドコンセント、IRB  
(3、4) 医学の起源、近代の医学(X線の発見)、治療医学の展開、予防医学の展開、医用電子工学(ME)の展開  
(5、6) 病気の内因(免疫)、病気の外因、メタボリック症候群  
(7、8) 病変の分類1: 血行性病変(出血、梗塞、血栓症、塞栓症)  
(9、10) 病変の分類2: 進行性病変、退行性病変、炎症性病変  
(11、12) 病変の分類3: 腫瘍、奇形、染色体異常  
(13) 予防医学と衛生学、生活習慣病の予防  
(14) 医療システムとその役割、一次医療(プライマリケア)、二次医療、救急医療、保健診療

履修上の留意点 現代医学の発展に関する基礎的知識を修得することと、日常で起こる医学に関する問題について考える習慣をつける。

成績評価の方法 出席率、授業時間内の小テスト、定期的筆記試験。

教科書 使用しない。プリントを配布する。

参考書等 日野原重明著『医学概論』(医学書院) 1,600円

履修コード	155001
科目名	臨床医学概論
担当者名	嶋田 守男

講義のねらい 医学概論で学んだ基礎知識を基に、更に一步進めて最近注目をあびている生活習慣病などに焦点をあててその主要疾患について放射線画像診断と放射線治療学との関連性を中心に解説する。

講義の内容・授業スケジュール (1-3) 生活習慣病、画像診断、放射線治療の概観  
(4-6) 生活習慣病: がん  
(7-9) 生活習慣病: 虚血性心疾患  
(10-12) 生活習慣病: 脳卒中  
(13) メタボリック症候群  
(14) 放射線診療における造影剤の有用性と副作用  
(15) 救急医療における放射線診療の役割に分けて系統的に学習する

履修上の留意点 診療放射線技師として必須の種々の疾患概念を理解し、実際の臨床医学に結びつく放射線医学(放射線診断学、核医学、放射線治療学)への基礎的知識を獲得することが重要である。

成績評価の方法 授業時間内の小テスト、定期的筆記試験。

教科書 使用しない。プリントを配布する。

履修コード	155301
科目名	生理学
担当者名	樋口 雄三

講義のねらい 生理学は、専門的知識を構築する基礎となるものであり、十分に習得して欲しい。講義では、いろいろな生命現象が連関し、恒常性が維持されていることをわかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール 1. 恒常性維持と生体防御機構  
2. 血液・体液  
3. 心臓血管系・循環系  
4. 呼吸  
5. 消化・吸収・代謝  
6. 排泄  
7. 内分泌  
8. 脳・神経系  
9. 筋・行動系  
10. 感覚系

成績評価の方法 定期試験、平常点、出席状況などから総合的に評価する。特に出席時数を重視する。

教科書 下 正宗『人体の構造と機能』(医学書院) 3,000円

履修コード	155201
科目名	病理学
担当者名	吉川 宏起

講義のねらい 病理学は医学の根幹をなす重要な科目であり、さまざまな臓器・器官における疾患の成り立ちを追求する学問である。臨床医学を理解するための基礎的知識として特に重要な項目をとりあげて解説する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 病理学の歴史と細胞内小器官  
(2、3) 病理学総論：先天性疾患、退行性疾患、進行性疾患、循環障害  
(4、5) 炎症と感染症  
(6、7) 免疫機構と自己免疫機構  
(8) 腫瘍  
(9) 循環器障害  
(10) 呼吸器障害  
(11、12) 消化器障害  
(13) 泌尿器障害  
(14) 代謝性疾患  
(15) 神経系疾患

履修上の留意点 これまで学修してきた解剖学と生理生化学の知識を基礎にさまざまな病態のメカニズムを理解し、それらの異常がどのような画像所見を示すのかを知っていくことが大切である。

成績評価の方法 授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。  
教科書 使用しない。プリントを配布する。

履修コード	155401
科目名	生化学
担当者名	原田 和正

講義のねらい 生化学の分野から、診療放射線技師にとって最低限必要と思われる項目に重点を置いて学習する。  
講義の内容・授業スケジュール (1) 序 (2～4) 生体分子の基礎化学 (5～7) 核酸とタンパク (8～10) 代謝の化学 (11～13) 酵素の働きと反応速度 (14～15) 生体の機能と分子

成績評価の方法 定期試験の結果と平常点で評価する。  
教科書 猪飼篤著『化学入門コース8 生化学』(岩波書店) 2,913円  
参考書等 林典夫・廣野治子編『シンプル生化学』(南江堂) 2,800円

履修コード	155801
科目名	電子工学
担当者名	金子 順一

講義のねらい 電子工学は、電子の挙動の制御を通してエネルギーや情報を制御する技術である。この技術は、医療分野の測定器から日常生活まで極めて広い範囲の基礎となっている。本講義では、電子工学の基礎的な分野について理解することを目標として、以下の内容で講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 電子の基本的性質、相互作用  
(4～6) 電子管技術  
(7～15) 半導体、半導体素子  
(16～21) 電子回路技術  
(22～27) デジタル回路技術、論理回路、コンピュータ  
(28～30) 測定回路・測定器、電子機器への応用

成績評価の方法 中間試験、期末試験及び出席状況で評価を行う。  
教科書 宇佐美晶・曾根福保共著『テキストブック 電子工学概論』(日本理工出版会) 2,500円 + 税 ISBN 4-89019-115-1

その他 この科目は、診療放射線技師国家試験の試験科目に含まれている。

履修コード	155601
科目名	原子核物理学
担当者名	<small>ながい、しほり</small> 永井 喜則

**講義のねらい** 放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射線に関する講義を行う。特に $\alpha$ ・ $\beta$ 壊変と $\gamma$ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。正確な理解をすると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. 原子核の性質（構成粒子、質量、結合エネルギー、核力、核模型、磁気モーメント）
2. 放射性壊変（放射能、 $\alpha$ ・ $\beta$ ・ $\gamma$ 線、壊変図）
3.  $\alpha$ 壊変（ $\alpha$ 線のエネルギー、ガイガーヌッターの法則、トンネル効果）
4.  $\beta$ 壊変（ $\beta$ 壊変、 $\beta^+$ 壊変、 $\beta$ 線のエネルギー、電子捕獲、カリブロット）
5.  $\gamma$ 線放射（ $\gamma$ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メスbauer効果）
6. 核反応（核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応）
7. 中性子（中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類）
8. 原子炉（核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子捕捉療法）

**履修上の留意点** 講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後には、短時間でも必ず復習を行うこと。

**成績評価の方法** 定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

**教科書** 教科書は使用しない。

**参考書等** 上原周三著『放射線物理学』（南山堂） 田島英三著『原子核物理概論』（地人書館）  
鷲見義雄著『原子核物理入門』（裳華房）

**その他** 授業の中では演習問題を解くこともする。電卓を用意しておくこと。

履修コード	155701
科目名	放射化学
担当者名	<small>やまもと、ゆうすけ</small> 山本 裕右

**講義のねらい** 診療放射線技師として必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。  
本講義では、すでに1年次に学んだ「基礎化学」および「放射線物理学」、さらに2年次で並行して学ぶ「原子核物理学」で得た、化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について解説する。またここで学ぶ事柄は、3年次の「核医学検査技術学基礎実習」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「核医学」、「放射線管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。

なお、診療放射線技師試験の科目として「放射化学」がある。

**講義の内容・授業スケジュール** (1~3) 放射能・放射性核種、(4~6) 天然に存在する放射性同位体、(7~9) 放射壊変および壊変則、(10~13) 放射平衡、(14~16) 放射性核種の製造、(17~21) 放射性同位体の分離・精製、(22~26) 放射能を利用する分析法、(27~30) 放射性標識化合物の合成法

**成績評価の方法** 2回の中間試験（各30%）、学年末試験（30%）および平常点（含出席点）（10%）により評価する。

**教科書** 使用しない。

**参考書等** データブックとして 日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会 1,680円）を使用する。講義には必ず持参すること。

**その他** 並行して演習問題を行うので、関数電卓を持参すること。

履修コード	155101
科目名	放射線生物学
担当者名	熊坂 <small>くまざか</small> さつき

**講義のねらい** この科目は放射線技師の国家試験に出題される内容を中心に授業を行う。放射線が生物に及ぼす影響を、分子や細胞のレベルから個体や集団のレベルに至るまで総合的に理解する。それによって、今後治療技術学や安全管理学を学んでいく上での基礎となる「被ばくの影響を正しく評価するための知識」を身につける。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

20世紀後半における分子遺伝学の進歩によって、生物への放射線影響の解析は著しく進歩した。この講義では、高線量及び低線量の放射線の生物影響研究の最新の知識を伝えたい。

- 1 放射線生物学の基礎：細胞、遺伝
- 2 生物作用の初期過程：物理・化学・生化学的作用
- 3 放射線による細胞死、細胞の生存率曲線とその解析：標的理論、LQモデル
- 4 放射線影響の修飾：LET、線量率、分割照射、酸素、温度、細胞周期など
- 5 DNA損傷とその修復、遺伝子突然変異と染色体異常
- 6 細胞への影響：分裂遅延、アポトーシスとネクローシス、適応応答、バイスタンダー効果
- 7 組織・臓器への影響：早期障害と後期障害、確定的影響と確率的影響
- 8 放射線による発がん遺伝的影響、胚と胎児への影響
- 9 腫瘍の放射線生物学：感受性とその修飾、分割照射と4R、高LET、温熱
- 10 放射線被ばくのリスクと防護

**履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書**

月曜の1時間目なので授業開始に間に合うように気をつけて登校して下さい。  
総括的評価として2回程度の筆記試験を行う。出席状況も評価する。  
江島洋介、木村博編、放射線技術学シリーズ「放射線生物学」(オーム社)2002年。  
プリントを必要に応じて配布する。

履修コード	156201
科目名	放射線計測学
担当者名	青木 <small>あおき</small> 清 <small>きよ</small>

**講義のねらい** 放射線にはいろいろな種類があり、物質との相互作用もそれぞれ異なっている。また、同じ種類の放射線であっても、エネルギーにより振るまいが異なる。このような多様な放射線を計るため、たくさんの検出器が考案されている。正確な測定を行うにはこれらの検出器を目的に応じて使い分けことが大切である。本講義ではこれらのことを念頭に置いて、代表的な検出器の動作原理と特徴、ならびに測定結果の評価法を学ぶ。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

- (1) 放射線検出の概要 (2、3) 電離箱の基本原則と構造 (4) 電離箱出力の測定 (5) パルス電離箱 (6~8) ガス増幅を利用した検出器(比例計数管、GM計数管) (9、10) 半導体検出器 (11~13) シンチレーション検出器、パルス計測装置 (14~16) 計数値の統計処理 (17、18) 放射線のエネルギー測定 (19、20) 放射能の測定 (21~23) 照射線量と各種電離箱 (24~26) 電離箱による吸収線量測定 (27、28) ブラッグ・グレイの空洞理論 (29、30) 吸収線量の標準測定法

**履修上の留意点**

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするよう心がけてほしい。講義の後は短時間でも必ず復習を行うこと。

**成績評価の方法  
教科書  
参考書等**

中間試験、定期試験ならびに出席状況により評価する。  
長哲二著『放射線計測学』(南山堂) 2,940円 ISBN4-525-27874-9  
『放射線計測学』(オーム社)、『放射線基礎計測学』(医療科学社)、『放射線計測学』(コロナ社)



履修コード	156101
科目名	診療画像技術学
担当者名	西尾 誠示

講義のねらい 画像技術学はX線解剖学や基礎的な画像工学を元にした幅広い分野から構成される。体表解剖、解剖・生理を裏付けとした整位、及び理論的な撮影条件を始めとして臨床画像の評価まで含めて講義を行う。

- 講義の内容・授業スケジュール
- (1) X線画像の理論
  - (2) X線撮影の基準線、体位について
  - (3) 頭部の撮影技術1
  - (4) 頭部の撮影技術2
  - (5) 聴器の撮影技術
  - (6) 副鼻腔の撮影技術
  - (7) 眼窩・顔面の撮影技術
  - (8) 頰椎の撮影技術
  - (9) 胸椎の撮影技術
  - (10) 腰椎の撮影技術
  - (11) 胸郭の骨の撮影技術
  - (12) 肩関節・周囲の撮影技術
  - (13) 上肢骨の撮影技術
  - (14) 骨盤の撮影技術
  - (15) 股関節の撮影技術
  - (16) 下肢骨の撮影技術
  - (17) 胸部撮影の理論
  - (18) 胸部撮影の技術
  - (19) 腹部の撮影技術
  - (20) 乳腺撮影・理論
  - (21) 乳腺撮影・技術
  - (22) 小児の撮影技術・頭部
  - (23) 小児の撮影技術・胸部、腹部
  - (24) 小児の撮影技術・股関節
  - (25) 画像の評価方法について

履修上の留意点 講義は教科書と Power Point とを用いる。必ずノートをとること。  
成績評価の方法 授業内で行う中間試験および年度末の定期試験の結果を基準に評価する。  
教科書 『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円  
参考書等 講義用CD、プリント

専門教育

履修コード	155901
科目名	放射線機器工学
担当者名	奥山 康男

講義のねらい ここ数年のコンピュータ演算速度高速化に伴い、デジタル化された医用画像診断機器技術はめざましく進歩している。これら最新画像診断機器の理解を助ける目的で診断用X線発生装置をはじめとする各画像診断装置の基本原理解、電気工学的な基礎知識、構造、特性及び装置を取り扱うための基礎知識を学ぶ。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1) 全期30回を前期15回、後期15回の2回に分けた授業スケジュールの説明・・・①
  - 2) 前期はX線管、単相、三相全波整流、インバータ、コンデンサ、自己整流式のX線発生装置について・・・②～⑬
  - 3) 後期は他の画像診断装置（CT、MRI、超音波）や増感紙、機器の安全管理について講義する・・・⑭～⑳

履修上の留意点 放射線機器工学を理解するには、基礎的な電気工学・電子工学・物理学を熟知していることが必要である。これらの基本的事項を予め十分に理解して学習に臨むこと。

成績評価の方法 出席状況、学内定期試験により評価。  
教科書 1) 青柳泰司 共編：『新版－放射線機器学 (I)』 コロナ社 4,935円 IBN4-339-07080-7

履修コード	156002
科目名	画像工学概論
担当者名	<small>のぐら まさる</small> 野口 勝

講義のねらい デジタル医用画像を中心とした医用画像情報技術の理論を学習する。具体的には、デジタル画像の形成、評価、処理、画像情報システム等に関する知識を身につける。技術の学習および診療放射線技師試験への対応という両面から取り組む。

講義の内容・授業スケジュール

1. フーリエ変換の基礎 (第1～3回)  
フーリエ級数展開, フーリエ変換, 畳み込み積分
2. デジタルX線画像の形成 (第4～6回)  
画像のデジタル化, 標本化定理とエリアシング, 画像のデータ量 等
3. デジタルX線画像の評価 (第7～9回)  
入出力特性, 解像特性, ノイズ特性, SN比, ROC解析 等
4. デジタルX線画像の処理 (第10～12回)  
階調処理, 空間フィルタ処理, 空間周波数フィルタ処理, しきい値処理, 画像間演算処理 等
5. 医用画像情報システム (第13～15回)

履修上の留意点

PACS, RIS, HIS, 情報システムとセキュリティ 等  
分野が多岐にわたり内容が多いので, 自習を心がけること。

成績評価の方法

2～3回の理解度確認テストと学習態度の総合点による。

教科書

桂川茂彦編 『医用画像情報学 (改訂2版)』 (南山堂), 3,300円+税, ISBN4-525-27932-X

参考書等

内田勝彦編 『デジタル放射線画像』 (オーム社), 3,800円+税, ISBN4-274-13152-1

その他

その他, 必要な資料はプリントを配布する。  
理解を深めるため, 臨機に演習を行う。

履修コード	156301
科目名	医用画像工学
担当者名	<small>くまざか</small> 熊坂 さつき

講義のねらい 医用画像診断機器では、デジタル画像が主流となりつつある。そのため、デジタル画像処理の基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. ～3. 画像基礎論/X線像の形成/画像の品質と評価/信号検出理論
4. ～6. デジタル画像論/デジタル画像の生成/デジタルラジオグラフィーの画質
7. ～9. 画像処理の基礎
10. ～13. 医用画像への応用
14. ～15. 医用画像解析/コンピュータ支援診断 CAD

履修上の留意点

あまり難しく考えないで、画像の実験実習でやった事、これからやる実験実習と関連づけながら学んでほしい。

成績評価の方法

試験および、レポート、出席状況により評価する

教科書

医用放射線科学講座14『医用画像工学』第2版 (医歯薬出版) 4900円

参考書等

必要に応じてプリントを使用する。

末松著 メカトロニクス教科書シリーズ9『画像処理工学』(コロナ社) 3000円

履修コード	155501
科目名	画像数学
担当者名	<small>しむら かずお</small> 志村 一男

講義のねらい 画像数学は画像研究の基礎となる学問、科学である。X線写真、CT、MRといった様々な医用画像の画質評価、また画像強調、データ圧縮、画像認識といった各種の画像処理は全てその基礎となる画像数学の上に成立している。本講義を通じて画像数学を理解する事により、画質評価や画像処理の本質を把握してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 画像のデジタル化における数学 (1～3)
2. 画像数学の基礎 (フーリエ解析) (4～6)
3. フィルタ処理における数学 (7～9)
4. 画質評価における数学 (10～15)

成績評価の方法

中間期末試験、学習状況、出席等により評価する。

教科書

授業内容に関するプリントを随時配布する。

参考書等

ローゼンフェルド、カク『デジタル画像処理』(近代科学社)

履修コード	156801・156901
科目名	画像検査技術学基礎実習〔実験〕
担当者名	西尾 誠示・谷口 貴久・名古 安伸・長谷川 武・吉川 達生

講義のねらい X線装置等を用い、実際に人体ファントムを撮影する。実際の検査手順と体表解剖学を踏まえた撮影手技を学び、撮影法と得られた画像の関係について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 頭部X線撮影法  
頭部ファントムを用い、頭部の撮影法を学ぶと共に、頭部の画像解剖を理解する。
  - (2) 耳鼻科領域の撮影法  
頭部ファントムを用いて副鼻腔及び聴器の撮影法を学び、画像解剖を理解する。
  - (3) 椎骨、骨盤のX線撮影法  
頸椎、腰椎骨盤ファントムを用い、頸椎、腰椎の撮影技術を習得する。
  - (4) 四肢骨の撮影法  
手関節、肘関節、膝関節、足関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
  - (5) 胸部の撮影技術と感光材料  
胸部ファントムを用い、胸部の撮影手技を学び最適な撮影条件と検出系について検討する。
  - (6) 乳腺のX線撮影 (Mammography)  
乳房用X線装置、乳房ファントムを用いて照射条件毎の画像の変化を評価する。撮影に用いる機器類、感光材料から軟線撮影の特殊性を理解する。
  - (7) 胃造影検査法  
X線TV装置の操作法を習得するとともに、造影剤とファントムを用い透視・撮影法を学ぶ。特に体位と画像評価について学ぶ。
  - (8) X線CT検査法  
X線CT装置の原理と構造を理解し、ファントムを用いた検査手技、撮像法を習得する。
  - (9) 超音波検査法  
超音波診断装置を使用し、ファントムと生体にて超音波の原理と撮像技術を学ぶ。  
授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。  
授業前にマニュアルを読み、実習内容を把握しておくこと。  
定期試験、レポート・試問について総合的に判定する。  
但し、定期試験の受験資格は全レポートの提出者のみである。
- 教科書  
参考書等  
実験・実習プリントを配布する。  
参考：稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）

専門  
教育

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書  
参考書等

履修コード	156401・156501
科目名	電気電子工学実験〔実験〕
担当者名	青木 清・金子 順一・川副 護・吉田 正廣

講義のねらい 各種医療機器の動作を理解しようとするとき、電気工学や電子工学の知識は不可欠のものである。これらの知識は、実際に素子や回路を動作させるという体験により、しっかりと定着する。本実験では、電気・電子工学分野の各種回路を自分達で組み立て、特性を測定する。これにより、素子や回路の動作の実際を体得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 少人数の班に分かれ、以下のように実験を行う。実験テーマの順序は班により異なる。
- (1~3) 実験の目的と内容の解説、実験の実施に関する説明（班分け、実験順序、注意事項）、レポート作成上の注意
  - (4) 電磁誘導回路（自己誘導、相互誘導、変圧器）
  - (5) コンデンサの充放電（過渡特性、時定数）
  - (6) RC直列回路（交流の位相、微分回路、積分回路）
  - (7) 直列共振（RLC回路、Q）
  - (8) 並列共振（RLC回路、Q）
  - (9) 半導体素子（ダイオード、サイリスタ、トランジスタ）
  - (10) 集積回路（演算増幅器、論理回路）
  - (11) 整流回路（半波整流、全波整流、平滑回路）
  - (12) ツェナーダイオードによる定電圧回路（ツェナー電圧、定電圧特性）
  - (13) 三相12ピーク整流回路（三角結線、星形結線、リップル百分率）
  - (14、15) レポート指導

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要となるグラフ用紙や電卓などを用意しておく。また、電気工学や電子工学や放射線機器工学等での学修内容を関連づけながら実験を進めること。

成績評価の方法  
教科書

実験の実施状況、実験レポート、試験により評価する。  
『電気電子工学実験』（ガイダンスのときに配布）

履修コード	156601・156701
科目名	放射線機器工学実験〔実験〕
担当者名	奥山 康男・瀬尾 育式・羽生 毅

講義のねらい	「放射線機器工学」の講義で学習する理論を実験にて検証・理解させることを目的に、あわせて各放射線機器や装置の取扱法を習熟させることを目標としている。実験は7～8名を1班として構成し、少人数化によるフットワークの良い実験遂行を行う。
講義の内容・授業スケジュール	本実験は以下に記す6課題を全学期（前期3回，後期3回）に行います。スケジュールは「実験ガイドダンス」を2回実施したあと、各テーマに添った実験を班ごと（1班あたり7名程度）で行います（前期1～3，後期4～6）。 1) X線管焦点寸法の測定 2) X線管電圧，X線管電流の測定 3) 眼底カメラによる眼底写真撮影 4) 撮影時間の測定，X線CT装置等によるファントム測定 5) MRI装置と超音波診断装置の基礎実験 6) インバータ式X線装置の特性
履修上の留意点	実験は、結果の修得のみを目的として行うものではなく、あくまでも関連する理論の学習を助け、より確実な知識の習得を図る目的で設置された科目である。従って、実験中は既に学習済みの内容確認、理論との間に生じる問題点などの把握に心掛ける。報告書（レポート）の作成にあたっては所定の書き方によるのは当然であるが、書かれている内容を理解することが最も重要であることを認識する。なお、レポート内容が乏しい場合にはレポートの再提出を求める。
成績評価の方法	実験態度，報告書，試問，定期試験などの結果によって総合評価する。
教科書	配布プリントを使用する。
参考書等	放射線機器工学で使用する教科書等
その他	実験科目の単位取得には所定のテーマを全て終了することが必要で、やむ負えない理由で欠席した場合は追実験等を受けなければならない。

履修コード	158301
科目名	画像解剖学
担当者名	嶋田 守男

講義のねらい	単純X線撮影、CT、超音波画像、MRIなど各種の医用画像診断の根底にあるのは正常画像解剖の知識であり、適切な検査を行うためにはこの点に関する正確な理解が要求される。既に習得した人体解剖学の基礎の上に臨床的に特に重要な領域の画像解剖学についての講義を行う。
講義の内容・授業スケジュール	基礎となる解剖学を新たに画像診断（単純X線撮影、CT、超音波画像、MRIなど）の角度からながめて要点を再確認しつつ、スライドで供覧する画像所見との対比を行う。対象領域は下記の領域である。 (1-3) 頭部 (4-6) 胸部 (7-9) 腹部 (10-12) 骨盤腔 (13-15) 四肢に分けて系統的に学習する。
履修上の留意点	必要に応じて解剖学の講義で使用したプリントをよく復習すること。
成績評価の方法	講義時間内のテスト
教科書	使用しない。必要なプリントを配布する。

履修コード	159401
科目名	画像診断技術学I
担当者名	<small>しまだ もりお</small> 嶋田 守男

講義のねらい	放射線診療で利用されている画像診断法（主としてX線コンピュータ断層撮影（CT）や磁気共鳴画像法（MRI）、超音波検査など）の原理について習熟し、各モダリティの代表的な画像情報処理法を理解する。各種画像から得られる情報を総合的に診断する方法について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1、2) 放射線科が扱う検査（X線撮影、X線CT、PET-CT、超音波検査）</li> <li>(3、4) 画像診断に必要な解剖知識</li> <li>(5、6) 磁気共鳴画像法（MRI）の撮像原理と画像診断法</li> <li>(7、8) 磁気共鳴画像法（MRI）によるアーチファクト</li> <li>(9、10) 磁気共鳴血管撮像法（MRA）の撮像原理と診断法</li> <li>(11) 磁気共鳴画像法（MRI）に使用する造影剤と有効性と安全性</li> <li>(12、13) 超音波検査（US）のアーチファクトと診断法</li> <li>(14) 超音波検査（US）に使用する造影剤の有効性と安全性</li> <li>(15) 総合画像診断の実際に分けて系統的に学習する。</li> </ul>
履修上の留意点	画像解剖の基礎知識を復習しておく。そして各種画像診断法の画像を学修しながら実践に用いることができるようにする。
成績評価の方法	授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。
教科書	使用しない。プリントを配布する。

履修コード	158401
科目名	放射線医学概論
担当者名	<small>しまだ もりお</small> 嶋田 守男

講義のねらい	既に学んだ人体解剖学および人体病理学の基礎の上に、放射線診断が臨床医学の中で占める役割について時代をおって現在にいたるまで理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	放射線医学のはじまりと発展の歴史、放射線診断学の現況を解説すると共に、主要疾患につき診断手法の適応と選択、診断能とその限界について講義をすすめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 放射線医学のはじまりと発展の歴史</li> <li>(2-6) 放射線診断学の現況</li> <li>(7-15) 主要疾患につき診断手法の適応と選択、診断能とその限界に分けて系統的に学習する。</li> </ul>
履修上の留意点	既習の科目と関連する部分は各自必要に応じて復習しておくこと。
成績評価の方法	講義時間内のテスト。
教科書	使用しない。必要なプリントを配布する。

履修コード	159201
科目名	医学英語
担当者名	<small>よしかわ こうき</small> 吉川 宏起

講義のねらい	医学領域では診療情報の伝達に英語が頻繁に用いられている。また英語圏におけるインターネットのホームページから得られる医学知識は膨大である。このように医療チームの一員として活躍する診療放射線技師にとって英語学習は必要不可欠なものとなっている。本講義では臨床の場に役立つ基本的な単語および診療録の慣用句を中心に学び、診療の場で実践に役立つ医学英語の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1、2) 医学英語の特徴、体の部位や方向に関する用語</li> <li>(3、4) ヒトの体の器官1：体表（外皮）、筋骨格系、呼吸器系</li> <li>(5-7) ヒトの体の器官2：循環器系（血管、リンパ管）</li> <li>(8-10) ヒトの体の器官3：消化器系、泌尿器系</li> <li>(11、12) ヒトの体の器官4：内分泌器系</li> <li>(13、14) ヒトの体の器官5：神経系</li> <li>(15) 放射線診療で用いられる医学用語</li> </ul>
履修上の留意点	基本的な医学英語を修得し、インターネット上での教育システムの活用を行う習慣をつける。
成績評価の方法	授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。
教科書	使用しない。プリントを配布する。

履修コード	159501
科目名	医用検査学
担当者名	名古 安伸

講義のねらい	ヒトの病気を知るためには、まず生体レベルでどのような異常が起こっているのかを理解することが重要である。しかし、外から観察しているだけでは病態を理解することはできず、治療に結びつけることはできない。そこで、病気の原因を画像診断（ここではMRIと超音波検査を主とする）にて捉え、生体情報解析及び工学的な基礎技術について言及する。
講義の内容・授業スケジュール	生態における様々な生命現象を体表から電気信号として誘導・測定し、これらの情報をデジタル化して視覚化する方法や画像の処理・解析法および疾患に特化した臨床診断などを用いて学習する。 (1) 半期⑮回の授業スケジュール①。(2) MRIの復習編としてMRIの原理②～⑤。(3) MRIの基本的撮像法と臨床応用⑥～⑩。(4) 超音波診断装置の計測原理と応用⑬～⑮について学ぶ。
履修上の留意点	ここまで学習して来た画像診断装置の基本原理解、診療画像技術学及び人体解剖学の基礎知識を復習しておくこと。
成績評価の方法 教科書	定期試験の結果および出席状況により評価。 必要によりプリントを配布する。

履修コード	158801
科目名	診療画像情報学I
担当者名	西尾 誠示

講義のねらい	造影剤を用いた検査と画像を主体に講義を行う。学生は実際の検査手技と臨床画像の評価方法を習得すること、更に最低限正常像について解説できることが望ましい。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 概論</li> <li>(2) 胸部単純像とCT像の評価</li> <li>(3) 乳腺検査の現状と画像評価</li> <li>(4) 下咽頭・食道の画像検査と画像評価</li> <li>(5) 上部消化管造影の技術と画像評価</li> <li>(6) 腹部実質臓器の検査とCT画像</li> <li>(7) 泌尿器の画像検査について</li> <li>(8) 下部消化管造影技術と画像</li> <li>(9) 心・大血管の検査と画像</li> <li>(10) 冠状動脈の検査と画像</li> <li>(11) 腹部血管の検査と画像</li> <li>(12) 頭部血管造影検査と画像</li> <li>(13) CT検査技術と画像評価</li> </ul>
履修上の留意点	Power Point を用い主に撮像技術と臨床画像について解説する。履修者は生体解剖と対比しながら画像を評価することが望まれる。
成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	授業内で行う中間試験および年度末の定期試験の結果を基準にする。 稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円 講義用CDおよびプリント 授業は講義形式であるが、内容により質問あるいは意見を求める。

履修コード	158501
科目名	画像診断機器工学
担当者名	瀬尾 育式

**講義のねらい** MRI（磁気共鳴イメージング装置）と超音波診断装置について講義する。  
その他、X線CT装置についてもその概要を講義する。

**講義の内容・授業スケジュール** 1. ～3. 核磁気共鳴（MRI）の物理的原理 4. MR画像形成法とパルスシーケンス 5. MRアンギオ 6. MR装置の機器構成 7. MRIの諸特性 8. 超音波診断装置概説 9. 超音波の物理的基礎 10. 超音波診断装置 機器 11. 分解能とS/N 12. アーチファクト 13. 超音波検査の概要（循環器、腹部、体表、産科）14. 超音波の最新動向

**履修上の留意点** 学修の内容が多いので、良く復習してください。

**成績評価の方法** 学期末試験、授業内での中間テスト、および、出席状況により評価する。

**教科書** ・日本放射線技術学会監修 放射線技術シリーズ『MR撮像技術学』（株）オーム社 4900円  
・佐々木博 著 『医用超音波論』 国際医療福祉大 1000円  
・必要に応じて教材用プリントを使用する。

**参考書等** ・木村雄治著 『画像診断装置入門』 コロナ社 3000円  
・高原太郎著 『MRI自由自在』 メジカルビュー 7000円  
・伊藤・望月著 『超音波診断装置』 コロナ社 2800円  
・千原著 『日本エム・イー学会編/ME教科書シリーズ 超音波』 コロナ社 2700円  
・佐久間・桑島著 『よくわかる超音波検査入門講座』 永井書店 9240円

履修コード	159601
科目名	救急医療学
担当者名	奥山 康男

**講義のねらい** 救急医療は、救急車内で行う病院前救護（プレホスピタルケア）及び医療機関の両者が一体となつてはじめて成立するものである。総合的かつ広範な医学知識や技術、そして十分な臨床経験が必要である救急医療において、診療放射線技師として実際の臨床現場で備えておかなければならない検査手技等の基礎を学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール** 1) 半期⑮回の授業スケジュール・・・①  
2) 救急医療学の概略と心構え・・・②～③  
3) 救急医療における検査方法と手技、画像の読み方について・・・④～⑭  
4) 患者等の救急対応として実技を兼ねた上級救命講習を世田谷消防署の協力で開催を予定・・・⑮  
※消防署に支払う受講料（平成20年7月現在において¥2,600）は、受講時に別途発生する。

**履修上の留意点** 救急医療は一刻を争う処置が必要なこともあるため、放射線科領域の検査を担う診療放射線技師の技術と判断力は患者さんの生命に何らかの形で関与するものである。目の前の問題を迅速に処理するための実践的な講義とチーム医療の意義を考えることを目的とした上級救命講習を本科目では取り入れている。

**成績評価の方法** 出席状況、学内定期試験により評価。

**教科書** 必要によりプリントを配布する。

履修コード	159701
科目名	臨床医療人間学I
担当者名	名古 安伸

**講義のねらい** 医療現場で発生する倫理的諸問題すなわち生命倫理について学び、生命倫理を広く人間科学や人間工学の立場から考察する。特に、病に対して鋭敏な不安を抱く患者や家族への対応（言語、仕草、思いやり）を医療人の視点で学習する。

**講義の内容・授業スケジュール** （1）半期⑮回の授業スケジュール①。（2）心理学の立場から患者や家族の行動を理解する②～⑩。（3）疼痛、ターミナルケア、尊厳死と安楽死など⑪～⑬。（4）生命と医療の原点を考える⑭～⑮。

**履修上の留意点** 生命倫理学とは、「患者との人間関係において、私はいかに振る舞うべきか」を考える哲学の学問です。生命が脅かされた時や恐怖感から脱出したい時などに発生する「神様・仏様」。病院にいてこの言葉がたくさん聞こえて来ます。駒澤大学で学習する「宗教学や禅の心」と「医療」との結びつきを考えておくこと。

**成績評価の方法** レポート提出、定期試験の結果および出席状況により評価。

**教科書** 必要によりプリントを配布する。

履修コード	158901
科目名	核医学
担当者名	おくやま やすお 奥山 康男

講義のねらい

核医学検査の多くは放射性医薬品を利用して人体臓器の様々な機能と代謝を最新技術の核医学検査機器にて画像化及び定量数値化し、疾病診断のために付加価値情報を提供する重要な検査である。これらの検査法は、測定の対象に従って生体の測定（患者検査）及び医学試料の測定（血液・糞尿など）に大別され、使用する放射性医薬品も生体内に投与するもの（インビボ法）、投与しないもの（インビトロ法）の2種類となる。核医学検査法に関する放射性医薬品や試薬キット類、検査機器、検査手技などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 核医学の基礎知識：核医学の歴史や安全管理・・・①～②
- 2) 放射性医薬品：インビボ診断用放射性医薬品、インビボ診断用放射性医薬品・・・③～⑤
- 3) 核医学機器：シンチカメラ、SPECT (SPECT/CT) 装置、PET (PET/CT) 装置・・・⑥～⑨
- 4) 核医学検査（ビボ）：脳神経系、内分泌系、呼吸器系、循環器系、消化器系、泌尿器系、カルシウム系、血液・造血臓器系、腫瘍・炎症、PET・・・⑩～⑳  
（ビトロ）：検査の概要・基礎・原理流れ、測定試料評価、基準値
- 5) 核医学治療：治療の概要、甲状腺、骨転移の除痛療法・・・㉑～㉓

履修上の留意点

4年次の病院実習では、核医学検査技術学が50%を占めているので相互理解を深めるように努めること。

成績評価の方法

中間試験、定期試験の結果、出席状況、授業への取り組み方。

教科書

『核医学検査技術学』（オーム社） 5,775円 ISBN4-274-13246-3

参考書等

『核医学ノート』（金原出版） 4,725円

履修コード	158701
科目名	応用計測学
担当者名	おがわ まさお 小川 雅生

講義のねらい

2年次における放射線計測学を基礎として、中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出器系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについての基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1回 中性子の特殊性、ベータ崩壊
- 2-3回 原子核反応、結合エネルギー、反応断面積
- 4回 中性子による原子核反応、1/v 法則、中性子検出の原理
- 5-6回 低速中性子の検出、He3 計数管、BF<sub>3</sub>計数管
- 7回 比例計数管の仕組み、ガス増幅
- 8回 高速中性子の検出、中性子の減速、ロングカウンター
- 9回 中性子の発生、中性子の利用
- 10回 波高分析、信号処理、同時計測
- 11-12回 荷電粒子の計測、阻止能、飛程、ブラッグピーク
- 13-14回 光子の計測、コンプトン端、吸収端、原子物理
- 15回 高速現象の計測、高計数率の計測

履修上の留意点

授業において不明な点があれば質問すること。講義が分かりにくい場合は、その旨を主張すること。

成績評価の方法

定期試験の他、講義中に行う小試験および出席状況により評価する。

教科書

使用しない

履修コード	159001
科目名	放射線腫瘍学
担当者名	たかやま まこと 高山 誠

講義のねらい

癌治療における放射線治療の役割や意義を中心とした放射線治療概論について講ずる。放射線の人体に対する影響などの放射線治療の基礎となる放射線生物学や実際の臨床に用いられる放射線治療機器の特性、使用方法について解説を行う。放射線治療を行う際の放射線治療計画、線量分布や照射方法（外部照射、密封小線源治療等）の総論的項目について考える。

また、医療技術の進展の中で、特に放射線治療の技術的な動向についても取り上げる。

新しい治療方法である定位放射線治療や強度変調照射（IMRT）の現況、応用に関する技術的問題点など、その方向と展開に注目する。

- （1）放射線治療概要、（2～3）放射線障害学、（4～5）放射線生物学、（6～7）放射線治療機器、（8～10）密封小線源治療、（11～13）3次元照射、（14）全身照射、（15）血液照射

授業出席、受講態度などと定期試験による。

講義の内容・授業スケジュール

成績評価の方法

教科書

村上晃一 著 「放射線治療技術」

立入 弘 監修 「診療放射線技術」下巻 改訂第5版



履修コード	158601
科目名	応用機器工学
担当者名	名古 安伸 <small>なご やすのぶ</small>

講義のねらい

近年、放射線治療は侵襲性が低く臓器の形態・機能温存に優れていることから注目を集め、なかでも高エネルギーX線・電子線・粒子線及び高精度放射線治療装置などの治療機器の進歩は著しいものがあります。

また、放射性同位元素で標識された薬剤を患者さんに投与して行われる核医学検査もSPECT/CT装置やPET/CT装置の開発によって、目覚ましい発展を遂げています。これらの背景を基に、応用機器工学では加速器を中心とした放射線治療機器とSPECT・PET/CT装置を中心とした核医学診断機器について講義します。

講義の内容・授業スケジュール

核医学診断装置並びに放射線治療機器（主に加速器）について学習します。（1）半期⑮回の授業スケジュール①。（2）核医学検査装置の変遷と核医学診断装置の概要②～⑤。（3）SPECT・PET/CT装置の原理。（4）放射線治療機器の変遷と放射線治療機器の概要⑥～⑩。（5）加速器とその応用⑪～⑭について学びます。

履修上の留意点

放射線計測学、放射線物理学、原子核物理学などで学習して来た、シンチレーション検出器やガンマ線放出核種、放射線計測回路、加速器などに関連のある項目は予め予習しておいて下さい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

定期試験の結果および出席状況により評価。  
『診療放射線技術』下巻（南江堂）7,140円  
※放射線腫瘍学や核医学で使用する教科書等を活用して下さい。

履修コード	159801
科目名	画像工学I
担当者名	瀬尾 育武 <small>せお やすつぐ</small>

講義のねらい

医用画像形成システムに使用されている画像データ処理に関する基礎理論の学習と演習をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

1. ～3. Fourier 級数、Fourier 変換の演習（2年生の復習）
4. ～6. Fourier 解析による画質の解析と評価
7. ～8. デルタ関数の Fourier 変換
9. ～10. サンプリング定理
11. ～13. Fourier 変換の応用（線形システム、通信）

履修上の留意点

理解を深めるための補足資料を配布します。よく復習して下さい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

中間試験と学期末試験の総合点。  
岡部哲夫、藤田広志編集『医用画像工学（第2版）』（医薬出版）4,900円  
谷口慶治編『画像処理工学』（共立出版）3,800円  
演習を多くおこないます。欠席しないように。

履修コード	159901
科目名	画像工学II
担当者名	瀬尾 育武 <small>せお やすつぐ</small>

講義のねらい

「画像工学I」で学習した基礎理論をもとに、実際に医療現場で実用されている画像形成システムの具体的構成要素について、理論的にその内容を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. ～2. 定常ランダム信号の解析
3. ～5. 画像データの離散化と Fourier 変換
6. ～7. 画像データの直交変換
8. ～9. Fourier 変換から Wavelet 変換へ
10. ～11. デジタル画像の生成
12. ～14. デジタルラジオグラフィの画質

履修上の留意点

学習内容が多いので、良く復習して下さい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

レポート及び学期末試験の総合点  
岡部哲夫、藤田広志編『医用画像工学（第2版）』（医薬出版）3,800円  
岡部哲夫、瓜谷富三編『放射線診断機器工学（第2版）』（医薬出版）5,000円

履修コード	159301
科目名	画像処理言語論
担当者名	近藤 啓介

講義のねらい	医療現場においてデジタル化された画像は、画像処理をしてから医師により読影されている。画像処理には様々な方法があり、研究・開発が盛んに行われている。医師の望む画像を作成するためには画像処理の仕組みを理解する必要があり、そのためにはコンピュータの中でどのように処理されているかを理解する必要がある。
講義の内容・授業スケジュール	この授業では「計算機言語論」で習得したC言語を利用して、実際の医用画像に対して基本的な画像処理プログラムを作成する。そして、画像処理がコンピュータの中でどのように処理されているのかを自らプログラミングすることにより理解する。 (1)ガイダンス・プログラミングの考え方 (2)画像のデジタル化 (3)医用画像の構成・DICOMとは (4)平滑化フィルタ (5)ラプラシアンフィルタ・メディアンフィルタ (6)医療画像の表示 (7)Big Endian と Little Endian ・白黒反転 (8～15)画像処理プログラムの実習
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書	演習形式で行うので、積極的に受講すること。 出席状況・レポート・試験により評価する。 近藤啓介・田畑慶人・笠井俊文著、オーム社、『医療画像処理実践テキスト』、4,200円 ISBN4-274-19744-1

履修コード	158101
科目名	放射線関係法規
担当者名	青木 清

講義のねらい	放射線を取り扱うにあたっては関連する法令を理解しておくことが必須である。診療放射線技師の業務に関する法令は診療放射線技師法、医療用の装置や放射性同位元素に関する法令は医療法、医薬品を除く放射性同位元素や加速器に関する法令は放射線障害防止法、放射線関連業務従事者の安全に関する法令は電離放射線障害防止規則である。本講義ではこれらの法令の内容と関連性を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	(1)放射線関係法令理解のための基礎事項(用語、放射線防護の考え方、法体系、条文構成) (2)医療用放射線に関する法令 (3、4) 診療放射線技師法 (5～7) 医療法施行規則(届出、装置の防護) (8～11) 医療法施行規則(診療室の構造設備、管理者の義務) (12～14) 放射線障害防止法 (15) 電離放射線障害防止規則
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書	基本的事項を確実に把握するよう心がけてほしい。 定期試験ならびに出席状況により評価する。 富樫・鈴木・西谷編、放射線技術学シリーズ『放射線安全管理学』(オーム社) 5,145円 ISBN4-274-20128-7
参考書等	『医療放射線防護関係法令集』(日本アイソトープ協会)

履修コード	159101
科目名	放射線管理学
担当者名	青木 清 <small>あおき さとし</small>

**講義のねらい** 放射線の利用においては、不必要な被ばくが生じないように、適切で安全な状況を作り上げ維持することが重要である。そのための基本的な理念と指針を与えているのが「国際放射線防護委員会 (ICRP) の勧告」である。本講義ではこの勧告の概要について学ぶとともに、それを実践するために必要となる計測技術や、放射性物質の取り扱い方について学修する。さらに、医療の場において大切となる患者防護についても考える。

**講義の内容・授業スケジュール** (1、2) 放射線管理の基本 (放射線防護体系、放射線被ばくの現状) (3、4) 放射線の防護 (外部被ばく防護、内部被ばく防護) (5~7) 施設の管理 (X線診療室、密封RI使用施設、非密封RI使用施設) (8~10) 環境の管理 (空間放射線の量、RI濃度、表面汚染密度) (11~13) 個人の管理 (外部被ばく、内部被ばく) (14) 放射性廃棄物 (15) 医療被ばく (X線検査、核医学検査)

**履修上の留意点** 放射線関係法規で学習した内容と関連づけて理解するよう心がけてほしい。

**成績評価の方法** 定期試験ならびに出席状況により評価する。

**教科書** 富樫・鈴木・西谷編、放射線技術学シリーズ『放射線安全管理学』(オーム社) 5,145円 ISBN4-274-20128-7

**参考書等** 『ICRP Publication60 国際放射線防護委員会の1990年勧告』(日本アイソトープ協会)

履修コード	160001
科目名	技術英語
担当者名	高橋 優身 <small>たかはし まさみ</small>

**講義のねらい** 放射線技師のための「専門英語」を習得することがこの科目の目標であるが、開講が半期のため、「信頼される」放射線技師であるための必須条件に絞って、関連の「専門英語」を習得する。

**講義の内容・授業スケジュール**  
 1~2回 Want to Be an R.T. ?  
 3~5回 ASRT Code of Ethics  
 6~8回 Practice Standards  
 9~11回 Radiography Clinical Performance Standards  
 12~13回 Quality Performance Standards  
 14~15回 Professional Performance Standards

**履修上の留意点** 規定の出席率を越えた学生のみ試験受験資格を有する。予習が必要であろう。授業時の活発な発言を期待する。

**成績評価の方法** 学期末試験を基本に評価します。出席状況も考慮します。

**教科書** プリント配布。

**参考書等** 授業時に指示。

**その他** 演習形式で行うので、学生主体の授業である。

履修コード	160301・160401
科目名	画像工学実験〔実験〕
担当者名	野口 勝・飯田 幸雄・近藤 啓介・瀬尾 育武・古川 克治・俣野 公志

講義のねらい

画像診断分野は急速にデジタル化が進み、画像処理の知識や技術が大変重要になってきている。本実験では、デジタル画像処理とはどのようなものか、また画像処理が読影に如何に有効であるかにつき、CR画像形成システムや画像解析装置、超音波画像形成システムを使用して体験学習する。

講義の内容・授業スケジュール

<前期>

テーマは大きく2つに分かれている。テーマごとに2週間にわたって実験し、レポートをまとめて提出する。

1. 画像診断の原点であるアナログのX線画像と、デジタルのX線画像の画質解析
  - (1)胸部ファントム画像の撮影と視覚評価
  - (2)アナログのRMS粒状度, Wiener Spectrum, MTF等による物理評価
  - (3)画像処理と画質の関係の把握 (物理評価, 視覚評価)
2. CR画像形成システムの画像データの処理と特性解析
  - (1)CRシステムによる画像データの取得と画像処理操作
  - (2)デジタル特性曲線の作成
  - (3)デジタルRMS, Wiener Spectrum, MTF, NEQ等の測定

<後期>

基本的な画像処理である4テーマの実験を行う。各テーマを1週の実験で終了し、レポートをまとめて提出する。

1. CRシステムのEDRおよび画像処理
2. ポケマスクによる周波数処理
3. 医用画像のフィルタ処理
4. 超音波診断システムの画像特性

履修上の留意点

2年次の「画像工学概論」で学習した理論を確実な知識とするための実験科目である。事前に教科書を復習しておくこと。

よりよい画質の医療画像を作り出すため、物理評価はそのための手段として、視覚評価は人間による判断として大変重要である。実験では撮影した画像と物理測定データをよく比較対照し、内容のあるレポートにまとめて欲しい。検討・考察が不十分なレポートは再提出を求める。

レポート、定期試験、実験中の態度などを総合評価する。

プリントを配布する。

桂川茂彦編『医用画像情報学(改訂2版)』(南山堂), 3,300円+税, ISBN4-525-27932-X  
単位取得には、所定の実験テーマを全て実施し、レポート及び試験に合格する必要がある。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

履修コード	160101・160201
科目名	放射線治療技術学実験〔実験〕
担当者名	佐藤 昌憲・飯田 幸雄・五十嵐 太郎・小川 雅生・高城 保・羽生 毅

講義のねらい 放射能の測定手順・放射能測定計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定のご概念と実側技術の基礎を把握する。

講義の内容・授業スケジュール 主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。

1) 吸収線量の測定。

高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここでは Co60 線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合わせによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。Co60 線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用法・線源-ファントム-電離箱の幾何学的位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。

2) フィルムによる放射線場の測定。

計測器としてのフィルムは実時間（リアルタイム）応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここでは Co60 線源を使用し、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。

3) 半導体検出器による $\alpha$ 線の測定。

表面障壁型半導体検出器を使用して $\alpha$ 線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集積率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。

4) GM計数管による線源の $\beta$ 壊変率測定。

GM計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。

実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。

実験レポート、実験実施状況、随時おこなう中間テストなどにより評価する。

日本医学物理学会編『外部放射線治療における吸収線量の標準測定法』（発行通商産業研究社）

成績評価の方法  
教科書

履修コード	160501・160601
科目名	放射線管理理学実験〔実験〕
担当者名	青木 清・大西 孝明・金子 順一・高橋 忍・永井 喜則

講義のねらい エックス線撮影において患者被曝線量を把握しておくことは大切なことである。また、撮影状況によっては術者または患者周辺の人が被曝する場合もある。このような場合の被曝線量も知っておかなくてはならない。本実験では直接X線ならびに散乱線によってどの程度の被曝を受けるか測定し、被曝低減の方策について考える。併せて、放射線管理業務上重要であるX線の線質管理と、コンピュータによるデータ収集及び機器制御について実験する。

講義の内容・授業スケジュール 少人数の班に分かれ、以下の実験を行う。実験テーマの順序は班により異なる。

(1~3) 実験内容の解説、実験の実施に関する説明(班分け、実験順序、注意事項)、レポート作成上の注意 (4、5) 腹部・胸部撮影における被曝管理(入射表面線量の測定と評価) (6、7) CT検査における被曝管理(CTDIとMSADの測定と評価) (8、9) 乳房撮影における被曝管理(ACRの方法による平均乳腺線量の測定と評価) (10、11) 病室撮影における被曝管理(移動型X線撮影装置による腹部・胸部撮影時の患者と術者の被曝線量) (12、13) 診断用X線の線質管理(半導体検出器によるスペクトル測定) (14) コンピュータによるデータ収集(アナログ電圧の読み込みとリアルタイムでのグラフ表示) (15) コンピュータによる機器制御(デジタル信号の入出力と温度制御)

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要となるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。また、放射線管理理学、放射線計測学、診療画像技術学等での学修内容と関連づけながら実験を進めること。

成績評価の方法  
教科書

実験の実施状況、実験レポート、試験により評価する。

プリントを配布する。

履修コード	160701・160801
科目名	核医学検査技術学基礎実習〔実験〕
担当者名	山本 裕石・奥山 康男・金子 順一・外山 真理・原田 和正
講義のねらい	主として核医学検査技術学、放射化学領域における実験を行う。本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」、3年時に学ぶ「核医学」での知識を基に、ガンマカメラ、核医学領域における非密封放射性同位元素の取扱い、放射線計測の基礎についての実験をおこなう。
講義の内容・授業スケジュール	以下のテーマについて、各自定められた日程に従い実験を行う。 (1)ガンマカメラの性能評価：均一性、分解能、直線性などの基本性能試験、(2)ガンマカメラの各種撮像法：静止画像、全身画像、SPECT画像の撮像、(3～5)非密封放射性同位元素取扱い法の基礎（ホットランは学外実習として行う）、(6)マイクロピペットの検定：重量法、吸光度法、(7,8)フリック線量計による吸収線量の測定：線量計の調製、線量測定、(9)ポジトロン同時計数測定：PETの基本実験としてポジトロン放出核種を用いた同時計数測定、(10)マルチチャンネル計測法：マルチチャンネル波高分析器を使用しての未知核種のガンマ線スペクトル測定とその同定、(11～15)レポート指導・試問
履修上の留意点	非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面ももっている。従って、実験に対する準備を十分におこない、事前に実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱う放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。
成績評価の方法	平常点、実験レポート、試問、試験により評価する。
教科書	実験プリント
参考書等	日本アイソトープ協会編 『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会） 1,680円

履修コード	160901
科目名	画像検査技術学実習〔病院実習〕
担当者名	嶋田 守男・飯田 幸雄・名古 安伸・西尾 誠示
講義のねらい	これまでの講義および実験で習得した莫大な放射線および一般臨床医学知識をもとに、実際の医療の現場で放射線診療の流れを学習し、診療放射線技師の役割を実地で詳細に入念に理解すると共に今後の学習に参考とすべき点を学ぶ。実習に先立って担当教員と臨床実習病院指導者等から必要事項のガイダンスを受ける。
講義の内容・授業スケジュール	(1)病院実習の目的、実習手続上必要な書類と記入方法 (2)実習病院の組織、機能、施設についての説明 (3)患者接遇など病院内で実習する上の心得 (4)分野別の実習 a. 一般撮影 b. 消化管撮影 c. 血管造影 d. X線CT e. MRI f. 救急医療での撮影
履修上の留意点	病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格を取得するための必須科目となっている
成績評価の方法	実習病院からの実習成績評価報告書と学生の提出する実習報告書による。

履修コード	163701
科目名	画像診断技術学II
担当者名	吉川 宏起

**講義のねらい** 診療放射線医学で扱う種々の画像診断モダリティにおける正常像と代表的疾患の異常像ならびに装置特有のアーチファクトについて学び、各疾患ごとの効率的な検査の進め方をマスターしていく。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (1-3) 中枢神経系における代表的疾患
- (4、5) 頭頸部における代表的疾患の検査法
- (6、7) 呼吸器系における代表的疾患の検査法
- (8-10) 消化器系における代表的疾患の検査法
- (11、12) 泌尿生殖器系における代表的疾患の検査法
- (13-15) 四肢関節系における代表的疾患の検査法

**履修上の留意点** 画像診断モダリティの種類と特徴、それぞれの画像法の原理について復習しておく。各臓器別、疾患別の各種画像診断法の効率的かつ有効な応用法の学修を目指す。

**成績評価の方法** 出席率と小テスト、定期的筆記試験。

**教科書** 使用しない。プリントを配布する。

**参考書等** 笠井俊文・小川敬壽共編『診療画像機器学』(オーム社) 5,400円

履修コード	162201
科目名	線量計測工学
担当者名	小川 雅生

**講義のねらい** 放射線計測に線量計測と呼ばれる分野がある。これは放射線量の定められた単位系に基づいて、その線量概念にしたがい測定する放射線計測領域である。測定結果は線量単位で表されるので、エネルギー分布などの物理測定とは異なる領域となっている。線量計測を行うには先ずその基礎となる線量単位を理解する必要がある。ここでは線量計測を念頭においた単位系の理解を主とし、診療の場で主要な線量計測用の電離箱型検出器について学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1回 線量計測の必要性
- 2回 フルエンス、エネルギーフルエンス、放射エネルギー
- 3回 減弱係数、質量エネルギー吸収係数
- 4回 阻止能、エネルギー付与
- 5回 カーマ、空気カーマ
- 6-7回 照射線量、吸収線量
- 8回 荷電粒子平衡
- 9回 ブラッグ・グレイの空洞理論
- 10回 相互の関係(カーマ、照射線量、吸収線量)
- 11回 電離箱の構造と動作原理
- 12回 化学線量計
- 13回 電子線照射の線量計測
- 14回 ペンシルビームX線の線量計測
- 15回 実効線量、線質係数、放射線荷重係数

**履修上の留意点** 線量計測についての理解を深めるためには、各線量単位を、各線量単位相互間の関係も含めて把握することが基本である。

**成績評価の方法** 定期試験の他、中間試験および出席状況により評価する。

**教科書** 使用しない

履修コード	163801
科目名	診療画像情報学II
担当者名	西尾 誠示

**講義のねらい** ここでは実際の臨床写真を用いて生体と画像の因果関係を中心に、撮像技術および画像の品質管理も含めて講義する。診療技術科学コースの学生は最低限正常例について理解し、自ら解説できる能力を身につけたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (1) 概論
- (2) 画像に影響を及ぼす因子と画質の評価尺度
- (3) 胸部単純像の画像評価
- (4) 腹部領域における画像評価。
- (5) 乳腺X線画像の評価。乳腺画像の品質管理。
- (6) 頭部単純像の画像評価
- (7) 消化管造影像の評価
- (8) 椎骨の画像評価
- (9) 四肢骨の画像評価
- (10) 心・大血管の検査と画像評価
- (11) 腹部CT検査と画像評価
- (12) 頭部血管像の画像評価
- (13) 胸部CT像の画像評価・単純象との対比
- (14) 頭部CT像の画像評価

**履修上の留意点** 医療画像の画質の評価が出来るようになること。  
正常な症例について解説できるようになること。  
典型的な症例について理解できるようになること。

**成績評価の方法** 平常点および、定期試験の結果を基に評価する。  
**教科書** 放射線画像医学（医歯薬出版）3,800円  
**参考書等** 講義用CDおよびプリント

履修コード	163901
科目名	臨床医療人間学II
担当者名	奥山 康男

**講義のねらい** 医療の特殊性を理解し病院実習および就職後社会人として対応可能な人間性を身につける。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1) 4年次前期に行う病院実習の諸手続き，注意事項，実際に病院で業務している内容等について講義する。
- 2) 現在の医療情勢を踏まえ，医療現場での診療放射線技師の立場や役割，将来構想について講義する。

**履修上の留意点** 病院実習中は言葉遣いやマナー，服装，髪型，化粧など，医療人としての常識が要求されるのでこれらについても身につけるように努めること。

**成績評価の方法** 出席状況，小論文，授業の取り組み方で評価する。  
**教科書** 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	163401
科目名	放射線治療技術学
担当者名	高山 誠

**講義のねらい** 各領域の疾患別について放射線治療の各論的項目を講ずる。

診療放射線技師として認識していなければならない各領域の放射線治療の対象となる代表的疾患について講義を行い、放射線治療を行う際の治療計画や照射方法について実際の症例を提示して解説を行う。

また、各領域における最新の放射線治療の技術的な動向についても取り上げる。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～2) 脳腫瘍の放射線治療、(3～6) 頭頸部領域の放射線治療、(7～8) 胸部の放射線治療、(9～10) 食道、消化器領域の放射線治療、(11～13) 婦人科領域の放射線治療、(14) 泌尿器科領域の放射線治療、(15) 総括

**成績評価の方法** 授業出席、受講態度などと定期試験による。  
**教科書** 村上晃一 著 「放射線治療技術」  
立入 弘 監修 「診療放射線技術」下巻 改訂第5版



履修コード	164001
科目名	画像と放射線治療
担当者名	吉川 宏起

講義のねらい 放射線治療は、放射線診断とともに医学における電離放射線利用の柱であり、現在も大きく進歩している領域である。本講義では各臓器における悪性腫瘍の病期決定に必要な画像情報とその検査法、放射線治療法について習得する。

講義の内容・授業スケジュール  
 (1) 放射線治療における画像診断  
 (2、3) 脳腫瘍の放射線治療と画像診断  
 (4-6) 頭頸部腫瘍の放射線治療と画像診断  
 (7、8) 肺腫瘍の放射線治療と画像診断  
 (9、10) 消化管腫瘍の放射線治療と画像診断  
 (11) 肝・胆・膵腫瘍の放射線治療と画像診断  
 (12、13) 婦人科腫瘍の放射線治療と画像診断  
 (14) 泌尿器科腫瘍の放射線治療と画像診断  
 (15) 悪性リンパ腫の放射線治療と画像診断

履修上の留意点 放射線治療計画を行う上で必要な画像情報とそれを得るための撮影技術を理解する。  
 成績評価の方法 出席率および小テスト、定期的筆記試験による。  
 教科書 使用しない。プリントを配布する。

履修コード	162001
科目名	放射線学総合演習
担当者名	野口 勝

講義のねらい これまでに講義・実験・演習及び臨床実習等を通して診療放射線技術科学の広い分野にわたって学習して来た。本演習は、それらを総合した知識および技術力をさらに深め、診療放射線技師試験の合格に必要な知識を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 学生が主体となってグループを編成し、演習テーマを決めて自主的に学習を進めて行くことを基本とする。それぞれの専門科目の演習は必要に応じて担当教員が支援する。また、放射線技師試験の受験対策のための模擬試験を数回実施する。

診療放射線技師試験で出題される下記14科目のすべてを対象とする。

「放射化学」、「診療画像機器学」、「診療画像検査学」、「核医学検査技術学」、「放射線治療技術学」、「医用画像情報学」、「基礎医学大要」、「放射線生物学」、「放射線物理学」、「医用工学」、「放射線計測学」、「エックス線撮影技術学」、「画像工学」、「放射線管理学」。

履修上の留意点 自主的に取り組む姿勢が不可欠である。

1年次～3年次に履修した科目は前期のうちに一度復習を終え、基礎的な知識を早期に充実させること。また、夏休みを終えるまでに全科目の過去問演習を行っておくよう努力して欲しい。また過去問等の演習で重要なことは、答が合った、間違ったの数を問題にするのではなく、内容を理解できているかどうかをチェックすること。内容理解の積み重ねが成功の秘訣である。

成績評価の方法 1月と2月に実施する、本番の診療放射線技師試験と同形式の定期試験の結果と、臨機に実施する模擬試験の結果によって総合評価する。

教科書 特に定めない。必要に応じて教材用のプリントを使用する。

履修コード	164101
科目名	医療放射線科学論文講読
担当者名	吉川 宏起

講義のねらい 診療放射線医学に関する英文に頻出する単語や熟語を習得し、英文論文の読み方を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール 最初に頻出する単語や代表的な熟語についての解説を加える。次に放射線診断学における代表的な英文論文を選定し、講読を進めていく。

履修上の留意点 身に付けた単語や熟語をキーワードとして、医療関連の英語のホームページに入っていった情報を収集しながら医学英語に親しむようにする。

成績評価の方法 出席率、レポートによる。  
 教科書 使用しない。プリントを配布する。

履修コード	164201
科目名	医療画像科学論文講読
担当者名	熊坂 さつき

講義のねらい 学士論文、実験研究に必要な各自のテーマに沿った学術論文を読み、研究のテーマのターゲットを見つけ出す為の基礎知識を養う。

講義の内容・授業スケジュール テーマにあわせた学術論文を各自が読みながら発表、論説、討論する。

履修上の留意点 画像コース担当の先生方が全員一緒に討論に加わる場合がある。

成績評価の方法 発表した学術論文の内容についての理解度、内容レポートについて評価する。

履修コード	162301
科目名	医療放射線科学総合研究
担当者名	山本 裕石・青木 清・小川 雅生・奥山 康男・金子 順一・佐藤 昌憲・嶋田 守男・名古 安伸・西尾 誠示・原田 和正・吉川 宏起

講義のねらい この科目は個々の学生の研究能力を高めることを目的としている。そのために各学生が、これまでに学修してきた基礎知識を生かして、医療放射線科学分野における諸問題を自分自身で解決することに挑戦する。したがって、通常の講義や実験と異なり、内容や結果が決まっているものではない。あくまで、各自が主体的に内容を深めていくことが大切である。学生には指導教員がつくが、教員の役割は研究の方向性や実施方法を示すことであり、実際に調査を行ったり、実験を行ったりするのはあくまで学生自身である。研究で得られた成果については、各自が報告書に纏め、研究発表会にて発表する。

講義の内容・授業スケジュール 研究は次のような手順で進める。(1~3)興味ある分野についての学修、(4)研究テーマの決定、(5~7)研究テーマに関連する文献の調査、(8~25)問題点の検討や実験の実施、(26~29)報告書の作成、(30)成果の発表  
授業スケジュールは目安であり、各自の学修、実験等の進捗状況により変わることがある。

履修上の留意点 学生自身が主体的に考え、取り組むことが大切である。

成績評価の方法 平常の実験・研究の進め方、報告書、発表内容に基づき総合的に評価する。

履修コード	162401
科目名	医療画像科学総合研究
担当者名	野口 勝・飯田 幸雄・熊坂 さつき・近藤 啓介・瀬尾 育弉

講義のねらい 3年次までに学習してきた基礎知識をベースにし、医療画像科学分野の諸課題について、文献調査、実験、結果の考察、改善方法の検討など、未知の研究テーマに挑戦する。これまでのように筋道が示された実験ではなく、日々試行錯誤の連続となる。この過程を通して、問題を解決するために自ら工夫し、それが成功したときの楽しさ、達成感、充実感を体験して欲しい。研究で得られた成果は研究報告書としてまとめることにより、行った一連の流れを論理立てすることも学ぶ。また成果を総合研究発表会で発表する。

講義の内容・授業スケジュール 研究テーマは1人1テーマを原則とし、指導担当の先生と話し合って選定し、推進する。また数回、画像技術科学コースの先生全員に対して進捗報告を行い、幅広い視点からのアドバイスを受ける。

履修上の留意点 4月 : テーマの選定と具体化  
5~9月 : 文献調査、実験の推進、結果の考察  
10月 : 追実験、報告書のまとめ  
11月 : 発表会

成績評価の方法 自主的に、計画的にテーマに取り組むこと。先生の指示を待つのではなく、自ら課題をもって相談に行き、指導を受けること。  
研究の進め方、自主性、工夫の度合い、報告書と発表のできばえ等を総合して評価する。

履修コード	163001
科目名	核医学検査技術学実習〔病院実習〕
担当者名	吉川 宏起・飯田 幸雄・奥山 康男

講義のねらい	本実習は、放射線治療技術学実習と同時期に指定された病院にて実施する。実習生は、学内では経験できない臨床上の業務の流れや手技について習得する。そのためには、予習・復習を行い積極的に実習に臨み、将来医療技術者として必要な基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	平成21年度は、6月中旬より7月中旬までの4週間（土日は除く）首都圏の指定された病院で放射線治療技術学実習とともに実施する。実習病院では、経験豊かな担当者が診療業務を行いながら指導してくれる。
履修上の留意点	実習中は、医療人としての自覚を持ち、言葉使いや身だしなみには十分に注意することが大切である。守秘義務ならびに個人情報保護の観点からも、実習中に知り得た患者さんの情報を他に漏らしてはいけない。
成績評価の方法	実習病院からの“実習成績評価報告書”および実習生が提出する“病院実習報告書”などにより決定する。
教科書	使用しない。
参考書等	核医学検査技術学（南山堂）、病院実習要項

履修コード	163101
科目名	放射線治療技術学実習〔病院実習〕
担当者名	吉川 宏起・飯田 幸雄・佐藤 昌憲

講義のねらい	本実習は、核医学検査技術学実習と同時期に指定された病院にて実施する。実習生は、学内では経験できない臨床上の業務の流れや手技について習得する。そのためには、予習・復習を行い積極的に実習に臨み、将来医療技術者として必要な基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	平成21年度は、6月中旬より7月中旬までの4週間（土日は除く）首都圏の指定された病院で核医学検査技術学実習とともに実施する。実習病院では、経験豊かな担当者が診療業務を行いながら指導してくれる。
履修上の留意点	実習中は、医療人としての自覚を持ち、言葉使いや身だしなみには十分に注意することが大切である。守秘義務ならびに個人情報保護の観点からも、実習中に知り得た患者さんの情報を他に漏らしてはいけない。
成績評価の方法	実習病院からの“実習成績評価報告書”および実習生が提出する“病院実習報告書”などにより決定する。
教科書	使用しない。
参考書等	病院実習要項

履修コード	162101
科目名	画像処理論
担当者名	近藤 啓介

講義のねらい	医療現場においてデジタル化された画像は、画像処理をしてから医師により読影されている。画像処理には様々な方法があり、研究・開発が盛んに行われている。医師の望む画像を作成するためには画像処理の仕組みを理解する必要がある、そのためにはコンピュータの中でどのように処理されているかを理解する必要がある。
講義の内容・授業スケジュール	実際の医用画像に対して行われている基本的な画像処理の手法やデータ圧縮の方法などを解説する。そして、自らプログラミングすることにより画像処理の仕組みを理解する。 (1)画像処理とは (2)画像の拡大・縮小 (3)画像の鏡影・せん断 (4)画像の線形変換・合成 (5)ソーベルフィルタ (6)ハイパスフィルタ・ローパスフィルタ (7)画像圧縮 (8~15)画像処理の実習
履修上の留意点	演習形式で行うので、積極的に受講すること。
成績評価の方法	出席状況・レポート・試験により評価する。
教科書	近藤啓介・田畑慶人・笠井俊文著、オーム社、『医療画像処理実践テキスト』、4,200円 ISBN4-274-19744-1

履修コード	163501
科目名	画像構築論I
担当者名	近藤 啓介

講義のねらい 近年のX線撮影ではCT（コンピュータ断層撮影）やMRI（核磁気共鳴映像法）などが普及してきています。これらの機器は計測されたデータをコンピュータで再構築する処理が不可欠となります。本講義ではCTやMRIの画像構成手法を中心に3次元処理などの基本的な画像処理について解説します。

講義の内容・授業スケジュール  
 (1～4) フーリエ変換  
 (5～9) CT・MRIの画像再構成処理  
 (10～13) 3次元処理  
 (14～15) コンピュータ実習

履修上の留意点 演習形式で行うので、積極的に受講すること。  
 成績評価の方法 出席状況とレポート及び試験により評価する。

教科書 プリントを配布する。  
 参考書等 近藤啓介・田畑慶人・笠井俊文著、オーム社、『医療画像処理実践テキスト』、4,200円  
 ISBN4-274-19744-1  
 岡部哲夫・瓜谷富三編集、『医用放射線科学講座14 医用画像工学』（医歯薬出版株式会社）

履修コード	163601
科目名	画像伝送論
担当者名	小林 正明

講義のねらい 近年ではPACS（Picture Archiving & Communication System）が普及し、放射線科部門のみならず院内での検査運用が広くデジタル化されてきています。医用画像情報システムを構築し、運用を管理するとともに蓄積された診療データを利活用することで、医療の質と効率を上げることが重要な課題になってきています。本講座では画像通信の基本となるネットワーク技術、セキュリティ及びDICOM（Digital Imaging and Communications in Medicine）について概要を学びます。

講義の内容・授業スケジュール  
 後期15回の授業を行います。前半は講義中心に進め、後半は実習を中心に進めて理解が深まるように工夫しています。  
 成績評価の方法 実習課題のレポートにより評価します。  
 教科書 とくにありません。  
 参考書等 とくにありません。

専門教育

履修コード	164401
科目名	計算機言語論
担当者名	近藤 啓介

講義のねらい 今日、病院で取り扱われている医用画像の多くは、デジタル信号化され画像処理されている。画像処理を行うためには、画像処理ソフトを利用する方法もあるが、新しい方法で処理する場合や、開発をするためには、自らプログラミングする必要がある。この授業では、プログラミングのための基本的な知識を習得する。プログラミング言語はC言語を利用します。

講義の内容・授業スケジュール  
 (1) プログラミング  
 (2) 変数とは  
 (3～4) 変数による計算  
 (5～6) 繰り返し文  
 (7～8) 分岐文  
 (9～11) 繰り返し文の実習  
 (12～13) 分岐文の実習  
 (14～15) ソートプログラミングの実習

履修上の留意点 画像処理言語論の受講にあたっては、この授業にてC言語の知識を習得している必要がある。画像処理言語論の受講予定者は必ず受講すること。  
 授業の半分は演習を行います。積極的に受講すること。

成績評価の方法 出席状況とレポート及び試験により評価する。  
 教科書 プリントを配布する。

履修コード	164601
科目名	医療宗教学
担当者名	よしづ よしひで 吉津 宜英

講義のねらい

この科目は将来皆さんが医療の現場に出てお仕事をされる時、患者さんと接する場合に役立つことを目的としています。科目名が「医療宗教学」となっていますが、宗教学を講義するつもりはありません。それは「仏教と人間」という宗教教育科目で学んでもらいたいと思います。私はむしろ「医療人間学」というぐらいの科目名で考えてもらいたいと思います。医療人としての皆さんは様々な患者さんに会おうことでしょ。医療技術には自信があっても、人間的には好悪の感情は否定できないし、大いにストレスを感じることでしょ。どんなに嫌いな人であっても、誠意をもって治療に当たらなくてはなりません。そのためには皆さんの人間性においてどんな人にも柔軟に対処できる姿勢が形成されていなくてはいけないと思います。この科目は様々な宗教的、また哲学的な人間観を示して、その参考に供したいと思います。ある一定の自分の人間観を持つと共に、いろいろな人々の人間観を認めることのできる医療者になったほしいのです。

講義の内容・授業スケジュール

昨年も取り上げたのですが、今年もヴィクトール・フランクル（1905-1997）の一連の著作を取り上げたいと思います。彼は『夜と霧』（みすず書房）に書いているように、ナチスドイツの時代に強制収容所に入り、生死の境をさまよいました。その中である悟りを得て、解放されてから本来彼の仕事である精神療法家として活躍しました。彼はフロイトやアドラーから学んでいます。彼らを批判的に位置づけ、フランクル独自の実存分析を体系化しました。彼の『それでも人生にイエスと言う』（春秋社）でも、自分が人生に問いかけて、人生に何の意味があるかを考えるよりも、人生の方から自己に次々と投げかけてくる課題に誠実に応答することが大事であると言っています。ある意味では楽天的人間観と言えましょ。フランクルの宗教的背景はユダヤ教ですが、彼はあまりそのことにもこだわらないのです。ただこの科目ではフランクルの人間観を相対化するために、他の人々の人間観、仏教の人間観にも関連させながら講義を進めたいと思います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に1月に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書

講義の中で随時紹介します。

その他

私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請します。授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

専門教育

履修コード	164701
科目名	医療経済学
担当者名	まつもと かずとし 松元 和敏

講義のねらい

この科目を理解するには、医療で使われる言葉、システム、法律等について知ること、さらに医療制度を学ぶ必要がある。これらをやさしく解説しながら医療経済学を学習する。今や医療制度および医療経営を論ずるとき、医療経済を無視出来ない状況にある。これから医療で働く人特にリーダーには欠かせない学問である。是非多くの学生に学んで頂きたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 医療経済学を理解するために
2. 医療経済学の経済学的基礎
3. 医療経済学とはなにか
4. 医療と最新の経済学
5. 医療の仕組みを経済学で分析する
6. 医療のプレーヤーとその行動
7. 米国の医療制度を考える
8. 日本の医療制度を考える

履修上の留意点

実践に即した内容にするために参加型の授業を目指し、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

出席、レポート、試験

教科書

真野俊樹著「入門 医療経済学」(中公新書)、820円

参考書

① 医療の質 用語事典 「日本規格協会」 3000円

② 図説 国民衛生の動向2008 「厚生統計協会」 1600円

履修コード	164301
科目名	医療統計学
担当者名	近藤 啓介

講義のねらい 医療に関する多数のデータを整理・解析しようとするとき、統計学の知識が基礎となる。授業では統計学の初歩的事項から実用的な統計手法までを解説する。特に、統計学の理論を理解するだけでなく、実際の業務に役立つ手段として身につけることに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール  
 (1) 医療統計学とは  
 (2) 統計と表  
 (3～5) 統計とグラフ  
 (5～7) 統計量  
 (8～9) 統計的推定  
 (10～11) 検定  
 (12～14) 実習  
 (15) ROC解析

履修上の留意点 単に計算式を覚えるのではなく、実際に使えるようになることが重要です。総合研究や将来の論文・研究で利用することを考えて、積極的に受講すること。

成績評価の方法  
 教科書 演習とレポート及び試験により評価する。  
 プリントを配布する。

履修コード	164501
科目名	量子論
担当者名	金子 順一

講義のねらい 量子論はミクロの世界を記述する理論であり、原子の振る舞いや、放射線に関連した現象の理解には欠かせないものである。本講義では、量子論が必要とされた経緯から始め、古典論では説明することのできない諸現象を、量子論の手法で解説を行う。波動方程式の導出を行い、基本的な系における解法の説明を行う。

講義の内容・授業スケジュール  
 (1) 古典論の限界  
 (2～4) 前期量子論、物質と波動  
 (5～9) 波動方程式とその解  
 (13～15) 波動関数と物理量

成績評価の方法  
 教科書 試験及び出席状況により評価を行う。  
 必要な資料については、プリントを配布する。

履修コード	164801
科目名	医学特論
担当者名	山口 晶

講義のねらい 実際の症例画像を提示しながら、臨床目的に即した撮像技術を修得する。具体的には単純X線撮影、超音波検査 (US)、X線CT、血管造影、核医学検査 (RI) および種々のモダリティによる3次元画像を提示しながら画像の検討、読影を行う。さらにより侵襲の少ない方法で診断するための撮像モダリティの応用法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール  
 (1) 各撮像技術の特徴 (2、3) 呼吸器疾患 (4、5) 骨軟部疾患 (6、7) 中枢神経系疾患 (8、9) 消化管疾患 (10、11) 泌尿器疾患 (12、13) 婦人科系疾患 (14、15) 総合画像診断

履修上の留意点 これまで修得した画像解剖の復習と各種画像検査法の原理、特徴について復習しておくこと。

成績評価の方法  
 教科書 授業時間内の小テスト、定期的筆記試験。  
 使用しない。プリントを配布する。

履修コード	165301
科目名	最新医療技術
担当者名	吉川 宏起

**講義のねらい** 医療における技術開発は目覚ましい。本講義では最新画像診断技術学を中心に新しい診断技術および治療技術について習得する。

**講義の内容・授業スケジュール** (1-3) 放射線診断学における最新医療技術  
(4、5) 核医学診断学における最新医療技術  
(6、7) 放射線治療学における最新医療技術  
(8-10) MRI技術の最新情報  
(11-13) X線CT技術の最新情報  
(14-15) IVRの最新情報

**履修上の留意点** 1年～3年次の解剖学と病理学の復習を行っておくこと。

**成績評価の方法** 出席率と授業中の小テスト、定期期末テストによる評価。

**教科書** 特になし。プリントを配布。

履修コード	164901
科目名	放射線検出器工学
担当者名	鳥山 保

**講義のねらい** 既存の放射線検出器はごく限定された性能しか持たず、限られた目的にのみ使用される。この事は新しく開発されている検出器についても同様である。

**講義の内容・授業スケジュール** 検出器の性能・応答特性は検出器に使われる検出原理・素材・構造から形成されるが、検出器の使用にあたっては、これらの情報を基礎として目的の計測との整合性を考慮することが不可欠である。ここでは、新種の検出器を含めて、それぞれの検出器について、前述の観点から考察する。

1回 検出器の性能指標、検出効率、エネルギー分解能、時間分解能  
2-3回 無機シンチレーター、減衰時間、蛍光スペクトル、蛍光収率、エネルギー分解能  
4回 有機シンチレーター、減衰時間、蛍光スペクトル  
5回 光電変換、光電子増倍管、光ダイオード、量子効率  
6-7回 Si 半導体検出器 Ge 半導体検出器、動作の仕組み、性能  
8回 電離箱の構造と応答  
9-10回 比例計数管の構造と性能、ガス増幅、位置敏感型比例計数管、ガスフロー型検出器、中性子検出  
11回 電子スピン共鳴、蛍光ガラス線量計  
12回 固体飛跡検出器、霧箱  
13回 高速検出器、マイクロチャンネルプレート、ストリークカメラ  
14回 アンチコンプトンガンマ線検出器、大型ガンマ線検出装置  
15回 低バックグランド測定、カウンターテレスコープ

**成績評価の方法** 定期試験の他、授業中で行う小試験および出席状況により評価する。

**教科書** 使用しない

履修コード	165001
科目名	放射線感光化学
担当者名	山本 裕右

**講義のねらい** 放射線の感光材料としてはフィルムが最も一般的であり広く使用されているが、本講義においては、医療分野でフィルムと組み合わせて使用される増感紙、および放射線に対する新しい感光材料として近年使用されている輝尽発光体について、放射線と物質の相互作用に注目して解説する。増感紙については、まずラジオルミネセンスについて触れ、発光機構を説明すると共に、種々の増感紙材料の化学および発光特性について解説する。また、輝尽発光体については、輝尽発光の発光機構について説明し、種々の輝尽発光体材料の化学および発光特性について解説する。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) 放射線による発光現象の医療への応用、(2,3) 増感紙に用いられる発光体とその特性、(4,5) 輝尽発光とは、(6) 輝尽発光体の歴史、(7～11) BaFX:Eu 発光体の特性と発光機構、(12,13) その他の輝尽発光体の特性、(14) ISPの自然科学への応用、(15) 輝尽発光現象の線量測定への応用

**成績評価の方法** 平常点、出席点 (30%)、レポート (70%)。

**教科書** 使用しない。

**参考書等** W.M.Yen, S.Shionoya and H.Yamamoto ed., Phosphor Handbook 2nd ed., CRC Press(2006).  
入門固体化学, L.Smart and E.Moore 著、河本、平尾 訳、化学同人(1996).

履修コード	165101
科目名	放射線化学特論
担当者名	やまもと ゆうすけ 山本 裕右

**講義のねらい** 本講義においては、固体の放射線化学のうち、特に、放射線と固体との相互作用を利用した放射線線量測定に関係する領域について解説する。まず、イオン結晶、共有結晶、ガラスについて放射線の固体への効果を概観し、固体に残される放射線効果と格子欠陥の関係、空孔と捕獲中心などに触れながら、放射線のエネルギーがいかにして固体中に蓄積されるか、また、蓄積されたエネルギーがいかにして解放するかを解説する。さらに、以上の事を基礎として、熱ルミネセンス、エキソ電子放出現象について言及する。

**講義の内容・授業スケジュール** (1~3) 固体の化学、結晶, (4,5) 結晶の不完全さ、格子欠陥, (6~8) 放射線と固体の相互作用, (9) 放射線による発光現象, (10) 熱ルミネセンスとは, (11,12) グロー曲線の解析, (13) 熱ルミネセンスの放射線計測への応用, (14,15) 各種TLDの特性

**成績評価の方法** 出席点 (20%)、レポート (30%)、定期試験 (50%)。  
**教科書** 使用しない。

**参考書等** Handbook of Thermoluminescence, C.Furetta, World Scientific(2003).  
Phosphor Handbook 2nd ed., W.M.Yen, S.Shionoya and H.Yamamoto ed., CRC Press (2006).  
入門固体化学, L.Smart and E.Moore 著、河本、平尾 訳、化学同人(1996).  
希土類の科学、足立吟也 編、化学同人(1999).

履修コード	165401
科目名	放射化学特論
担当者名	ほらだ かずまさ 原田 和正

**講義のねらい** 核医学で用いられる放射性同位元素および標識化合物についての各論を学ぶ。現在、放射性医薬品として使われている放射性核種は 99m-テクネチウムをはじめとして、133-キセノン、67、68-ガリウム、123、125、131-ヨウ素など多種にわたる。これらの核種を利用した核医学検査技術学的な面については3年次の「核医学」で既に学んでいるが、本講義においては in-vivo 放射性医薬品の体内での挙動を理解するうえで基礎となる事項を中心に解説する。

**講義の内容・授業スケジュール** 99m-テクネチウムを中心に以下の内容について講義する。  
・テクネチウム  
発見の歴史 (1)、核的性質(2~3)、化学的性質(4~5)、製造法(6~7)、ジェネレータ(8~9)、標識化合物の性質と標識法(10~11)  
・その他の核種：キセノン、クリプトン、ガリウム、インジウム、タリウム、ヨウ素 (発見の歴史とその存在、化学的性質、核的性質、製造法、81-Rb — 81m-Kr ジェネレータ、標識化合物の性質と標識法) (12~15)

**成績評価の方法** 定期試験と平常点により評価する。  
**教科書** 使用しない。

**参考書等** 日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』(日本アイソトープ協会) 1,680円 講義には必ず持参すること

履修コード	165501
科目名	放射線学特論
担当者名	くまざか さつき 熊坂 さつき

**講義のねらい** 診療放射線技師として放射線の物理学的特性、医用画像の特徴、特にデジタル化された画像の特徴や画像処理の仕組み、安全管理、核の取り扱いと知識を十分に理解しておく必要がある。この授業では、この様な分野について放射線技師国家試験に十分合格出来るような基本知識を養う講義を行う。

**講義の内容・授業スケジュール** (1~2) 放射線計測学、放射線安全管理学  
(3~6) 放射線物理学  
(7~12) 画像工学  
(13~14) 核医学

**履修上の留意点** 基本的には毎週演習をおこないます。自習をしっかりとすること。

**成績評価の方法** 出席状況と試験により評価する。

**教科書** プリントを配布する。  
**参考書等** 放射線技師国家試験用の問題集や参考書



履修コード	165601
科目名	診療機器システム学
担当者名	近藤 啓介

講義のねらい	<p>診療機器は病院情報システム、放射線部情報システムやPACSなどのサブシステムであると同時に、それ自体システムとみなすことができる。そこで、まず、システムの信頼性をどう捉えるかが重要である。</p> <p>また、医療機器以外にも診療放射線技師は医療画像を評価・解析するシステムの利用も必要になる。授業では、実際のシステムを操作を学びながら、利用方法を学ぶ。また、最新の画像解析装置や特殊な測定装置や評価装置も体験しながら、その仕組みを理解する。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>(1) システムの信頼性  (2) システムとシステムズ・アプローチ  (3～6) システムの操作方法の実習  (7～12) 解析装置の実習  (13～15) 実際の装置を使った解析・評価</p>
履修上の留意点	<p>画像の解析や評価の基礎知識が必要不可欠であるため、受講希望者は画像コースの勉強会に参加することが望ましい。</p> <p>実際にシステムを利用しながら学ぶため、授業時間以外の演習が週2回程度必要になるので、積極的に出席すること。</p>
成績評価の方法	レポートの内容と実習の取り組み状況から評価する。
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書等	講義の中で随時紹介します。

履修コード	165901
科目名	放射線被曝管理論
担当者名	羽生 毅

講義のねらい	<p>国際放射線防護委員会ICRPによる放射線被曝勧告の基本は、行為の正当化・防護の最適化・個人の線量限度である。対象とする放射線源は“人工的に管理された放射線”であり、自然放射線（近年は含む?）と医療被曝が除外されている。</p> <p>診療放射線技師の職務は、放射線データ提供による医療寄与のみならず、被曝行為者として常に患者被曝線量を意識することが肝要である。</p> <p>講義の副題を“見える放射線量”として、患者被曝に関する資料と具体的な検査の被曝線量を連係させる。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>(1) 被曝管理の歴史 (2～7) 国連科学委員会UNSCEAR 報告書:本文・線量評価法・自然放射線源・人工放射線源・医療被曝・職業被曝 (8～9) ICRP:Publ.84 妊娠と医療放射線・他 (10～11) 医療被曝ガイドライン:国際原子力機関 IAEA-Publ.SS115 ・他 (12～13) コンピュータシミュレーションによる患者被曝線量評価 (14～15) リスクマネジメント</p>
履修上の留意点	<p>既習の放射線管理学・放射線管理学実験・病院実習知見を整理しておくことが望ましい。</p> <p>出席状況・試験により評価する。</p> <p>プリントを配付する。</p>
成績評価の方法	UNSCEAR・ICRP・IAEA等の刊行物
教科書	
参考書等	

履修コード	156001
科目名	画像工学概論II
担当者名	野口 勝 <small>のぐち まさる</small>

**講義のねらい** デジタル医用画像を中心とした医用画像情報技術の理論を学習する。具体的には、デジタル画像の形成、評価、処理、画像情報システム等に関する知識を身につける。技術の学習および診療放射線技師試験への対応という両面から取り組む。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. フーリエ変換の基礎 (第1～3回)  
フーリエ級数展開, フーリエ変換, 畳み込み積分
2. デジタルX線画像の形成 (第4～6回)  
画像のデジタル化, 標本化定理とエリアシング, 画像のデータ量 等
3. デジタルX線画像の評価 (第7～9回)  
入出力特性, 解像特性, ノイズ特性, SN比, ROC解析 等
4. デジタルX線画像の処理 (第10～12回)  
階調処理, 空間フィルタ処理, 空間周波数フィルタ処理, しきい値処理, 画像間演算処理 等

**履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等**

5. 医用画像情報システム (第13～15回)  
PACS, RIS, HIS, 情報システムとセキュリティ 等
- 分野が多岐にわたり内容が多いので, 自習を心がけること。  
2～3回の理解度確認テストと学習態度の総合点による。  
桂川茂彦編 『医用画像情報学 (改訂2版)』 (南山堂), 3,300円+税, ISBN4-525-27932-X  
内田勝監修 『デジタル放射線画像』 (オーム社), 3,800円+税, ISBN4-274-13152-1  
その他, 必要な資料はプリントを配布する。

**その他**

理解を深めるため, 臨機に演習を行う。



# III 随意科目



履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・  
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法  
その他

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・  
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・  
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	230512
科目名	日本語入門Ⅰa
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間未満までの学生を対象とし、基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。短い文章を読みながら、文法、語彙、文字の学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

- ◆非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、ほとんどない学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ⅱa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰa」と「日本語入門Ⅱa」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 授業時に指定する。

その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230522
科目名	日本語入門Ⅰb
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間程度の学生を対象とし、基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。「日本語入門Ⅰa」の続きとして講義を行う。短めの文章を読みながら文法、語彙、文字の学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

- ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ⅰa」「日本語入門Ⅱa」を受講した学生を前提とするが、日本語のレベルが適当であれば受講を認める。
- ◆「日本語入門Ⅱb」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰb」と「日本語入門Ⅱb」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 授業時に指定する。

その他 辞書を持ってくること。

随意科目

履修コード	230532
科目名	日本語入門Ⅱa
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間未満までの学生を対象とし、「日本語入門Ⅰa」で学んだことをもとに、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 身近なトピックによる作文とスピーチの練習を繰り返す。また、他の人の作文を読んだり、スピーチを聞いたりした後、質疑応答・意見交換を行う。

履修上の留意点

- ◆非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、ほとんどない学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ⅰa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰa」と「日本語入門Ⅱa」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230542
科目名	日本語入門II b
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい	日本語学習歴が150時間程度の学生を対象とし、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	簡単なアンケート調査を実施し、結果をクラスで発表することが最終課題であり、アンケート用紙の作成の仕方、アンケートの仕方、結果のまとめ方、発表の仕方等の練習をする。
履修上の留意点	◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。 ◆「日本語入門 Ia」「日本語入門 IIa」を受講した学生を前提とする。 ◆「日本語入門I b」と連続して講義を行うため、「日本語入門I b」と「日本語入門II b」は同時に受講することが望ましい。 ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書その他	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	230612
科目名	日本語I a
担当者名	佐野 典子

講義のねらい	本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230622
科目名	日本語I b
担当者名	佐野 典子

講義のねらい	本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230632
科目名	日本語I a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい	語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	衣③・食①・住②・学生生活④⑤など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、生の文章を読む、書くなどを通して実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。
成績評価の方法	出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。 辞書を持ってくること。



履修コード	230642
科目名	日本語Ib
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。  
 講義の内容・ 日本語 Ia に続き政治⑥・法律⑦・経済⑧・文化⑩・社会問題⑨などの分野ごとに、よく使われ  
 授業スケジュール 漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め、ニュースを見る、読む、自分  
 の考えを述べるなどを通してより深く理解できるようにする。  
 成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。  
 教科書 プリントを配布する。  
 辞書を持っていくこと。

履修コード	230712
科目名	日本語IIa
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。  
 講義の内容・ 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同  
 授業スケジュール 時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。  
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。  
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230722
科目名	日本語IIa
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
 人前で話すことに慣れ、言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを  
 を目指す。  
 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。  
 講義の内容・ 紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピー  
 授業スケジュール ーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。  
 テープで自分が話した日本語を聞く。必要に応じて発音・アクセント・話し方等の練習をする。  
 履修上の留意点 授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。  
 成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。  
 教科書 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230812
科目名	日本語IIb
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。  
 講義の内容・ 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同  
 授業スケジュール 時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。  
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。  
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230822
科目名	日本語IIb
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
 自分の考えを、正しく適切な表現を用いて効果的に説得力を持って相手に伝えることを目指す。  
 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。  
 講義の内容・ 意見表明や提言のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、最後に  
 授業スケジュール 自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。  
 テープで、自分が話した日本語を聞く。  
 履修上の留意点 授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。  
 成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。  
 教科書 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230912
科目名	日本語Ⅲ a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい	聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。 まず内容を聞き取って把握すると共に、相手や立場、場面にふさわしい話し言葉の使い方を知る。 次に話し言葉と書き言葉の違いを知り、レポートを書く練習の第一歩とする。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオでドラマ・講演などを聞き取り、敬語、くだけた表現、改まった表現など場面・立場・相手によって使い分ける自然な話しかたに慣れ、スピードにも慣れる。語彙表を使って聞き取った内容を文章にまとめることで豊かな表現を身につけ、書き言葉で書く練習もする。
成績評価の方法	平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。
教科書	ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	230922
科目名	日本語Ⅲ a
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べてくる宿題が出る。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	小レポート、小テスト、授業活動50% 期末試験50%
教科書	最初の授業時に指定する。

履修コード	231012
科目名	日本語Ⅲ b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい	聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。 前期をふまえ、さらに聞きとりの強化とレポートを書くための文章力の強化をする。
講義の内容・授業スケジュール	ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。 聞き取った内容等をまとめながら、レポートの書き方の練習をする。
成績評価の方法	平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。
教科書	ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231022
科目名	日本語Ⅲ b
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	日本語Ⅲ a の続きとして、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	教材を辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べて来て発表することがある。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	小レポート、小テスト、授業活動50% 期末試験50%
教科書	最初の授業時に指定する。

履修コード	231112
科目名	日本語Ⅳa
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話す、書く」を中心に日本語力の向上を目指す。他の人と情報・意見交換をすることにより自分の考えを深め、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中から幾つかのトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで理解を深めた後、自分の意見を文章でまとめ、発表する。フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書その他	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231122
科目名	日本語Ⅳa
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。 （1～5）文章の基本一文・段落・構成―（6～10）レポートの方法―主題・材料・アウトライン等―（11～15）レポートの形式―表紙・序論・本論・結論・参考文献―
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1・第2週の授業を続けて欠席した者は、履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など）50% 期末テスト50%
教科書	教科書は授業時に指定する。

履修コード	231212
科目名	日本語Ⅳb
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話す、書く」を中心に日本語力の向上を目指す。他の人と情報・意見交換をすることにより自分の考えを深め、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中から幾つかのトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで理解を深めた後、自分の意見を文章でまとめ、発表する。フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書その他	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231222
科目名	日本語IV b
担当者名	湯村 礼子

**講義のねらい** 文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** レポート、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。(1～7) レポートを書く(8～15) 意見文の書き方、実践

**履修上の留意点** 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

**成績評価の方法** 作文(3～4回) 50%  
提出物・小テスト・授業活動(授業での発言、授業態度など) 50%

**教科書** 教科書は授業時に指定する。

履修コード	231312
科目名	日本語V a
担当者名	石川 守

**講義のねらい** しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっています。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などから始めます。もう一度しっかりとした日本語の基本を復習したい人におすすめします。

**講義の内容・授業スケジュール** 日本語の話し言葉や書き言葉の文体から、会話や基礎文法が復習ができるように構成されています。まず会話特有の表現から始まり、呼称、指示詞、存在や場所関係の表現、数詞、形容詞など日本語コミュニケーションの基本的なものを学んでいきます。

**履修上の留意点** 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めないことがあります。

**成績評価の方法** 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

**教科書** 特になし。授業中にプリントを配ります。

**参考書等** 辞書を持ってきてください。

**その他** 受講態度を重視しています。

履修コード	231322
科目名	日本語V a
担当者名	多田羅 哲子

**講義のねらい** 読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。

**講義の内容・授業スケジュール** レポートを書くための基礎を学ぶ。  
各種の新聞記事など時事問題を中心に読む。見出しから内容を推測したりわかる言葉から概要をつかむ練習をし、さらに自分で調べながら細部まで読み、内容について説明したり、意見発表を行う。  
それらを文章にまとめる。

**成績評価の方法** 平常点(小テスト・提出物・授業の参加度)を重視する。期末テストも行う。

**教科書** プリント配布する。  
辞書を持ってくること。

履修コード	231412
科目名	日本語V b
担当者名	石川 守

**講義のねらい** 日本語 Va に続けて、日本語コミュニケーションの会話に必要な基本的な文法について学んでいきます。特に日本語の基礎を固めたい人におすすめです。

**講義の内容・授業スケジュール** 日本語 Va の続きをやっています。

**履修上の留意点** 日本語 Va に準じますので、そちらを参照してください。

**成績評価の方法** 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

**教科書** 特になし。授業中にプリントなどを配ります。

**参考書等** 辞書を持ってきて下さい。

**その他** 受講態度を重視しています。

履修コード	231422
科目名	日本語V b
担当者名	多田羅 哲子

**講義のねらい** 読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事の問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

**講義の内容・授業スケジュール** 各自関心のある新聞記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

**成績評価の方法** 平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。

**教科書** プリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

履修コード	231512
科目名	日本語VI a
担当者名	石川 守

**講義のねらい** 日本語の中上級文法を話し言葉、書き言葉、コミュニケーションの観点からテキストを使いながらやっていきます。

**講義の内容・授業スケジュール** 授業は中上級の文型に関するもの、特に型の似ているものの用法や意味の違い、類義的な表現の用法の違いなどを中心に、用例に出てくる語句の意味の分析、発音やアクセントなどもやっていきたいと思っています。スケジュールはテキストの初めから順次やっていきたいと思っています。

**履修上の留意点** 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は履修を認めません。ご注意ください。

**成績評価の方法** 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

**教科書等その他** 使用するテキストは、授業中にプリントで配ります。  
辞書を持ってきてください。  
授業態度を重視しています。

履修コード	231522
科目名	日本語VI a
担当者名	多田羅 哲子

**講義のねらい** 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

**講義の内容・授業スケジュール** 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。  
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

**成績評価の方法** 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

**教科書** プリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

履修コード	231612
科目名	日本語VI b
担当者名	石川 守

**講義のねらい** 日本語 VIa の続きをやっていきますので、基本的に変更はありません。日本語 VIa を参照してください。

**講義の内容・授業スケジュール** 日本語 VIa の続きをやっていくため、日本語 VIa を参照してください。

**履修上の留意点** 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で必ず教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めません。ご注意ください。

**成績評価の方法** 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

**教科書等その他** 授業中にテキストのプリントを配ります。  
辞書を持ってきてください。  
受講態度を重視しています。

履修コード	231622
科目名	日本語VIb
担当者名	多田羅 哲子

**講義のねらい** 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

**講義の内容・授業スケジュール** 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

**成績評価の方法** 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

**教科書** プリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

履修コード	231702
科目名	日本事情I〔地理〕
担当者名	高橋 健太郎

**講義のねらい** 人々の生活や地域社会の特徴と変化を、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

**講義の内容・授業スケジュール** この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。その後、受講生2～3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらおう。  
また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行なう。

**履修上の留意点** 第1回目に授業の案内を行なうので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

**成績評価の方法** 頻繁に教場で作成してもらおう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。

**教科書** 使用しない。授業中にプリントを配布する。

履修コード	231802
科目名	日本事情II〔自然〕
担当者名	清水 善和

**講義のねらい** 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて解説する。また、日本の自然と日本人の文化・生活との関連についても取り上げる。

**講義の内容・授業スケジュール** 1章：位置（国土の範囲、行政区分、位置の特徴；1,2回）、2章：気候（気候帯、海流、気候の特徴、気団と季節、気象観測、気候と文化；3-7回）、3章：地質・地形（弧状列島、変動の歴史、多様な地形、火山、地震、自然災害；8-11回）、4章：生物（植生帯、生物多様性、生物地理区、里山、帰化生物；12-14回）、5章：自然保護（レッドデータ、国内の法律、国際条約；15回）

**成績評価の方法** 2回のレポートと出席回数に基づいて評価する。

**教科書** 講義内容を文章化した「web版テキスト（日本語版と英語版）」を紹介する。受講者は指定のHPから自由にダウンロードして利用できるようにする。

**参考書等その他** 講義とweb版テキストの中で適宜紹介する。  
講義に必要な図表をまとめたプリントを毎回配布する。講義は日本語で行うが、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著した「web版テキスト（English version）」を用意する。

履修コード	231902
科目名	日本事情III〔歴史〕
担当者名	井上 桂子

講義のねらい	本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 19世紀—鎖国政策の中での日本の他国関係</li> <li>2. 中国商人の「唐風説書」の役割</li> <li>3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン</li> <li>4. 日米和親条約と中国</li> <li>5. 明治維新と中国の反応</li> <li>6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの</li> <li>7. 清末の改革維新と日本との関係</li> <li>8. 孫中山と日本</li> <li>9. 民間交流と日中関係</li> <li>10. 戦争中中国大陸で反戦活動</li> <li>11. 日中国交正常化への道のり</li> </ol>
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。
成績評価の方法	出席回数と課題レポートで評価します。
教科書	必要に応じてプリントを配布します。
参考書等	授業のなかで適宜紹介します。
その他の	希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

履修コード	232002
科目名	日本事情IV〔思想〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義のねらい	明治維新によって江戸幕府は倒れ、日本は新しく近代国家としての道を歩み始めました。この大きな転換期に日本では何が起ったのでしょうか。そして、その変化を当時の思想家達はどのように受けとめたのでしょうか。本授業では、幕末から明治末期にかけての歴史と思想について学びます。この時代の日本に何が起ったのか。当時の思想家達は、何を問題だと考えていたのか。その問題をどのように解決しようとしていたのか。こういった問いを明らかにしていくことが本授業の目的です。この作業を行うことにより、学生の皆さんは近代日本（ひいては現代日本）がどのように成立したかを知る手がかりを得ることができるでしょう。なお、授業を理解する上では、常識レベルでの日本史の知識が必須です。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。
講義の内容・授業スケジュール	オリエンテーション(1)、儒教思想(2～3)、福沢諭吉(4～5)、明六社(6～7)、自由民権(8～9)、中江兆民(10～11)、徳富蘇峰(12～13)、社会主義(14～15)。
履修上の留意点	毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。授業を履修する場合は、4月中に必ず一度授業に出席して上記の点について確認をしてください。また可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。
成績評価の方法	出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。
教科書	特に指定しません。
参考書等	授業時に適宜、紹介します。
その他の	講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232102
科目名	日本事情V〔社会〕
担当者名	<small>つよし けん</small> 坪井 健

**講義のねらい** この講義は、外国人学生のために現代の日本社会への理解を深めるための講義です。基本的には、日本人が何を考えているか、「日本人の意識」を外国人と比較しながら考えていきます。外国人はあなたの意識でもありますので、授業中は、集団としての日本人の平均的考え方とあなた自身の意見と比較してみてください。

具体的には、「生活価値観」「仕事」「家庭」「教育」「ナショナリズム」「生活満足度」などです。こうした問題について討論しながら進めたいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. はじめに 講義の方針と受講の仕方
2. 戦後日本の生活変動 ー概要ー
3. 日本人の生活価値観 ー講義ー
4. 教育と学校 ー講義とビデオー
5. 政治とナショナリズム ー講義ー
6. 仕事と余暇 ー講義とビデオー
7. 家族とジェンダー ー講義ー
8. 高齢化社会と老後 ー講義ー
9. 若者の意識 ー講義とビデオー
10. 戦後日本人の意識の動向
11. まとめ ー現代日本の社会問題ー

**履修上の留意点**

この授業では、対話型授業を行うので、皆さんの意見を積極的に述べること。また、毎回リアクション・ペーパーを配布するので、意見や感想などを必ず記入すること。ビデオによる映像教材や1回程度は、社会見学をすることがあるので遅刻・欠席しないこと。授業内容はすべてプリントにして配布する。特別、英語による補足説明はしないが、プリントと映像教材で、外国人にも理解しやすい工夫をする。

**成績評価の方法**

この授業は、平常点（出席＋リアクションペーパー＋受講態度等）40％と課題レポート（2～3回提出）60％で評価する。

**教科書**

1. NHK放送文化研究所編『現代日本人の意識構造』（第六版）NHKブックス ¥1020＋税

履修コード	232202
科目名	日本事情VI〔政治・法律〕
担当者名	<small>みなけ なおや</small> 三竹 直哉

**講義のねらい**

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。

**講義の内容・授業スケジュール**

下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎日本のマイノリティ
- ◎日本の移民政策

**履修上の留意点**

日本の政治について考える授業ですから、日本の政治に関心がなかったり、政治について学ぶ気がない学生は履修すべきではありません。

授業参加を重視します。参加人数によって授業のやり方は変わります。人数が少なければ討論中心になりますので、発言することが重要になります。

**成績評価の方法**

平常点と期末テストによります。

**教科書**

指定する予定はありません。

**その他**

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

最新の情報は YeStudy で確認してください。



履修コード	232302
科目名	日本事情VII〔文学〕
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small>

**講義のねらい** 本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 日本の古典文学の作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識（1）
- 6、古代後期の文学とその美意識（2）
- 7、中世の文学とその美意識（1）
- 8、中世の文学とその美意識（2）
- 9、中世の文学とその美意識（3）
- 10、近世の文学とその美意識（1）
- 11、近世の文学とその美意識（2）
- 12、近世の文学とその美意識（3）
- 13、日本文学の特質（1）
- 14、日本文学の特質（2）
- 15、日本文学の特質（3）

**履修上の留意点** 第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を総括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

**成績評価の方法** レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。

**教科書** 必要に応じて適宜プリントを配布する。  
**参考書等** 授業内で紹介する。

随意科目

履修コード	232402
科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕
担当者名	佐藤 美奈子 <small>さとう みなこ</small>

**講義のねらい** 「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって本授業では、「日本文化」が時代ごとにどのような特徴を持つのか、それがどのように人々の日常に影響を及ぼすのかについて、身近なもの（食文化など）を例にあげながら、学んでいきたいと思えます。特定の「日本文化」に注目し明らかにするというよりも、通史的に日本文化史を学ぶ形になります。そのため、日本の中学生レベルの日本史について学ぶことも、授業の目的の一つとなります。

**講義の内容・授業スケジュール** オリエンテーション(1)、古代日本の文化(2～4)、中世日本の文化(5～8)、近代日本の文化(9～14)、まとめ(15)。

**履修上の留意点** 毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

**成績評価の方法** 出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

**教科書** 特に指定しません。  
**参考書等** 授業時に適宜、紹介します。  
**その他** 講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232502
科目名	日本事情IX〔経済〕
担当者名	福原 好喜

**講義のねらい** 特別のことがない限り、これ以降日本経済、世界経済は大不況（デフレーション）へと突入して行くが、やさしい日本語で「福原経済学」を講義する。

**講義の内容・授業スケジュール** 拙著『総理、お間違えではありませんか？一銀八教授内閣への直言一』、『熱血教授心の教育一駒大経済銀八ゼミナール』等を使い、デフレーションからどのように脱出するのか？福原のユニークな考えを述べる。ノーベル賞を受賞した Mr. Paul Krugman 等他のエコノミストの主張にも言及する。（Krugman の経済学はこれから起こる大不況に対しては useless）

**履修上の留意点** テキストを前もって読んでおくこと。分からない単語は辞書を引いておく。

**成績評価の方法** 出席とペーパーテストで成績評価。

**教科書その他** 前述の拙著の他、その時々新聞及び雑誌等の経済記事を教材として利用する。受講者が少ない場合、ロールプレイング等学生参加型の授業にしたい。複数回レポートを課す。

履修コード	232602
科目名	日本事情X〔経営〕
担当者名	中野 香織

**講義のねらい** 本講義は留学生の方々を対象としている。主な目的は、日本の企業について学ぶことである。特に広告会社を事例にして、企業をとりまく環境、部署の構造、業務内容などについて説明する。さらに、本講義では受講生が授業で議論できる能力をつけることも目指したい。教員と受講生間のコミュニケーション、および受講生同士のコミュニケーションを密にすることによって、授業で積極的に発言しやすい場を作り、日本で議論することに慣れてもらいたいと考える。

**講義の内容・授業スケジュール** 講義の前半では、広告会社を事例とした企業活動の説明をする。講義の中盤では、受講生の関心が高いテーマを選び、その解説をする。同時に、それらのテーマについて各自で調べてもらい、発表をしてもらう。講義の後半では、テーマについてグループで議論し、資料にまとめ、発表をもらう。

（1）イントロダクション：本講義の概要説明、（2）教員・受講者の自己紹介を兼ねた発表、（3～6）広告会社を事例とした企業活動の説明：市場をとりまく環境、市場構造、各部署の役割、個人の業務内容など、（7～12）受講者の関心が高いテーマについての解説、および受講生による発表、（13～14）グループ作業および発表、（15）試験

**履修上の留意点** 留学生の皆さんに、日本の企業に興味を持ってもらいたいと思っているので、質問は積極的にしてほしい。

**成績評価の方法** 出席点・授業への取組み方70%、試験30%で評価する。

**教科書** 特になし。

